

藤沢白門会創立 20 周年記念アルバム



設立総会で議長を務める橋本会長（平成 7 年 12 月 6 日）



多数の会員が待ち望んだ創立総会

藤沢白門会創立 20 周年記念アルバム



第1回SUC親睦交流会の様様（平成9年9月）



歴代会長が写る貴重な定期総会の一コマ（平成11年5月）

藤沢白門会創立 20 周年記念アルバム



創立5周年記念講演会に渥美東洋先生を迎えて（平成12年11月）



第1回県下合同白門会が開催される（平成12年11月）

藤沢白門会創立 20 周年記念アルバム



創立 10 周年に際し、松本中信支部と姉妹提携（平成 17 年 11 月）



創立 10 周年祝賀会を祝う（平成 17 年 11 月）

藤沢白門会創立 20 周年記念アルバム



創立 15 周年に際し、蓮池薫氏の講演に傾聴（平成 23 年 1 月）



各白門会が集合する中、会場中央に藤沢白門会の幟

藤沢白門会創立 20 周年記念アルバム



創立 20 周年記念式典の成功を祈念し、盛大に「新春のつどい」が催行される（平成 27 年 1 月）



長野県中信支部総会にて（平成 27 年 6 月）

藤沢白門会創立 20 周年記念アルバム



野村修也先生を迎えて行われた学術講演会（平成 27 年 11 月）



学術講演会にて弁に熱のこもる野村修也先生（平成 27 年 11 月）

藤沢白門会創立 20 周年記念アルバム



20周年式典にて、片岡会長・大村常任理事・鈴木市長・高嶋副会長・西島顧問・野村教授
6名による鏡割り（平成27年11月）



20周年を祝い、また藤沢白門会の発展を祈念して（平成27年11月）

第 20 号 《藤沢白門会創立 20 周年記念号》

グラビア

会長挨拶	藤沢白門会創立 20 周年を迎えて		
	中央大学学員会藤沢白門会 会長	片岡久興	10
祝辞	藤沢支部創立 20 周年を迎えて		
	中央大学学員会 会長	久野修慈	12
	中央大学学員会藤沢白門会創立 20 周年記念に際して		
	中央大学 総長・学長	酒井正三郎	14
	中央大学学員会藤沢白門会創立 20 周年 祝辞		
	藤沢市長	鈴木恒夫	16
神奈川県下白門会、姉妹支部長野県中信支部からの祝意			18
特別寄稿 中央大学法科大学院教授		野村修也	19

会員感想「藤沢白門会創立 20 周年に思う」

藤沢白門会の行事活動

藤沢白門会第 21 回定期総会を開催	川崎隆之	33
平成 27 年度中央大学学術講演会	澤田英樹	35
平成 27 年創立 20 周年記念式典	川崎隆之	36
第 92 回箱根駅伝について	城崎芳彦	40
第 19 回 SUC 親睦交流会	澤田英樹	41
第 15 回神奈川県合同白門会開催	吉原和義	42
第 24 回ホームカミングデー	吉原和義	44
第 8 回若手懇親会ボウリング大会&パーティ開催	杉山洋	46
社会福祉活動委員会報告	八城義友	48

サークル同好会

ゴルフサークル	川俣誠	51
囲碁サークル	長谷川勇	54
音楽鑑賞サークル	座間毅	57
旅行サークル	城崎芳彦	60
写真サークル	増田隅雄	61
緑と歴史散歩サークル	澤田英樹	63
白門サロン会	林孝靖	65
レディスサークル	端山徳子	66
新春・平和島周遊ツアー	澤田英樹	67

母校の近況		68
-------	--	----

藤沢白門会会員名簿・新入会員・物故者・組織図		70
------------------------	--	----

藤沢白門会 20 年のあゆみ

藤沢白門会讃歌 中央大学校歌 応援歌 惜別の歌・原詩

藤沢白門会創立 20周年を迎えて



藤沢白門会
会長 片岡 久興

藤沢白門会は昨年12月に創立20周年を迎えました。この間におけます役員並びに会員各位のご努力とご理解・ご協力に感謝申し上げますと共に、関係の方々共々お祝いしたいと存じます。

さて、平成7年12月に設立総会を開催しましたが、その19年前の昭和51年に中大バレー部30周年記念行事の一環として藤沢の秩父宮体育館で「バレー祭」が開かれ、その後援者の中に「藤沢白門会」が入っておりました。

つまりその時点で既に「藤沢白門会」があったということです。しかし、残念ながらその後は殆ど活動していなかったようです。

そして、平成7年になってから初代会長の橋本さんを中心に新たな「藤沢白門会」を立ち上げるべく行動を起こしたわけがあります。当会は「支部」の要件を満たしておりましたが、過去に存在した「藤沢白門会」の再生と言うことで橋本さんの強い思いもあり、設立時からそのネーミングにこだわったわけがあります。

7つの「委員会」を中心にした当会の主な活動を振り返ってみますと、平成8年の箱根駅伝で母校が32年ぶり14回目の優勝をしたことで会の最初の活動として幸先の良いスタートを切ることが出来ました。その後平成9年に会員相互の親睦交流を促進する為13の「サークル」をスタートさせると共に、同年9月に「藤沢（湘南）地区大学同窓会親睦交流会」（現SUC）を

開催しました。

更に平成 12 年度から地元への貢献策として「車椅子」の寄贈を始めました。翌年には「ホームページ」も作りました。（その後、事情があり閉鎖）10 周年の時に長野県中信支部と姉妹支部の提携をし、親睦交流を図っております。

20 年経過した現在の「藤沢白門会」の基礎は、いわゆる橋本さんの時代に殆ど出来上っていましたし、その後、2 代目会長の加藤さんが更に肉付けをし、今日に至っているわけでありませぬ。勿論役員並びに会員各位の当会に対する思いやご理解があったことは言うまでもありません。

平成 27 年度は 20 周年の年ということで「冠」をつけた行事も会員各位のご協力により盛大に実施することが出来ました。6 月の長野県中信支部総会への出席。8 月の若手委員会主催の地引網大会、10 月の県内白門会の合同ゴルフコンペ、11 月の 20 周年記念の式典並びに懇親会と野村先生による学術講演会、同じく記念小冊子の発行等々ほんとうにありがとうございました。

さて、藤沢白門会は今後 25 年、30 年さらには 50 年と益々発展していかなければなりません。まだまだ課題はありますが、会員増強策として特に次の時代を背負う若い方々の入会が必要です。それには今以上に魅力があり、活気溢れる会にする必要があります。

さらに前進する為の改革も常に求められます。そして益々充実した「藤沢白門会」となるように努めてまいる所存ですので、これからも皆様方のご協力並びにご理解をお願いいたします。

藤沢支部創立 20周年を迎えて

中央大学学員会 会長
久野 修慈



学員会藤沢支部の創立 20 周年を心からお喜びし、お祝い申し上げます。

貴支部は平成 7 年 12 月に学員有志に依り設立されて以後 20 年母校の同志愛と人間愛が心から交わり合い 20 周年をお迎えになられましたこと感佩の極みであります。

今では会員数 280 名の同窓の絆としてお互いに結ばれ藤沢支部の真の発展を築かれると共に大学、学員会の発展にこの 20 年間寄与されて居りますこと、敬意を表する次第であります。

今年は大学創立 130 周年を迎え、大学も新たな国際化の時を迎えて居ります。

それだけに藤沢支部創立 20 周年は大学周年への強い思いを持つものにてお互い新たな発展を念じる思いであります。

藤沢は大学箱根駅伝のコースとして毎年、会員の皆様から心暖まる声援を受けて居り、身近に感喜する声が毎年聞こえて参ります。それだけに選手諸君にも、その気持ちを大切に強くたくましく走って貰いたいと望みます。必ずや来年には藤沢支部の創立 20 周年を胸に抱き頑張ってくれると確信して居ります。

貴支部はロータリー支部として地域と密着し、車椅子の寄贈など地域社会にも大いに貢献され、母校の精神を伝えられて居られること、これこそ真の支部活動の一つと言えます。それだけに創立 20 周年を機に学員同志愛を一層地域社会にも広められ

ることを念じて止みません。

貴支部の皆様には永年に亘り母校の発展に並々ならぬ心暖まるご支援を賜り、心から感謝御礼申し上げます。今年は母校創立 130 周年の記念の年であります。

52 万人の卒業生と共にその日をお祝いし母校が世界に冠たる大学として飛躍することを目指して全学员結集して参らねばなりません。更なる大学への新たなご理解ご協力をお願いする次第であります。

貴支部の創立 20 周年を心からお祝い申し上げ、藤沢支部学员の心の同志愛に感動し、あわせて藤沢支部創立からの役員、学员の皆様のご努力に心から敬意を表し、創立 20 周年お祝いの挨拶を申し上げます。

中央大学学会藤沢白門会 創立 20 周年記念に際して

総長・学長
酒井正三郎



中央大学学会藤沢白門会創立 20 周年並びに「創立 20 周年記念号」の発行にあたりまして、本学教職員関係者を代表いたしまして心からお祝いを申し上げます。

また日頃より貴会から中央大学に対してまして、暖かいご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

片岡久興会長を中心に、11 月には本学の社会貢献活動である学術講演会の開催、記念式典並びに懇親会の開催、姉妹支部の長野県中信支部との相互交流、ゴルフコンペと大変活発に活動されていると伺っており、とても喜ばしく思います。

さて、2015 年は中央大学創立 130 周年の年にあたります。このような区切りの年に、藤沢白門会が創立 20 周年を迎えられましたことは、大変おめでたいことです。

藤沢白門会が創立されてから 20 年という時が流れ、その間、中央大学におきましても色々な節目を経験して参りました。2000 年には長年待たれていたモノレールが多摩に開通しました。専門職大学院に関しては、2002 年に国際会計研究科（アカウンティングスクール）、2004 年に法務研究科（ロースクール）、2008 年に戦略経営研究科（ビジネススクール）がそれぞれ開校いたしました。そして 2010 年には、ご存知のとおり 125 周年記念式典が盛大に挙行されました。

2015 年は創立 130 周年ですが、5 年前に式典を開催したこ

とから、法人や教学ともに大きな式典は開催せず、淡々と仕事に打ち込もうと、深澤武久理事長以下一丸となって、日々の仕事にあたっているところです。

日本全国、全世界から集う若者たちのニーズや社会から寄せられる期待に的確かつ迅速に対応しながら、本学の使命、社会に果たす役割といった「ミッション」と「ビジョン」を早急に策定し、向こう10年、20年といった中長期的な姿を見据えた大学改革のシナリオを描くことが喫緊の課題です。そこで現在、これからの10年間に、本学が進むべき道筋を示すものである「中央大学中長期事業計画」を、法人と教学が一体となり策定しているところです。今後は本「計画」に則り、次の140周年に向けて力強く改革を推進して参る所存です。

今後とも、中央大学との強く熱い連携、そしてご支援を賜りますようお願いを申し上げ、中央大学学生会藤沢白門会の益々のご発展と皆さまのご健勝を祈念申しあげましてご挨拶いたします。

中央大学学員藤沢白門会 創立 20 周年 祝辞

藤沢市長
鈴木 恒夫



中央大学学員会藤沢白門会が、ここに創立 20 周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

皆様には、長きにわたり、市政全般にわたり、多大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、多年にわたり、市社会福祉協議会に車椅子を寄贈いただき、改めまして、皆様の温かいお志に深く感謝を申し上げます。

さて、今年は、「實地應用（じっちおうよう）ノ素（そ）ヲ養（やしな）フ」を建学の精神に掲げられる、中央大学も創立 130 周年を迎えられると伺っております。現代、少子化の時代にあつては、大学を選ぶにあたり、その特色や個性が深く問われる時代であります。ある意味で大学の特性は卒業生によって表されますので、白門会の皆様のご活躍は、在校生にとっても、誠に心強いものであると思います。

一方、本市では、今年、市制施行 75 周年、市の木「クロマツ」、市の花「フジ」が制定 45 周年を迎えます。「郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし湘南の元気都市～」の実現を目指し、みんながいつまでも元気に暮らし続けられるまちづくりを進めてまいります。

そして、2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会では、セーリング競技が江の島で開催されることが決定いたしました。この決定は、日ごろからスポーツ活動をはじめ、藤沢のまちづ

くりに関わっていただいている皆様の「行動」の積み重ねによるものであり、こうした行動の一つ一つが開催決定という嬉しい結果につながったものと考えております。

次の世代を担う、青少年・子どもたちをはじめ、より多くの皆さまに様々な場面で大会に関わっていただきながら、夢や希望、感動、活力を未来につなぐ市民参加型の大会になるように取り組んでまいりたいと考えております。

皆様におかれましては、今後とも、活動を通して培われた強い結束力と友情により、歴史ある中央大学のよき伝統を引き継いでいただき、地域社会の充実にお力添えをいただくとともに、この藤沢市を、さらなる発展に導くリーダーとして、ご活躍いただきたいと期待をしております。

結びに、20周年を契機とされ、「中央大学学会藤沢白門会」のますますのご発展と、皆さまのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝

中央大学学員会
藤沢白門会 創立20周年

中央大学学員会

川崎白門会

会長 森山 功

中央大学学員会

横浜白門会

会長 小田原 真人

中央大学学員会

逗葉白門会

会長 荒井 金次

中央大学学員会

茅ヶ崎白門会

会長 藁品 孝久

中央大学学員会

平塚白門会

会長 柳川 正明

中央大学学員会

小田原白門会

会長 青木 政次

中央大学学員会

相模原白門会

会長 佐々木 勝洋

中央大学学員会

長野県中信支部

支部長 小林 治雄

「法理精華」と実学の精神

あまり知られていないが、グリム兄弟の兄ヤーコブは、著名な法律家サヴィニーの弟子で、法律の著作も数多く残している。グリム童話が公刊され始めて間もなく、対ナポレオン解放戦争に勝利したドイツでは、国土の一部に適用されていたナポレオン法典に代えて、新しい法律を制定する動きがみられた。それに強く反発したのが、サヴィニーだった。法律とは為政者が拙速に定めるべきものではない。歴史の中で民衆が作り出すものだ。こう主張して、サヴィニーは論陣を張った。

残酷な場面が多いと言われるグリム童話。ヤーコブ・グリムが、その戒めの中に、民衆が作り出した法律の原型を見ていたことは想像に難くない。無縁と思われるメルヘンの世界に法律家の視点から光を当て、師匠の教えを証明する。その姿には真の法律家としての気概が感じられる。

明治22年、中央大学の前身である英吉利法律学校は、その機関誌として『法理精華』を発刊した。当時わが国では、江戸末期に締結した不平等条約の改正を期して法典編纂を急ごうとする政府当局と、外国法を模倣した性急な法典編纂を批判する勢力との間で、激しい議論が繰り広げられていた。世に言う「法典編纂論争」である。

法は政府が社会に押しつけて変革を促す道具ではなく、人々の生活に根ざしたものでなければならない。時代も場所も異なるが、まさにサヴィニーやヤーコブ・グリムと軌を一にする主張を展開したのは、当時、英法派と呼ばれていた東京帝国大学法学部出身者の一群（法学士会）であり、その急先鋒とも言うべき若き法律家たちこそが、英吉利法律学校の創立者だった。

『法理精華』創刊号の表紙には、法や権利を表す英語の文字が天上で輝いているのに対し、それらを表す独・仏の文字は、地上の荒波に揉まれた形で描かれている。この批判的姿勢は、時の為政者には目障りだったようで、『法理精華』は創刊後わずか1年半で発禁処分となった。しかし、権威に媚びない在野精神は、『法理精華』の名とともに法科の中央大学の伝統としてその後も生き続けた。現在、中央大学法学部の機関誌として発刊されている『法学新報』もまた、その創刊号で『法理精華』の精神を受け継ぐことを明らかにしている。

グローバリズムの洗礼を受けて人々の価値観はますます多様化し、もはや政府が一方向的に価値を押し付けることは不可能な状況にある。むしろ、人々が繰り広げる様々な営みの中から共通の価値を見つけ出し、それに基づいてルールを作ることが重要になっている。こういう時代だからこそ、実学の精神に貫かれた中央大学への期待は大きい。『法理精華』の表紙を見る度に身の引き締まる思いがするの、おそらく私だけではないだろう。

（中央大学法科大学院教授 野村修也）



藤沢白門会創立 20 周年に思う

(掲載は卒業年度順)

西 島 一 光 昭 和 26 年 経 済 学 部 卒

創立 20 周年お目出度う。このお祝いの時に初代会長、橋本篤治さんが居られないのは本当に残念でなりません。穏やかなニコニコ顔が目には浮かびます。

人間でいえば 20 才は漸く成人に達したばかりで、やっと一人前として認められるようになったばかりです。藤沢白門会は、「車椅子の贈呈」等福祉活動に力を入れて来ていますが、単なる親睦団体としてだけではなく、大学 OB 会の今後のあり方の一つを示唆するものだと思います。今後も益々頑張って大活躍をして行きましょう。

木 村 裕 昭 和 28 年 経 済 学 部 卒

4 月より脳部疾患で闘病生活を続けており、欠席を致したく存じます。会 20 周年、お祝い申し上げます。最後の連絡となるでしょう。

小 島 清 昭 和 30 年 法 学 部 卒

20 周年、おめでとうございます。

今年の 3 月 1 日、脳梗塞で倒れ、右半身及び歩行困難なため、リハビリ中であります。しばらくの間、休会させていただきたいと思えます。

長い間、楽しい思いをさせていただき、有難うございました。

皆様によろしくお伝えくださいませ。

(令夫人より)

佐 藤 洋 司 昭 和 32 年 法 学 部 卒

会員皆様のご活躍によって、20 周年を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。

細 田 寛 昭 和 32 年 法 学 部 卒

藤沢白門会が創立 20 周年を迎えたこと感慨深いものがあります。鎌倉の陋屋に住む小生を藤沢白門会に誘ってくれたのは今は亡き 32 年卒同期の初代会長橋本篤治君でした。銀座での 32 会の会合の帰路東海道線の車中でした。鎌倉には白門会が無いので、「どうですか」と笑顔で言われました。高度成長期を流通業界に身を置いた私は激務と転勤に明けくれ、縁あって住みついた湘南は見知らぬ世界でした。

しかし、当会を通じて多くの学友の知己を得、そして交流を深めたことができたのは、「篤さん」のお陰です。感謝。箱根駅伝応援、音楽鑑賞会、サロン会等各種行事に参加し意義ある時を過ごせました。

中でも「園芸サークル」には思い出があります。長久保センターでの盆栽造りの後の、芝生の上で缶ビール片手の懇親会で各種議論噴出。特に藤沢は東海道の宿場街として発展してきた所なので、「藤沢の歴史を知ろう」という話題で盛り上がった訳です。サークル長の大森重男君(32 卒)のリーダーシップで「緑と歴史の散策会」に発展したのは皆様ご存知のとおりです。進化する活動の先鞭をつけたのは、このサークルだと言っ

ても過言ではないでしょう。

そしてもう一つ。昨年当会でもホームページを立ち上げました。実は2001年に橋本会長の発案でHPを作ったのです。HPは今でこそ珍しくありませんが、当時はこれからという時代でした。何処の学会もHPは持っていなかったと思います。第1号に成るべく、井上泰博君（59年卒）、原輝雄君（H.10年卒）が頑張って造り上げました。若いOB会員の獲得に有効だと考えたからです。順調にスタートし初期の目的は達成されましたが、メンテ等の問題もあり二年程で撤退しました。大変残念なことでした。今般、新たにHPが再開され、誠に喜ばしい限りです。今年、会報誌が学会から表彰されましたが、HPも頑張ってくれることを期待しています。

杉 森 淳 昭和 33 年 経済学部卒

平成7年暮に発会し、直後の平成8年正月の箱根駅伝で36年ぶりの優勝により感激と興奮で幕を開け、当会もその後県内3番目の地域支部となり、種々な活動を続けるうちに、20年の成人を迎えました。その間、会の活動に尽力された20人超の会員が逝去されたことは残念で忘れられません。

満州生まれの引揚者である私にとっては終の住処になるであろうこの藤沢で白門会が出来た事は、当会ばかりではなく県内白門会の方々や趣味の「囲碁」を通じて明治大学烏鷺会の方々等との交流が増え、定年後の第二の人生に充実した時間をもたらしてくれたと思っております。

そこで、まだ入会されない新OB及びこれからOBになられる方々に是非入会して頂きたいと強く思っております。利害関係のない広い人脈を築くことは貴方々の未来に良い意味での豊かさが得られる場が確実に広がると思うからです。

大 森 靖 朗 昭和 35 年 法学部卒

藤沢白門会が誕生してから20年が過ぎた。書棚に並んだ会報の列は、その厚さから長い年月を経て成長した樹木の年齢とも重なり、つくづくと会の息の長さや歴史を実感せずにはいられない。

この間、会の運営のために尽力された歴代の会長はじめ役員の方々に感謝し、そして会を支えた会員の皆様と共にこの記念すべき時を祝いたい。

同じ学舎で学んだ友の交流の輪が、これからも絶えることなくますます拡がり、更なる発展へとつながって行くことを切に願ってやまない。

駒 井 登 昭和 35 年 法学部卒

平成7年12月藤沢白門会がスタートしましたが、翌8年1月に箱根駅伝で母校が優勝したことが強く印象に残っています。

その後、各種のサークル活動がスタートし、会員相互の親睦に役立っていると思います。又、他の大学の各サークルと交流出来れば有益なことと思っています。その中で具体的な交流が進められているものもあり、望ましいことと思います。

常に新しい企画で白門会を活性化することを共に期待したいと思っています。

田 中 栄 造 昭和 35 年 法学部卒

まず、創立当初からご尽力いただいた各位に深甚なる謝意を表したい。本会とは藤沢市役所に掲出された創立 5 周年渥美東洋先生講演のポスターを見、出席したことに始まる。その後今日まで半人足を先輩として立て先輩風を吹かせてもらえる醇風美俗に支えられ残生を有意義に過す一助となっている。これまた衷心より感謝申し上げたい。

ところで、手元の辞書には「白門」「學員」はなく、「赤門」は（東京大学の異称）とある。「學員」は司馬遼太郎が「街道をゆく」で大先輩・長谷川如是閑に触れ（この学校では明治 30 年代から“學員“が使われていた。）名門校の矜持を忘れずに各方面でキラリと光ることが母校の凋落に歯止めをかける一助となろう。

服 部 治 昭和 35 年 法学部卒

「藤沢白門会創立 20 周年」を迎えた。この節目に立つとき、当会の多彩な活動の魅力を改めて感じるころである。初代・橋本篤治会長、2 代・加藤武会長、3 代・片岡久興会長のもと、私は、専ら会報委員会のメンバーとして長く参画してきた。編集に関わる会員、関係者との出会い、交流を通じて貴重な経験と豊かな時間を共有することができた。そのことを、深く想起する。

活動行事であれ、サークル同好会であれ、箱根大学駅伝応援であれ、一つひとつが生活サイクルの大事なリズムとなっている。そこには、胸を熱くし、談笑の絶えないという確固たるひとときがある。

これから先へ、母校へ《藤沢白門会、ここに在り》の存在感と充実感を高めたいところである。

永 友 博 之 昭和 37 年 法学部卒

創立 20 周年を心よりお祝い申し上げます。

今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

中 谷 哲 夫 昭和 38 年 商学部卒

私は、鎌倉市在住で藤沢白門会の存在を知らずに居たのですが、箱根駅伝の応援の為遊行寺近くの沿道へ行ったところ、中央大学の「幟」を見つけた為「是非応援用小旗を貸して欲しい」と申し出たのが入会の切っ掛けとなり、あっと言う間に 10 年を超える会員活動となりました。

入会后直ぐに「囲碁サークル」に加えて貰い、以来毎月 1 回の例会を楽しませて頂いています。

現役時代の同僚との「ざる碁」の機会が無くなり、碁会所へ飛び込む勇気も無い儘に無聊を囲っていた身にとって、このサークルの存在は誠に有意義で、先輩会員から「囲碁」の技術と共に様々な「蘊蓄」を吸収する「場」となって居ます。

大 木 樹 雄 昭和 39 年 法学部卒

私は先輩の勧めで藤沢白門会に入会した。平成 13 年秋のことである。入会して直ぐ「緑と歴史散歩サークル」に仲間入りし、リベラルなサークルの雰囲気ホッとすると同時に自分の居場所を得た思いであった。幹事

の大森さん（故人）は7年先輩、温厚篤実な人格者でまずその人柄から薫胸を受けた。大森さんの篤い薦めで平成16年4月から幹事役を引き継ぎ、サークルの運営に努めた。その間講師の先生にも恵まれた。藤沢郷土史研究の第一人者 平野雅道氏、古代史の元中部大学教授大山誠一氏とはその後も歴史探訪ツアーをとともにする等私的に親交を深めている。

私は今夏後期高齢者の仲間入りをした。人生の晩年に得難い朋との出会いに恵まれ、藤沢白門会には大いに感謝している。

若 林 貞 行 昭和40年 商学部

私が白門会に入会したのは、創立後2年経った時でした。勤務先が藤沢市内ということで藤沢在勤の枠で入会しました。それまで藤沢白門会の存在すらわかりませんでした。入会してみてこんなに大勢の中央大学の卒業生が藤沢あるいは藤沢近辺にいらっしゃる事は驚きでした。

入会以来、仲間の一員に加えて頂き、いろんな経験をさせてもらっています。私は旅行が大好きなので、台湾旅行とか国内旅行に行かせてもらい、感謝しています。

“仲良しクラブ”をモットーとして、さらに楽しい会にしたいものです。

石 原 昭 憲 昭和41年 経済学部卒

設立当初はただ楽しみたいだけで、各行事に出席していたら、いつの間にか「楽しみ」は「真剣さ」に変わり、ライフワークの一つになっていった。本当に良い仲間・知人・友人を何人持っているかで人生の豊かさが決まると確信しているので、白門会のおかげで誇れる先輩、優れし同輩、頼もしい後輩に囲まれ、豊かさを実感している。

不覚にも病に倒れ、20周年のお祝いの会では、お役に立てず忸怩たる思いですが、同じ会場に居れた事を喜んでいます。

そして、37年4月合格した大学から中央大学を選択した事と52年藤沢に居を構えた事が大正解だったと改めて痛感しています。病気をしつづくと思った。一寸先は闇だし、人生なんて五里霧中なんだから、日々を大事にして、次の25周年、30周年も皆と一緒に美酒に酔いたいと願っている。

大 谷 隼 夫 昭和43年 法学部卒

創立20周年おめでとうございます。

学員会副会長をした経験から、地域支部の中でも藤沢白門会は組織、内容とも充実し、模範的な支部と思います。これは橋本会長から片岡会長までの歴代会長の手腕と人徳の賜と思い敬意を表します。

小生は入会順からみると古い方に入ったと思いますが、いつも都内に出る用事があってご無沙汰を重ね済みません。

孫がもう少し大きくなったら地曳網に参加したいと思います。

一層のご発展を祈ります。

城崎 芳彦 昭和 44 年 経済学部卒

入会 13 年になりますが、仕事の関係上、創立 10 周年では、32 名参加の台湾旅行、その後、日帰り旅行等を企画し、又、マラソンが好きでしたので「箱根駅伝を応援する会」の役員を努めてまいりました。

その間、たくさんの友人、仲間が出来、有り難く思っております。

今後、身体が元気の限り、活動を続けて行きたいと思っております。

深澤 宗一 昭和 45 年 文学部卒

藤沢白門会が 20 年を迎えた今年、年月の早さを感じています。創立時には私も 48 才だった若い頃、仕事も家庭も恐いもの知らずの頃でした。白門会の 10 年間は会計を担当していましたが、経理畑に未経験の身としましては大分苦労しましたが、小山さんや片岡さんの助力もあり、大過無く勤め上げることができました。思い出としては、平成 13 年の「木曾路の一泊旅行」で頼まれもしないのに「かっぱれ踊り」を旅館で披露し芸の未熟さを恥じましたが、その後「新春の集い」や平成 18 年の「松本支部との交流会」でもお声がかかり披露させてもらいました。芸歴 17 年になりますが、体の衰えにめげず芸に励んでいます。

川島 清憲 昭和 46 年 法学部卒

創立 20 周年を迎えられたことを、ここに会員の皆様とともに祝したいと思います。

藤沢白門会発足当初より、現在に至るまで、会報委員として会の活動に参加させていただき、諸先輩方はじめ会員諸兄弟のご意見等に触れる機会を与えられたことにより、入会当時より、中央大学学員のひとりとして成長させていただいたと感じております。

かような自分自身の経験から、藤沢白門会の次代を担う後輩諸氏が進んで各委員会のメンバーとなり、先輩方と触れ合うことにより研鑽を積まれることが、ご本人のみならず会のさらなる発展に繋がると感じるのは私だけでしょうか。

藤沢白門会の更なる発展と後輩諸氏の活躍を心より祈念いたします。

澤田 英樹 昭和 49 年 法学部卒

中央大学よ雄々しくあれ！

中央大学が創立 130 周年を迎え、また藤沢白門会も 20 周年を迎えた。誠に慶賀にたえない。反面今大学をめぐる議論が喧しい。多摩移転は失敗だった、駅伝もだめだ等。しかし畢竟校舎の位置や駅伝等で大学の価値が決まるものではない。日本や世界に対しどのような役割を果たしているかが大事である。大学もようやく 2025 年を目標とした事業計画を建て改革を進めようとしている。着実な前進を期待したい。

我々卒業生はそうした周りの喧噪に惑わされずに自分が生活している場をたくましく生きていけば、それが大学への支援になろうというものである。赤門（官）に対峙する白門（私）の雄々しさを取り戻したい。

小山 勝 男 昭和 51 年 経済学部卒

20 年前藤沢白門会創立とともに入会、直後に橋本初代会長から若手会員の親睦を深めるため何かイベントをやるようにとの指示。同世代の花輪さん岡田さんと私の 3 人が中心となり、若手会員の協力のもとボウリング大会、ソフトボール大会、地引綱大会、懇親会などを企画実施しました。そのときの若手組織が現在の若手委員会となり、現在も定期的なイベントとして、地引綱大会、ボウリング大会、懇親会として引き継がれ行われていることに、まことに感慨深いものがあります。

当時は 40 歳代前半でまさに若手でしたが、現在は 60 歳代でもはや若手とは言えない年齢となりました。この 20 年間に多くの仲間に出会い親交を深めることができましたのも、藤沢白門会に入会したからこそです。これからも更なる出会いを求め、楽しい同窓会を皆様と共に作って行きたいと心から念じております。

桜 井 勝 昭和 51 年 理工学部卒

卒率 20 周年おめでとうございます。

振りかえれば 20 年早いものです。発足しての直後 1996 年箱根駅伝の優勝感激でした。その時代は YKK の時代でした。仕事柄、会合にはほとんど出席できませんが、数年前、藤沢での飲み会初参加しましたが、参加されている人々はほとんど知り合いのようでしたがすぐに諸氏に仲間に入れて頂き楽しく過ごせました。

本日 17 日箱根駅伝予選会も 8 位で通過、来年の沿道の応援楽しみにしています。

また、役員の方々色々ご苦労さまです。

更なる藤沢支部の発展を祈願致します。

遠 藤 主 計 昭和 53 年 理工学部卒

藤沢白門会との出会いは、平成 7 年 12 月の設立準備会から始まりました。

参加の動機は箱根駅伝で母校の応援をしようという主旨に賛同したため、発足当時は箱根駅伝の応援と定期総会には出席したものの、その他の行事は先輩方にお任せで参加しませんでした。20 年間、3 代の各会長を初めとした幹部の方々と交流を重ね、現在では日常生活の一部になっています。

会の活動を通じて、会員間のみならず、他支部、他大学との交流の中で、多方面で活躍されている方々と出会うことが出来ました。

この 20 年間で振り返り、当会が元気に活動し続けていることを大変うれしく、また誇りに思うとともに、今後も新たな会員を迎えながら、相互親和と団結で永続的に活動出来る「藤沢白門会」のため、微力ながら努めていきたいと、20 周年を節目で決意を新たにしました。今後ともよろしく願いいたします。

永 井 謙 昭和 57 年 法学部卒

藤沢白門会創立 20 周年おめでとうございます。

思えば、藤沢白門会を初めて知ったのは、藤沢白門会が創立される時に送付いただいた藤沢白門会の案内ハガキだったと記憶しています。その当時は多忙だったため入会せず、ずっと時が経ってから入会いたしました。

坂 口 秀 之

平成 7 年

文学部卒

創立 20 周年、おめでとうございます。あまり真面目に勉学に取り組んだとも言えない私が、偶々幸運にも、この記念誌の制作中に片岡会長からお声掛けをいただき、このような形で母校に縁のある会の門を叩くとは夢にも思わず、汗顔の至りであります。

「益者三友、損者三友」と申します。この会におきましても、多くの益者三友に巡り会い、また私も皆様にとっての益者になることができると存じます。

今は病床に片足を掴まれている身でありますれば、きらびやかな会合などに出席することはまだ叶いませんが、藤沢白門会の益々のご発展をささやかなりとも一隅よりお援け致したく、末席を汚すことをお許しいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

原 輝 雄

平成 10 年

法学部卒

創立 20 周年、誠におめでとうございます。私が入会したのは、まだ創立間もない頃でしたが、あっという間に 20 年が経過しました。この間、多くの役員や会員の皆様のご尽力により、全国の白門会の中でも屈指の活発な活動がなされている会となっていることを会員の一人として嬉しく、また誇らしく思います。

また、入会当初は私より若い会員の方が少なく、少し寂しい思いもしておりましたが、最近では多くの若い会員の方が入会され、会の活動にも積極的に参加されていることを大変嬉しく感じております。

今後多くの皆様のご尽力により、創立 30 周年、40 周年を目指して、ますます会が発展してゆくことを心から祈念致します。



藤沢白門会の行事活動

Ⅱ 藤沢白門会第 21 回定期総会を開催 Ⅱ

平成 27 年 5 月 2 日（土）午後 1 時より、中央大学藤沢白門会第 21 回定期総会を藤沢市民会館第 1 展示ホールにて開催した。

第 1 部「医療講演」、第 2 部「定期総会」、第 3 部「懇親会」に通算 70 名の会員が参加した。

まず第 1 部「医療講演」として、湘南藤沢徳州会病院副院長で泌尿器科の医師である吉田利夫先生から「前立腺がんについて」と題し、前立腺がんの診断と治療方法についてご講演をいただいた。

前立腺がんは多くは市町村検診（PSA=前立腺特異抗原）、人間ドックで発見されるが、中には血尿や腰痛、排尿障害による受診でも発見される。日本は PSA 検診率が低いこと、高齢になるほど増加し、65 歳以降急激に増えることがグラフを用いて説明された。また遺伝的要因が大きいこと、肥満がリスクを増加させることが説明された。食事については高炭水化物、低タンパク、低脂肪が望ましく、高カルシウムは良くないようだと言われた。

診断については、PSA 検診、MRI、生検（組織を採取）と行っていくが、それでも、20%の見逃しがあるとのことだった。治療法は、手術療法、放射線療法、内分泌療法等があり、悪性度、年齢、患者の希望により決定していくとのこと、それぞれの費用や入院、通院日数の説明があった。そして湘南藤沢徳州会病院に導入されている最新の手術ロボット「ダ・ヴィンチ」についてビデオで紹介され、これまでの手術に比べリスクが劇的に減少したこと、健康保険適用により施術数も増加していることが説明された。最後に質疑応答があり、第 1 部「医療講演会」は講師への感謝の拍手とともに終了した。

第 2 部の定期総会の冒頭、この 1 年間に他界された 3 名の会員の方々を追悼し、黙祷が捧げられた。続いて校歌を全員で斉唱し、会長挨拶においては、片岡久興会長より、まずこの 1 年間の事業が順調に進められていること、新たに取組んだサークル活動の見直しについては前進しているところで、引き続き活性化していきたいこと、加えてホームページもさらに充実させたいと考えている。今期の新入会員 12 名の内、6 名がホームページを通じてのもので、大きな成果を上げていることが紹介された。最後に本年度に企画されている創立 20 周年記念事業への協力が呼びかけられた。

その後議事に移り、事務局より平成 26 年度活動状況報告、収支決算報告、大木樹雄監事より会計監査報告があり、それぞれ承認された。続いて、平成 27 年度行事計画案、創立 20 周年記念事業案、収支予算案が審議の後すべて承認され、最後に会長より役員異動案が上程され、承認された。



総会にて議案審議の様子

第3部の懇親会は片岡久興会長の挨拶で始まり、行事への積極的参加が呼びかけられた。

また来賓挨拶においては、林勘市中央大学常任理事より、評議員会の議長副議長が決定の報告と、箱根駅伝練習用のクロスカントリーコースの増設の他、大学創立130周年記念ホームカミングデーへ向けた取り組みや魅力あるキャンパス作りに向けた取り組みについての紹介があった。次に中央大学学員会大木田守副会長より、先に行われた会報コンテストにおいて藤沢白門会



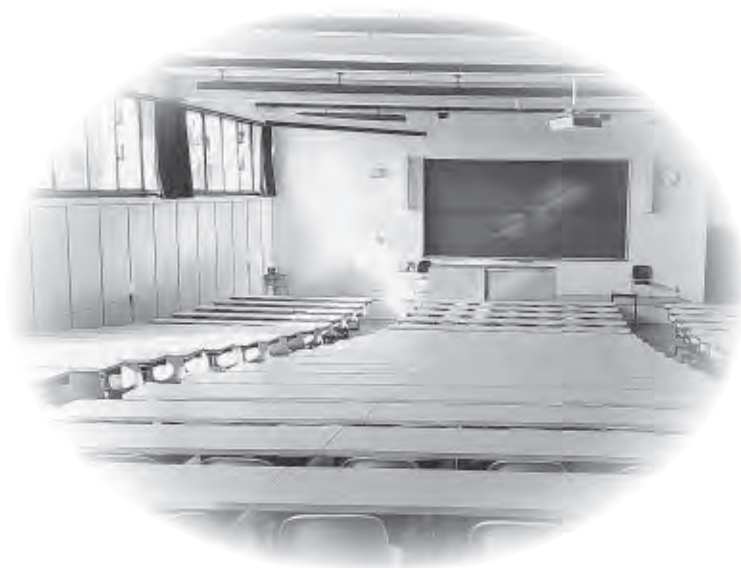
懇親会で会話が弾む

が優秀賞を受賞した選考の経緯と、来る全国支部長会議の折に展示を行うこと、これを契機に、支部会報だけではなく、個々の学員からの大学に向けた「私の提言」コンテストも企画していきたいといったことが述べられた。

続いて藤沢白門会賛歌斉唱ののち、保谷秀樹顧問の音頭で乾杯、懇親の宴が開会された。和気藹々とした歓談の中、新入会員、初参加者紹介が行われた。

最後に応援歌斉唱のあと、吉原和義副会長の閉会の辞があり散会となった。

(理事 川崎隆之)



平成 27 年度中央大学学術講演会

野村修也法科大学院教授を講師に藤沢で開催

平成 27 年 11 月 14 日（土）藤沢市民会館において、中央大学が主催し、藤沢白門会が共催する学術講演会が開催されました。学術講演会は、大学が学術研究の成果を広く国民に知ってもらうため各地域の白門会支部の協力を得て全国で開催しているもので、平成 27 年度は 52 か所で開催され、我が藤沢はその中の 1 か所ということになりました。

今回の学術講演会は、中央大学法科大学院教授であり、また日本テレビ等のマスコミのコメンテーターとして幅広く活躍されている野村修也先生をお迎えし、藤沢白門会創立 20 周年記念行事の一環として開催されました。演題は、「GPIF 改革のゆくえ～年金積立金の管理・運用の在り方を考える」で、当日は、藤沢のみならず県下の白門会メンバーに藤沢市民の皆さんを含め 85 名の方々が先生の熱気あふれる講演に熱心に聞き入っていました。



野村先生の幅広い見識に魅せられる聴講者

講演は、アベノミクスの経済政策から始まり、年金積立金管理運用独立法人（Government Pension Investment Fund）の沿革、143 兆円になる年金積立金とその基本ポートフォリオ（運用資産の構成）の見直し、将来の年金給付への影響等についてのお話がありました。従来の国債を中心にした運用から株式での運用を含めた基本ポートフォリオの見直しを進めている状況が説明され、将来世代の年金給付への影響が大きいだけに私たちも政府の施策やその発表、マスコミの記事などを注意深く読み込むことで日頃から施策の

中身を良く吟味する目をもつことが要求されるとの内容でした。

会場からは質問も数多く出され、また、終了後からのアンケートからも講演に対する高い満足と講師に対する関心の深さが示されました。野村先生の講演を引き続き聞きたいという声が寄せられたのも主催者としては嬉しい限りでした。

今後、藤沢白門会としては機会があればこのような学術講演会を引き続き開催し、広く市民と連携した取り組みを進めていきたいと感じたところでした。

（副会長 澤田英樹）

|| ～平成 27 年創立 20 周年記念式典～ ||

平成 27 年 11 月 14 日午後 4 時から藤沢白門会創立 20 周年記念式典が藤沢市民会館第 1 展示ホールにて、ご来賓、会員を含め 100 名を超える参加で開催された。

司会は、当市民会館館長でもある昭和 55 年卒の川俣誠事務局次長。本来であれば会長挨拶からのスタートであるが、今回は、創立 20 周年記念式典ということもあり景気良く盛り上げるために趣向を変え、中央大学スウィング・クリスタル・オーケストラ OB 精鋭 17 名によるオープニングセッション、



オーケストラ OB による華麗なオープニング・セッション

全員起立による校歌斉唱からスタートした。ここで一旦、司会をスウィング・クリスタル重松監督にバトンタッチ。気合の入った迫力ある演奏が 4 曲披露された後、会場からのアンコールに答え、もう 1 曲演奏。引き続き、藤沢白門会賛歌を 3 番まで全員で歌い式典の幕が開けた。

まず初めに、白門会を代表して、片岡久興会長からのご挨拶。

雨の中、出席頂いた来賓の方々をはじめ沢山の皆様、また、特に姉妹支部の提携をしている長野県中信支部の

小林支部長をはじめとした皆様に対し遠いところお越し頂いたことへの御礼を述べた。

会発足以来、20 年が立ち現在会員も 280 人くらいいるが、この 20 年間で亡くなった方が、初代、二代の両会長含め 70 名近くおり、今回はそのご遺族の方々にも 4 名ほどご出席いただいていることが紹介された。

平成 7 年の 12 月 6 日に設立総会を開催し来月でちょうど 20 年になるが、中大バレー部の 30 年史『白球の門』の中に、その 19 年前となる昭和 51 年に藤沢白門会が存在したという記事が載っている。その時の監督が橋本篤治さんであり、橋本さんの地元、藤沢にある秩父宮記念体育館において 30 周年行事の一環としてバレー祭が行われた。現役と OB の対抗戦等色々な事を行い大盛況だったようである。もちろん主催はバレー部であり OB 会が中心となってやったわけだがその中に藤沢白門会が登場したということが本にもある。また、本日配布の『いま湘南に ひかり溢れて』の小冊子の終わりの方にも故佐々木先輩が、昭和 20 年代半ばにすでに藤沢白門会の組織があったようで、その後は自然消滅的に無くなってしまったようだと書かれている。そして、19 年立った平成 7 年に橋本会長、西島相談役、佐藤相談役、番場顧問との 4 人が発起人となり、めでたく藤沢白門会が改めて設立をされた。先日、佐藤先輩と話をしたが、平成 7 年に、橋本さんから連絡が来て「藤沢白門会を立ち上げなければならない。何故かと言ったら、私の父との約束が昭和 50 年にあったそうで、どうしても佐藤先輩との約束を守らなければならない。」ということで平成 7 年の設立になったと聞いている。その時、学員会本部には藤沢の支部ということで承認された。ただ、私たちは最初から橋本さんの昭和 51 年当時の強い思いがあったと思う。そういうことで藤沢白門会という名前にこだわりがあったと思うし佐藤さんもその通りだと言う話をされていた。その橋本さんが藤沢白門会発展のために精力

的に動き回り活動範囲を広げて行った。当初会員が250名くらいだったと思うが、ほとんどが初対面のような感じであり、あとから藤沢に来られた方も沢山いられた。そんなこともあり、とりあえずは色々なサークル活動から始めようということで13のサークルができて当時スタートした。同じ頃には、藤沢地区にある各大学の同窓会があり、横の組織も作ったらどうかということで中央大学が音頭をとり平成9年の9月に藤沢地区大学同窓会親睦交流会を開催し八大学が参加をしてくれた。現在は16大学に増えており会以外にも藤沢市民マラソンのボランティア活動をしている。平成12年になり、やはり貢献する策として何かやらなければいけないということから、車椅子の寄贈を始めた。今日2台で、約15年間で26台となった。今ある20年後の藤沢白門会の姿は、橋本さんが会長をやっているときにほぼ出来上がったと言ってもいいと思うし、橋本さんがいたればこそ藤沢白門会であり、逆にもし、橋本さんがいなかったらここまでにはなっていない気がする。そういった意味で橋本さんの強いリーダーシップ、チームワークを大事にすること。名前の通り、温厚篤実な性格の方で会員にそのような形で接して頂いた。次第に藤沢白門会もなかなか良い関係で立派な素晴らしい組織となって行ったと思う。



片岡久興会長による代表挨拶

大学も今年130年を迎え、過日、中長期計画が発表された。藤沢白門会としても、これから25年、30年、さらには50年と発展して行かなければと思っている。私たちは、まだまだ課題が沢山あると思うがひとつひとつ解決をして行き前に進んでいく所存である。今日は、雨が降っているが、雨降って地固まると言う。また、継続は力なりということで絆をさらに強くしたいと思っている。三代目の会長としても、この会の飛躍発展に努力する所存であるので、各位のご指導ご鞭撻と同時に会員の皆様の協力、理解をお願いしたい。との力強い挨拶がなされた。

続いてご臨席をいただいたご来賓、SUC親睦会、姉妹支部である長野県中信支部、神奈川県下白門会、並びに特別招待の皆様を紹介し、藤沢の会員からは万感の歓迎の拍手が贈られた。

そして、来賓を代表し、中央大学の常任理事から、「これからの大学間競争を勝ち残るため中央大学の10年後を見据えて中長期計画を10月下旬に策定した旨の報告がされた。新しい展開として、後楽園キャンパスに文系の学部をとりあえずひとつ持って行き多摩と都心に二大キャンパスを作り文理両方の教育を目指すと共に多摩に新しい学部を三つくらい作る。また、グローバル化を推進し、スポーツ振興についても新たに盛り込んだ。中でも箱根駅伝は、5年以内に五位以内に入り、10年以内には優勝する計画になっている。40年たって初めての大きなプラン、実現に向けて学校法人として

もサポートして行きたい。実現するんだという意気込みでやって行きたいので、是非、藤沢白門会および学会の幅広いご協力を頂きたい。」と祝辞が述べられた。

次に、学会を代表して高嶋副会長から、10月25日に行われた第24回ホームカミングデー動員への御礼が述べられた。「また、中長期ビジョンが発表され、どのようにして実行するかが問題である。例えば、箱根駅伝は、5年以内五位以内、10年以内に優勝する計画であるが、野村部長によると来年は六位以内を目指すとのこと。ぜひ、来年は楽しみに応援してもらいたい。

計画は実現しないと意味が無い。残念ながら大学の財政事情は厳しい。学会あげて支援・協力を得れば実現の可能性は高まる。大学、学会、オール中央で今後とも中長期ビジョンの実現に向けて協力して行きたいので、各支部においても今後とも御支援御協力をお願いしたい。」との祝辞を頂いた。ここで、司会から、中央大学深澤武久理事長、酒井正三郎総長・学長、久野修慈学会会長からの祝電が披露された。



藤沢市への車椅子贈呈にて、片岡代表と鈴木市長

次に、毎年恒例の藤沢市への車椅子の贈呈が行われた。鈴木恒夫藤沢市長、片岡会長が登壇し、今回は、20周年ということもあり、車椅子2台の目録が手渡された。その後、記念の撮影会が行われた。

鈴木市長からは、20周年及び車椅子贈呈の御礼と共に、「車椅子は福祉のために社会福祉協議会を通じて有効に利用させて頂きたい。

また、市役所には、中央大学卒業の沢山優秀な人材がいる。土木系の幹部職員がいるので、バリアフリーには特に力を入れてくれるのではないかと期待を

している。また、本日の司会者は文化芸術の元締めとして役割を担ってくれている職員であり、みんなで藤沢を盛り上げて行こうと頑張っている。是非、後輩の人たちにも、藤沢市役所あるいは、議員さんも頑張っているところが伝われば良いと思う。

さらに、箱根駅伝予選会通過に触れられ、130年の歴史があり、出場回数、連続出場回数共に多い中央大学が暴れないと気を使ってしまう。是非上位に踏み込んでもらおうと市役所ももっと元気が出るのではないかと考えているので頑張ってもらいたい。

最後に、藤沢には、湘南ユバシティークラブ15大学のOB会があるが大変仲が良く横の関係が素晴らしいと思っている。湘南藤沢市民マラソンを行っているが、この時に大勢の方がボランティアとして参加をして頂いて感謝している。そう言ったことの積み重ねが2020年の東京オリンピック・パラリンピック、セーリング会場に江の島が当たっており、また色々なことでお手伝いを頂く場面が出てくるのではないかと考えているので今後ともよろしくお願いをしたい。」と御礼のご挨拶を頂いた。

そして、お待ちかねの乾杯へ、その前に、片岡会長、大村常任理事、高嶋副会長、鈴木市長、野村教授、西島顧問6名による鏡割りを「中央、中央、中央」の掛け声とともに鏡が割られた。引き続き、昭和26年卒の西島顧問から、「今日の雨によって藤沢白門会の地も益々固まった。なお一層の発展を遂げて行きたい。」との挨拶で乾杯し懇親会が開宴された。出席者一同しばし歓談を楽しんだ。

歓談の中、本日学術講演の講師である中央大学法科大学院教授であり、また、陸上部部長でもある野村修也教授から来年の箱根駅伝における中央大学の優勝への展望について語っていただいた。

冒頭、野村先生は以前、藤沢市に10年間住んでおり、白門会ができて3年目の頃にグランドホテルで毎年何かをやっているのは知ってはいたが教員であることもあり遠慮していたこと、本日出席の大村常任理事の授業を受けた初めての学生であり、娘さんも中央大学に通っており大村先生のゼミに参加しているため頭が上がらないとのことであった。駅伝に関しては、10年後ではなく陸上部の2020年創部100年に総合優勝すると決めていることや、今年の駅伝最終ランナーのエピソード。また、グランドの周りにクロスカントリーのコースができ必死にトレーニングしていること。陸上部の合言葉は『感謝』であり沿道で応援している皆様に感謝の気持ちで走っていること。さらには、短距離でもオリンピックに出場する可能性の選手もいる。全日本駅伝に何故出場できなかったかなどについて語られ、最後に、来年は早稲田大学よりも早く、さらに青山学院よりも早く走り優勝するかもしれないとの力強いご挨拶を頂いた。

引き続き、長野県中信支部の小林支部長からご挨拶を頂いた。

本日は、松本市から五人で参加。中信支部は来年65周年を迎え式典を企画しているが、創立は藤沢支部よりだいぶ前となるが本日の式典や日頃の活動に負けまいよう少しでも追いつきたい。

そして、長野県のPRとして、ウインタースポーツが盛んな地区であること、来年は諏訪大社御柱祭という大きなお祭りがあること。また、その時期は、高遠の桜が見頃であることなどが紹介された。

そして宴も時間が押してまいり、校歌・応援歌斉唱に移った。ここで、現役学生応援団の山崎団長、他2名の団員が登場。山崎団長の挨拶の後、スウィング・オーケストラとのコラボにより、迫力のある校歌・応援歌が斉唱された。

ここで、重松監督から、今回、藤沢賛歌の編曲を高橋さんが行ったが、その譜面を音楽鑑賞サークル責任者である座間さんに手渡された。

名残尽きない中、澤田英樹副会長からご来賓並びに出席の会員の皆さんへのお礼と閉会の辞があり、最後に、八城副会長から車椅子募金へのご協力についてのお願いがあった後、午後六時半過ぎ『藤沢白門会創立20周年記念式典』はめでたくお開きとなった。

(理事 川崎隆之)

|| 第 92 回箱根駅伝について ||

今回 3 回目の予選会に廻った我が中央大学陸上部は、予想では非常に苦戦するのではないと言われて、10月17日(土曜日)の当日、藤沢白門会から、小川さん、時枝さん、鶴田さん、吉原さんと小生、5名で立川国営昭和記念公園に9時過ぎに行きましたが、生憎の雨でしたが30分程で止み、9時30分に49校が本選出場を目指してスタートし、各学校12名が出、上位10名の合計タイムが速い上位校10校が本大会に出場出来るので、各大学の応援も盛大でした。

スタート10キロ地点では当校6位、15キロ地点では8位、最終20キロ地点で10名がゴールした時は、12位で結果待つまではハラハラどきどきでした。

最終結果、1位日大、2位以下帝京大、日体大、順大、神大、拓大、法大、8位に我が中央大10時間11分32秒で87年連続90回目の出場が決まり、9位に東京国際大(大志田監督及び横溝総監督は中大OB)、10位上武大が決まり、11位の国士舘大との差は10秒でした。特に当校の選手で活躍したのは、徳永照(4年)と町澤大雅(3年)で、この2人の貯金で8位に入賞出来、特に徳永選手は日本人トップの4位入り、9月の日本学生対校選手権1万メートルでも日本人トップの4位に入り、実力の程が窺えます。



3区で早大と競り合う市田選手

本大会では、1区町澤が粘り強く頑張って4位に入り、大きな希望を持たせましたが、2区の期待のエース徳永が従来の強さを見せず、期待外れの14位で、3区市田、4区鈴木、5区小谷と波に乗れず16位でした。

2日目繰り上げスタートし、6区谷本、7区藤井はそこそこの走りを見せ、地元8区では一年生苗村が平塚から藤沢辺りまでいい走りをしていましたが、遊行寺通りの登り坂で失速し、9区相馬、10区松原と調子に乗れず、最終的には総合15位と今年もシード権は取れない結果に終わりました。

浦田監督、野村部長のお話しでは今年5位以内には入り、2020年の東京オリンピックまでに優勝すると言っていましたが、今の体制、練習方法、健康管理を抜本的に見直して1からスタートしなければ、シード権は取れないと思います。

それと大学側も全面的に協力しなければ他の新興大学には勝てないと思います。

(箱根駅伝を応援する会 城崎芳彦)

第19回SUC親睦交流会

法政大学を加え加盟校が16校に広がる

平成27年9月27日(日)藤沢市民会館において、第19回SUC(湘南ユニバーシティクラブ)親睦交流会が開催され、今年は、法政大学交友会鎌倉支部が加わり、加盟校が16大学同窓会と地域の輪が更に広がった交流会でした。我が藤沢白門会からは、片岡会長をはじめ10名が参加し、総勢では127名の参加者で賑わいのある交流会となりました。

第一部は、幹事校神奈川大学の同窓会で、岩手県遠野市長の本田敏秋氏による記念講演会がありました。2011年3月の東日本大震災を踏まえ、「震災とコミュニティを考える～緑が結ぶ復興への絆～」と題して、震災からの復興と震災に対する備え、特に被災地の後方支援活動のあり方について、遠野市の取り組みを踏まえたお話がありました。災害救助法は、被災市町村から県、国への要請という縦割りの枠組みで成り立っているが、国・県の情報が被災市町村に伝わらないという事態が想定



各大学の懇談風景

される。そうした事態を避けるため、遠野市では、三陸沿岸から離れている地の利を生かし、後方支援活動の拠点施設整備構想をまとめ、県と一緒に防災訓練も実施してきた。2011年の大震災ではそうした経験が救護や救援に非常に役立ったということでした。市民一人ひとりができるコミュニティでの協力・維持関係、例えば地域の人たちの輪をしっかりと作るためにお祭りの大切さといった話もあったが、過密化した都市地域での実施には少し工夫が必要と感じました。



現役学生によるフラメンコの演舞

第二部は、幹事校である神奈川大学藤沢宮陵会の秋田琢次会長の挨拶、鈴木恒夫藤沢市長、本田敏秋遠野市長の挨拶と続き、明治学院同窓会神奈川県ブロック谷口四郎ブロック長の乾杯で宴の幕が開きました。今年は、会場の都合で各校の旗が飾れず、簡素な交流会となったが、あちらこちらのテーブルで皆さんがお互いの交流を図る姿が見られ、SUCの伝統を感じる会となりました。アトラクションでは、神奈川大学の現役学生によるフラメンコの演舞が会場に華を添えてくれました。最後に、来年度幹事校である立教大学湘南立教会の鶴岡健会長から開催への協力と再開を期す挨拶があり、和気あいあいのうちに散会しました。

(副会長 澤田英樹)

第 15 回 神奈川県合同白門会

和太鼓の演奏と素晴らしい景色に感動

神奈川県内八地域支部・白門会参加

第 15 回を迎えた神奈川県合同白門会が、平成 27 年 11 月 28 日（土）

逗子開成学園の徳間記念ホール及び海洋教育センターに於いて開催されました。

逗葉白門会が当番幹事で神奈川県内の八地域支部・白門会などで約 90 名の方が参加され、藤沢白門会からは、10 名が参加しました。



中高生による和太鼓の見事な撥さばき

第一部 「逗子開成学園中学高等学校 和太鼓部演奏」

逗子開成学園中学高等学校和太鼓部のご厚意により和太鼓の演奏が行われました。初めに中学生の和太鼓演奏が行われ、中学生の演奏に続き高校生の迫力ある演奏が行われ、どちらも素晴らしい演奏で拍手喝采でした。

第二部 懇親会

当日は、好天に恵まれ、場所を海洋教育センターに移して行われ、夕焼け及び夜景がとても綺麗でした。

懇親会は、当番幹事の逗葉白門会荒井会長の歓迎の挨拶で始まりしました。続いて来賓としてご出席頂いた、松丸和夫中央大学常任理事からの挨拶では、大学が中長期事業計画を策定したとの話がありました。

(計画のポイントは、多摩キャンパスと複数の都心キャンパスを二大キャンパス体制に集約し、新たな姿でそれぞれの充実、発展を目指す。法学部を後楽園キャンパスに移転をめざす。又箱根駅伝は5年以内に5位10年以内に優勝を目指す等)

又、大木田守学員会副会長からも挨拶があり、箱根駅伝を強くする会の朝倉事務局長からも挨拶がありました。

懇親パーティーは、前回の合同白門会当番幹事の平塚白門会谷戸副会長の乾杯の音頭で歓談が始まり、川崎白門会から小田原白門会まで日頃の活動等について各白門会から紹介がありました。

次にヨット部の紹介があり、ヨット部と箱根駅伝を強くする会に荒井逗葉白門会会長より激励金が贈呈されました。



あちらこちらで和やかな歓談の輪が出来、楽しい時間があっという間に過ぎました。
応援歌校歌を全員で斉唱し、逗葉白門会石渡副会長の閉会に辞で盛会裏にお開きとなりました。

(副会長 吉原和義)

懇親会会場にて



第24回 ホームカミングデー

創立130周年を起点に輝く未来を創造しよう

平成27年10月25日（日）秋晴れの天気の下、第24回ホームカミングデーが、中央大学多摩キャンパスで開催されました。

約4,400人が訪れ、藤沢白門会から15名が参加しました。

今年は、中央大学創立130周年を祝い盛大に行われました。

10時よりクレセントホールにて行われた開会式では、深澤理事長、酒井総長・学長と久野学員会会長、来賓の方々のご挨拶の後創立130周年記念論文コンテスト表彰や親子3代卒業生表彰（今年は15組）と「中央の絆」として各白門会が各々の幟を持って集合しました。



会場に向かう藤沢白門会の参加者

多彩なイベントが催される

「中央大学とオリンピック」

来る東京オリンピック・パラリンピックのキーパーソンが熱く語りかけました。

遠藤利明東京オリンピック・パラリンピック担当大臣から挨拶の後、木村憲治日本バレーボール協会会長が「オリンピックと私」の演題で講演をしました。

又、「世界一の東京オリンピックに向けて」の演題で秋山東京都副知事と雑賀真オリンピック・パラリンピック組織委員会総務局長から講演がありました。

対談「東京が動く～白門力で東京再生を～」

山田正理工学部教授と石川幹子理工学部教授が対談

「東京が動く～白門力で東京再生を～」の演題で行われました。

「寄席の世界を楽しむ」

笑いからはじめよう白門ファミリーの輪

中央大学を卒業した落語家柳家小団治師匠と桂やまと師匠と春風亭朝也さんと林家つる子さんの落語が行われました。

「親子が楽しめる企画等が多彩に開催」

タップダンス教室・親子ポンポン教室・紙飛行機教室・フェンシング教室
東洋養成法・囲碁教室

クロスカントリーコース完成披露式

陸上競技場の外側に設置されている既存の平坦な走路に新たにクロスカントリーコースを多くの方の寄付により併設しました。

イルミネーション点灯式

副引抽選会の後、グリーンテラス、モノレール駅付近でイルミネーションの点灯式が行われました。

メイン会場では、模擬店や産物店も多く出典して参加者は、大いに飲んだり食べたりしました。

初めて多摩キャンパスを訪れた方は、学生時代通った駿河台と比べて広大なキャンパスに驚いていました。

参加者の有志は、藤沢でご苦労さん会を行い秋の楽しい一日を過ごしました。

多摩キャンパスに行った事のない方は、是非来年参加してみてください。

(副会長 吉原和義)



会場にてくつろぐ藤沢白門会メンバー

Ⅱ 第八回若手懇親会ボウリング大会&パーティ開催 Ⅱ

昭和50年以降卒業の会員で構成する若手委員会では、恒例の「第八回若手会懇親ボウリング大会&パーティー」を平成27年12月5日(土)に12名が参加し、江ノ島ボウリングセンターにて開催されました。

今回ボウリング大会の参加は、女性2名、男性10名の12名とより昨年同様の参加人数でしたが、大変にぎやかな大会となりました。

勢い余ってファールラインを越えてしまう会員、ストライクに拳を突き上げる会員、スプリットを倒しスペアを決める会員など、ハイタッチ、歓声と爆笑に包まれ、和気藹々とゲームが進行し、3ゲームを存分に楽しみました。ゲーム終了後、懇親パーティーは14名の参加で表彰式を行いました。



ゲームに先立ち、挨拶をする杉山委員長

杉山若手委員会委員長の挨拶、若手新人・岸本寛之さんの音頭で乾杯の後、いよいよ表彰式が始まりました。ルールは、例年同様3ゲームの内、スコアの良い2ゲームを選択し、その合計得点(女性はハンディキャップ加算)で勝敗を競った。一昨年優勝の中島智慧さん、過去に優勝実績のある川崎隆之さんが今回は参加とあって混戦が予想されましたが、結果、優勝は344点で過去2回優勝者の本間徳也さんが3回目の優勝、準優勝は307点の川崎隆之さん(第五回優勝者)、三位は301点で杉山洋さん(第二回優勝者)でした。ハイスコアは、本間さんが174点で見事、賞品をゲット!一昨年の優勝者・中島智慧さんも徐々に調子を上げてきましたが及ばず、四位という結果に終わり、来



岸本会員の発声により“乾杯”

年の雪辱戦に向け、闘志を燃やしていました。今回、初参加の大先輩・中谷哲夫先輩が1ゲーム目で159点の好スコアを出し、優勝の期待も膨らみましたが、2ゲーム目以降からややお疲れの様子が見え、残念ながら「優勝」には届きませんでした。

第五回から導入している団体戦は、今回は行われませんでした。

引き続き、全員の結果発表および会員の賞品授与と続き、特にご参加いただきました片岡会長、会長ご婦人を囲み、懇親の和が広がりました。各会員の食欲旺盛ぶりは満点の料理を次々と平らげ、飲み放題のアルコールも次々と進み、楽しい談笑の中でお開きの時間を迎えました。来年の第九回若手懇親会ボウリング大会&パーティーを楽しみに、各自賞品を片手に、二次会に向かうメンバー、帰宅されるメンバーと、ほろ酔い加減で会場を後にしました。

次回も、若手会員の親睦を一層広げるためのイベントとして開催致します、多数の若手会員に気軽に参加いただけるよう、盛り上がる会にしていきます。

若手会員、こころよりお待ちしております。

(若手委員長 杉山 洋)



大会参加者の面々

Ⅱ 社会福祉活動委員会報告 Ⅱ

本年度、藤沢白門会 20 周年記念行事として藤沢市へ車椅子 2 台を寄贈しました。5 周年記念行事として車椅子 3 台の寄贈から始まって 15 年、合計 26 台もの寄贈を継続できた事は、藤沢白門会の組織力あつての功績です。

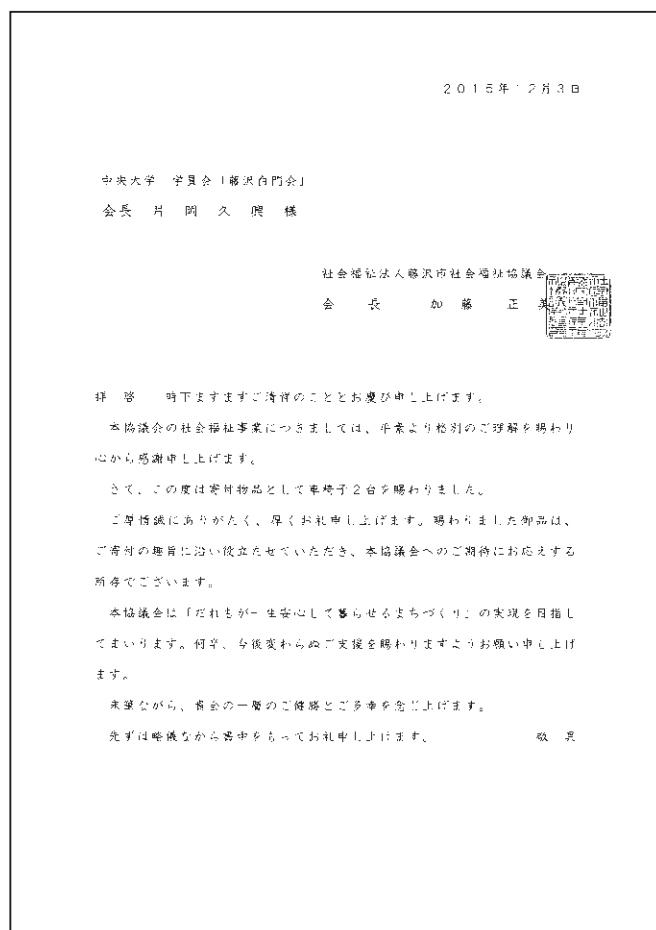
総会や新年会での募金活動とともに、懇親会費等の残金を寄付していただき実現できた寄贈で、今回で 25 台目と 26 台目になり、継続は力なりを実感しています。

超高齢化社会の中で、形に残り、かつ感謝される活動を最初に実行された先輩に感謝です。車椅子は通常の使い方では 10 年・20 年と使い続けることができ、活動実績が蓄積できる素晴らしい企画で、社会福祉活動委員会として携われたことを感謝しています。

委員会では、現在、車椅子寄贈活動以外に福祉施設へのボランティア活動を行っています。囲碁や将棋等の相手をしながら高齢者と、会話をする活動です。80 歳・90 歳が当たり前の時代です。社会貢献してみませんか。

人生の先輩から様々な体験談を聴くことで、自分自身の老後を予測できます。有給が使いやすくなる 40 代がボランティアデビューのタイミングです。社会福祉活動委員会で若手として活動しませんか。私が運営する「特別養護老人ホーム みどりの園」ではボランティア研修を随時行っておりますので是非ご参加ください。退職後 30 年として余暇時間は 10 万時間で、生涯労働時間を超えます。藤沢白門会活動+自治会等の地域ボランティア+福祉ボランティアを組み合わせることで、心豊かな人生を楽しみませんか。

(委員長 八城義友)



サークル同好会活動

《ゴルフサークル》

節目の第 30 回コンペと創立 20 周年記念コンペ開催

「節目の第 30 回コンペ」

第 30 回ゴルフコンペ (小田急藤沢ゴルフクラブ)

我が藤沢白門会ゴルフサークル同好会も、いよいよ 30 回目のゴルフコンペを開催するに至った。振り返れば、ホームカミングデーに大型バスに乗って参加した折、帰りの車内でゴルフサークルの幹事を募っていて、呑んだ勢いで手を挙げたのがきっかけだった。幹事長としてご一緒させていただいた故人の「池田謙次」氏は、藤沢白門会の仲間の皆さんからとても親しまれ、愛された方で、私もひとかたならぬお世話になった。また、同好会メンバーで、すでに故人となられた「島田征」氏、「三浦敏宏」氏、「高見沢浩」氏は、毎回のようコンペにご参加いただき、サークル活動を盛り上げていただいた。本当に感謝に堪えない。こうした方々のご尽力の上に、節目の第 30 回があるのである。



スタート前のやる気みなぎる面々



「北海道」での表彰式

その記念すべき第 30 回ゴルフコンペは、これまた記念すべき第 1 回を行った「小田急藤沢ゴルフクラブ」にて行われた。参加者は 11 名であった。2015 年 5 月 29 日 (金) 当日は、薄曇りで微風の好コンディションに恵まれた。新緑の頃を迎えゴルフ場の芝生は、いやが上にもその勢いを増し、フェアウエーはびっしりと生えそろうた緑の絨毯で覆われていた。こうした状態でプレーできることは無上の喜びである。コース管理が行き届いていることの証明である。プレーヤーにとっても、

まさにゴルフシーズンが到来し、これから大いにゴルフをエンジョイするぞ！という気持ちが高揚する季節を迎えたのである。

午前 10 時 29 分からスタートした 11 名の参加者は、それぞれが精一杯にプレーし、悔しんだり、喜んだりしながら、楽しい一日を過ごした。表彰式は、恒例の「北海道」にて、当日夜に開催された。4 月に行われた藤沢市議会議員の当選祝勝会も同じ会場で開催され、原議員と永井議員の祝福と併せての夜となった。

優勝	広沢 政夫	グロス 109	ネット 74.2
2 位	梅澤 光世	グロス 88	ネット 74.8
3 位	西尾 雄一郎	グロス 100	ネット 74.8

憧れの「湘南カントリークラブ」にて

藤沢白門会創立 20 周年記念兼県下合同ゴルフコンペ（湘南カントリークラブ）

平成 26 年 9 月に茅ヶ崎白門会主催で行われた「県下合同ゴルフコンペ」の表彰式の席上、私がまぐれで優勝したそのスピーチの中で、本来の順番だと藤沢白門会ではないのだけれど、創立 20 周年の記念も兼ねて藤沢白門会でやらせていただきたいと幹事を買って出た。茅ヶ崎白門会に会場としてご用意いただいたのは、あの安倍首相が休暇の度に訪れる名門「スリーハンドレッドクラブ」であった。ならばそれに負けないコースで、白門の仲間を迎えたい。そう考えると自ずと選択肢は限られる。藤沢近辺にあるゴルフ場で真っ先に思いつくのは、「湘南カントリークラブ」である。ただ、「三菱財閥系」で、一般には開放されていない。メンバー同伴が義務づけられている。県下合同で開催するとなれば、最低でも 10 組は必要となる。さて、どうしたらこの組数を確保できるのか？ 色々手づるを探したが、今ひとつ決め手に欠けていた。思うようにことが運ばないまま、時間だけが過ぎていた。

そんな折、私がここ 5 年くらいプライベートで参加している 30 人位のゴルフコンペが昨年春にあって、一緒にラウンドした方が偶然「湘南カントリークラブ」のメンバーであることがわかった。その



参加者全員集合！

「手塚克麿」氏との出会いで、一気に道が開けた。手塚氏は、クラブ側と交渉して、10 月 5 日（月）に 10 組予約してくださった。白門同胞ではないものの、当日参加していただけることとなった。こうして藤沢白門会創立 20 周年記念兼県下合同ゴルフコンペが、ようやく成立したのである。手塚氏には言葉に言い尽くせないくらいお世話になった。この紙面を借りて、お礼を申し上げたい。

さて、10 月 5 日（月）当日は、快晴微風の好コンディションで、ゴルフ日和となった。朝のミーティングには、

県内の横浜、川崎、茅ヶ崎、平塚、小田原、逗葉の各白門会並びに藤沢白門会の姉妹支部、長野中信支部からもご参加いただき、ご紹介いただいた手塚氏も含めて総勢 39 名のプレーヤーが集った。アウト、イン同時にスタートし、それぞれのプレーヤーが思い思いのプレーでゴルフを楽しんだ。

「湘南カントリークラブ」は、茅ヶ崎市の住宅街にありながら、広々とした、たっぶり距離のあるコースで、名匠「井上誠一」の設計によるたいへんタフなコースであり、攻略が難しい。それだけに多くゴルファーを魅了し続けている。創立 20 周年に相応しいラウンドになったと思っている。

ラウンド終了後には、表彰式が盛大に執り行われた。片岡会長もゴルフ場に駆けつけて表彰式開会のご挨拶をいただくなど、参加者の輪に加わっていただいた。各参加者は、その日のラウンドを振り返りながら飲み、食べ、大いに語り、交流を深め、三々五々帰途についた。

節目の創立 20 周年記念ゴルフコンペが、無事に、そして華やかに終了できたことを、心からうれしく、手塚氏並びに参加者各位のご協力に改めて感謝申し上げたい。

さて、結果は以下のとおりである。優勝者は、茅ヶ崎白門会の「橋本義仲」氏で、「スリーハンドレッドクラブ」の支配人として、前回の県下合同ゴルフコンペをお膳立ていただいた方である。



表彰式の一こま

優勝	橋本 義仲 (茅ヶ崎)	グロス 86	ネット 72.8
2位	市川 優 (藤沢)	グロス 97	ネット 73.0
3位	前川 義憲 (茅ヶ崎)	グロス 87	ネット 73.8

(幹事 川俣 誠)



20 周年 表彰式パーティ

《囲碁サークル》

囲碁サークルは「碁を楽しみ・碁力アップ」を目的に藤沢白門会発足時から活動を続けております。この間、囲碁を通して会員相互の親睦を深め、又いろいろな人達との交流も重ねて参りました。

囲碁サークルは次の内容により活動しております。

定例会

開催日時 奇数月の第三日曜日

13時から17時

開催場所 藤沢「囲碁クラブ湘南」

明大「烏鷺会」との囲碁交流会

開催日時 偶数月の第三日曜日

13時から17時

開催場所 大庭「小糸市民の家」

プロ棋士による指導碁

年一度希望者により日本棋院八段の大森泰志先生から指導を受けています。

(大森泰志八段は故大森重男会員のご子息です。)

囲碁ボランティア活動

特別養護老人ホーム「みどりの園」で囲碁のボランティア活動をしております。

以上の活動の中から「プロ棋士による指導碁」の内容の一部を紹介致します。

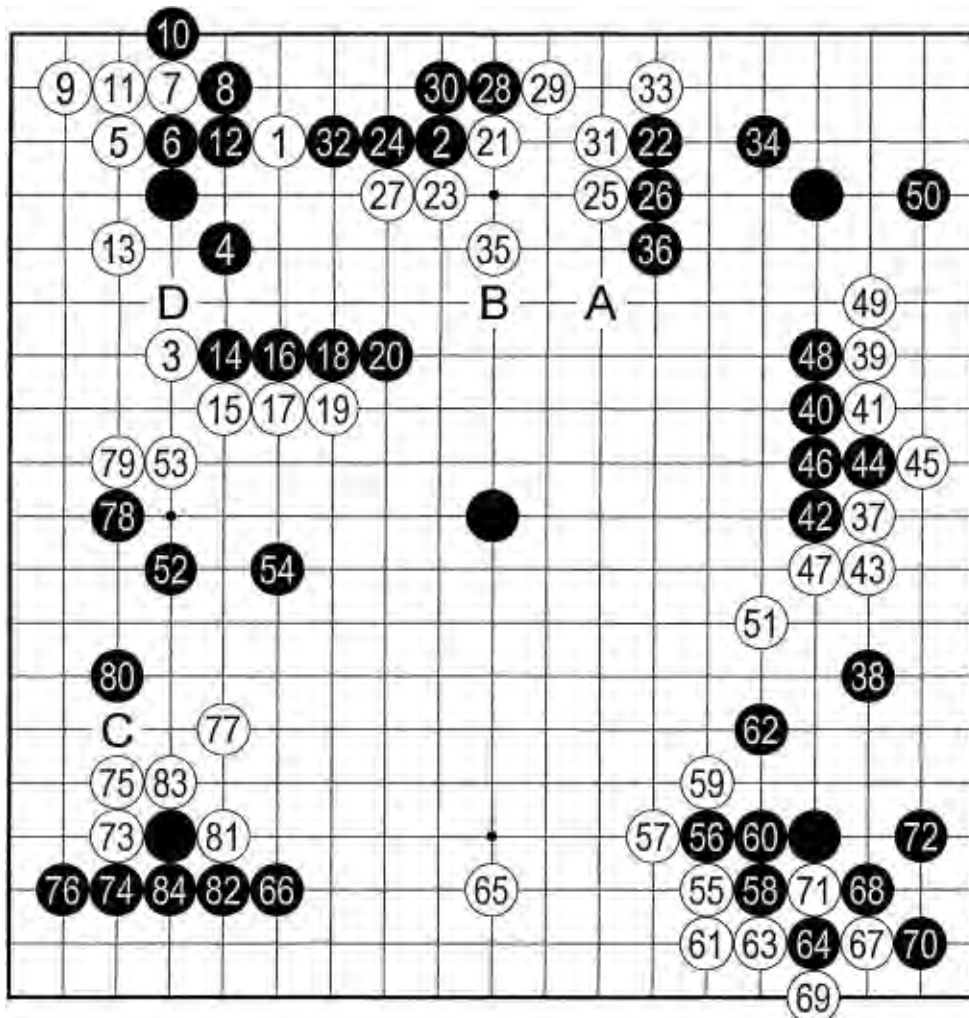
囲碁は個人の性格が色濃く出ますので、それが上達の妨げになっている事があります。指導碁を受ける事によって、気づきにくい癖を指摘していただき、又場合によっては良い所も教えていただけますので大変参考になります。

次の「指導碁添削」はある囲碁サークル会員と先生との五子局の実践譜です。(実際に打たれた手についての添削をしていただいております。)



大森先生による「指導碁」

1～84手以下略



☆黒 26 まで良く打てています。特に白 21 のツケに黒 22 のハサミは良い手でした。

☆黒 28 からは白 35 までお手伝いになってしまいました。単に黒 32 に戻しでした。

白は眼がないので白 A と逃げるよりなく、黒 36、白 B、黒 37 までとなります。

※攻めながら地を増やす、模様を作っていく展開は理想です。

☆黒 40 からは急ぎません。一旦は黒 65 にヒラキでそのあとに黒 40 を狙うところです。

※模様を作るのは先に辺を占めてから広げていくのが正しい手順です。

実戦は白 51 まで頭を出されて模様になりませんでした。

☆黒 52 は好点ですが、黒 54 に飛んでも左上の強い白には影響がありません。守るなら黒 C に受けが働きました。

☆黒 56～62 まで良い打ち方です。黒 64 では黒 68 のコスミで受ける形です。

☆黒 68、70 は仕方のないところです。しかし黒 72 では黒 D などの損のないコウ立てがあるうちは争うところです。(ただし、損コウはしてはいけません)

☆黒 74～80 は良く打てています。※この碁のポイントは黒 28 の局面でした。相手を攻める時はなるべく相手からの利きをなくす事です。離して打つのがコツです。

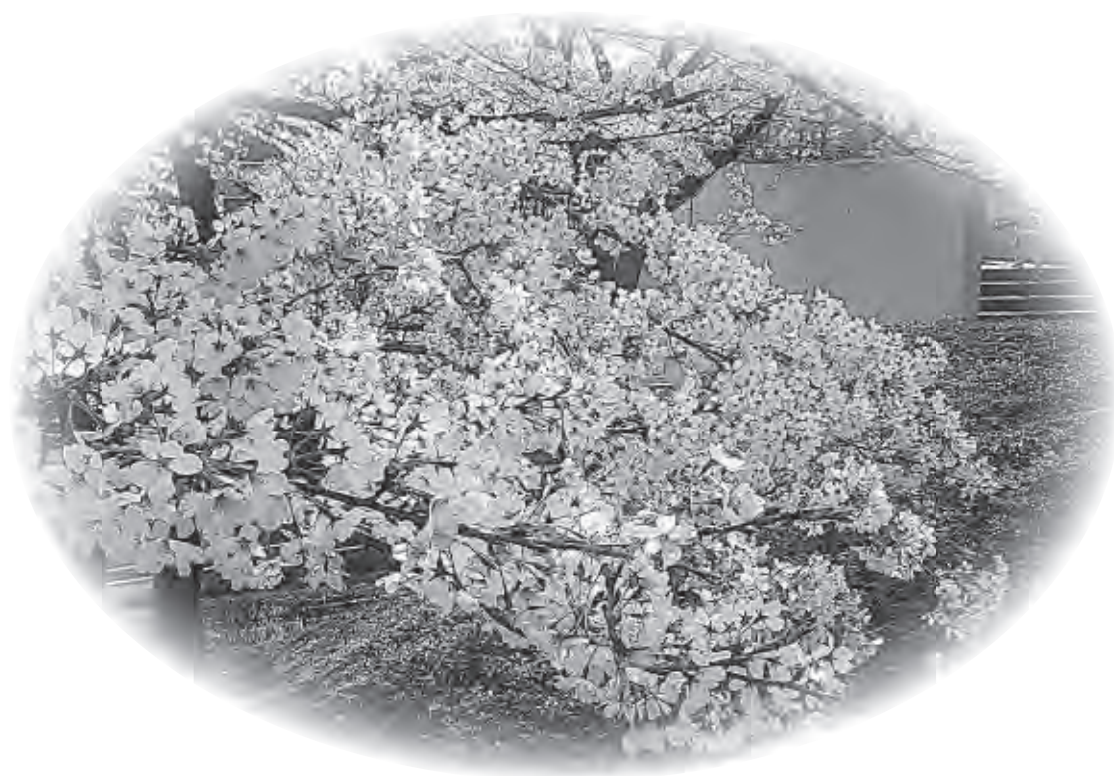
明大「烏鷺会」との交流も続いておりますが、「烏鷺会」には大変に強い指導者がおられます。烏鷺会の会員様との交流とともに大変に楽しい時間を過ごしております。

「囲碁サークル」では囲碁を趣味とされておられる方、これから囲碁を習いたいと思われている方のご参加をお待ち致しております。

(囲碁サークル幹事 長谷川 勇)



明大「烏鷺会」との囲碁交流会の様子



《音楽鑑賞サークル》

藤沢白門会創立 20 周年記念の年に相応しい締め の音楽鑑賞会で伝統と素晴らしい実績を誇る中央大学 管弦楽団創部 60 周年記念演奏会の熱き演奏に感動

藤沢白門会創立 20 周年記念祝賀の年、最初の第 89 回音楽鑑賞会は「NPO 法人湘南フィルハーモニー管弦楽団第 35 回コンサート」（2 月 1 日・茅ヶ崎市民文化会館大ホール）でロッシーニ／歌劇「セビリアの理髪師」序曲、ヴァイオリン独奏に引き続いてベートーヴェン／交響曲第 7 番イ長調を鑑賞し、アンコールの「花のワルツ」で終演となりました。

第 90 回音楽鑑賞会は藤沢白門会でも知れ渡っているフルバンド「中央大学音楽研究会スウィング部スウィング・クリスタル・オーケストラ第 57 回定期演奏会」（2 月 22 日・ヤクルトホール）で例年のようにレギュラーバンドが第 1 ステージとラストステージに登場、Groovin'Forward, Begin The Beguine など 10 数曲を演奏した。第 2 ステージはジュニアバンドが By My Side, The Wind Machineなどを、OB・OG バンドが Stardust, ソロを交えての New York New York など 10 曲ほどを若い力と老練の技でスウィング・ジャズの醍醐味を披露した。レギュラーバンドがアンコールに Take The "A" Train を軽やかにスウィングに演奏してジャズ・コンサートは終演となりました。

そして爽やかな 5 月の第 91 回音楽鑑賞会は一昨年に開催された「男声合唱団白門グリークラブ第 19 回演奏会」（5 月 23 日・北とぴあ さくらホール）で平均年齢 70 歳超のパフォーマーが第 1 ステージの「REQUIEM」に続いて男声合唱組曲「草野心平の詩から」、黒人霊歌「Deep River, Soonah will be Done」などを演奏の後、御馴染みの白門グリークラブの愛唱歌からジャズ「りんごの木の下で」、オペラ「兵士の合唱」などを歌唱し、ポップスでは「乾杯」を観客と合唱して会場が大いに盛りあがった楽しいひと時でした。

夏のような初秋の音楽鑑賞会は「第 11 回栄ゾリステン弦楽アンサンブルコンサート」（9 月 22 日・栄区民文化センター・リリス）で毎回 N 響の首席奏者とのコラボ演奏が楽しみなコンサートです。今回は NHK 交響楽団首席ホルン奏者福川伸陽氏とのコラボでモーツァルト／「ホルン協奏曲第 3 番変



ホルン独奏とコンチェルト演奏ステージ

ホ長調」がメイン楽曲として演奏され、ステージでは彼が木製ラッパの珍しいホルンを手にその仕組みについてトークし、またホルンソロで「夕焼け小焼け」を素晴らしい音色で演奏しました。ラストステージに彼が登場してモーツァルト／ディヴェルティメント第 17 番ニ長調を共演し、ホルンの響きと華麗な弦楽の調べを奏でアンコールのモーツァルト／音楽の冗談（メヌエット）で終演となり、参加者有志が居酒屋へ立ち寄り、家路に着きました。



終演後、栄区民センター
リリス・ホール前で

今年の締めめの第 93 回音楽鑑賞会は「中央大学管弦楽団創部 60 周年記念演奏会・第 74 回定期演奏会」(12 月 22 日・東京藝術劇場コンサートホール) で最初の楽曲にはフランス・バレエ音楽の父と呼ばれる L. ドリーブのバレエ組曲「 Coppélia 」(前奏曲とマズルカ、間奏曲とワルツ) が演奏されて、第 2 曲目に演奏されたのがシャイクスピアの戯曲「ロメオとジュリエット」を題材にしてチャイコフスキーが作曲した幻想序曲「ロメオとジュリエット」で木管楽器、弦楽器そして金管楽器などが主題ごとに力強く躍動したパフォーマンスで心に残った演奏でした。メイン

曲は、L.H. ベルリオーズ／「幻想交響曲 作品 14」で特に最終章の第 5 楽章では、3 階観客席からオーケストラの演奏ステージに吸い込まれるような全身漲る力強い演奏に心ときめく感動を覚えました。ビゼーのカルメン組曲(闘牛士)のアンコールを最後に実に素晴らしかった音楽会の夕べが三々五々家路に向かいました。



熱演に歓声で沸いた記念演奏のステージ

以上 5 回音楽鑑賞会のほかに音楽好きの仲間が声を掛け合い、次のコンサートにも出かけてみました。

- 7 月 18 日 「中央大学音楽研究会第 57 回ジョイントコンサート」(パルテノン多摩・大ホール)
- 9 月 13 日 NPO 法人 癒しの医療を考える会「第 11 回身体にいい音楽会」(藤沢市民会館・小ホール)
- 12 月 26 日 「慶応義塾アインクライネスオーケストラ第 24 回定期演奏会」(神奈川県立音楽堂)

音楽鑑賞サークル(同好会)活動状況(27 年 2 月以降)

2015(平成 27)年

- 2 月 1 日 第 89 回定期音楽鑑賞会(クラシック)開催(茅ヶ崎市民文化会館大ホール)
NPO 法人「湘南フィルハーモニー管弦楽団第 35 回コンサート」
 - ・ロッシーニ：歌劇「セビリアの理髪師」序曲 Op.43
 - ・ラロ：スペイン交響曲ニ短調 Op.21 ヴァイオリン独奏 小野 唯
 - ・ベートーヴェン：交響曲第 7 番イ長調 Op.92 *指揮 清水 謙二
コンサートマスター 大宅 一哉
 - ・アンコール曲：チャイコフスキー／バレエ組曲くるみ割り人形 花のワルツ

- 2月22日 第90回音楽鑑賞会（スウィング・ジャズ）開催（新橋「ヤクルトホール」）
「中央大学音楽研究会スウィング部スウィング・クリスタル・オーケストラ第57回定期演奏会」
第1ステージ：レギュラーバンドが Look For The Silver Lining, A Soundsketch など6曲
第2ステージ：ジュニアバンド Strike Up The Band, Alice In Wonderland, など5曲、OB・OG
バンドが Emily, Bill Bailey など5曲
第3ステージ：レギュラーバンドが Moanin', Spain など5曲の演奏
アンコール曲 Swing Crystal Orchestra 演奏「Take The "A" Train」
- 5月23日 第91回音楽鑑賞会（クラシック・ポピュラー）開催（北区王子「北とぴあ・さくらホール」）
「男声合唱団白門グリークラブ第19回演奏会」
第1ステージ：L. ケルビーニ作曲「REQUIEM」
*指揮 松本 幸二 ピアノ 大庭 直子
MC 宮本 康幸
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
第2ステージ：男声合唱組曲「草野心平の詩から」多田武彦作曲
第3ステージ：白門グリークラブの愛唱歌から
A. ララ作曲「グラナダ」、筒美京平作曲「また逢う日まで」など8曲
- 9月22日 第92回音楽鑑賞会（クラシック）開催（本郷台「栄区民文化センター・リリス」）
「第11回栄ゾリステン弦楽アンサンブルコンサート」
・モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調 K.525
・モーツァルト：ホルン協奏曲第3番変ホ長調 K.447 ホルン独奏 福川 伸陽
・モーツァルト：ディヴェルティメント第17番ニ長調 K.334
・アンコール曲：モーツァルト／音楽の冗談（メヌエット）
コンサートマスター 山田 慶一
- 12月22日 第93回定期音楽鑑賞会（クラシック）開催（豊島区西池袋「東京藝術劇場コンサートホール」）
「中央大学管弦楽団第74回定期演奏会」～中央大学管弦楽団創部60周年記念演奏会～
・ドリーブ：バレエ組曲「コッペリア」より《前奏曲とマズルカ》、《間奏曲とワルツ》
・チャイコフスキー：幻想序曲「ロメオとジュリエット」
・ベルリオーズ：幻想交響曲 作品14
第1楽章 夢—情熱 第2楽章 舞踏会 第3楽章 野の情景
第4楽章 断頭台への行進 第5楽章 サバトの夜の夢
・アンコール曲 ビゼー／カルメン組曲第1番より闘牛士
コンサートマスター 中島 駿介
*常任指揮者 佐藤 寿一

末尾ではございますが第93回音楽鑑賞会の開催にあたって中央大学管弦楽団の部長・総務担当の役員の方々には昨年と同様にご高配をいただきましたことを心から感謝申し上げます。創部60周年を迎えられた貴団の益々のご活躍とご発展を祈念申し上げます。

（音楽鑑賞サークル幹事 座間 毅）

《旅行サークル》

中央大学長野県中信支部訪問の旅

平成 27 年 6 月 6 日（土）に中央大学長野県中信支部の総会が開催されるとの案内を頂き、早速 3 月上旬に藤沢白門会の会員に案内を出したところ、15 名の参加を頂きました。

6 月 6 日～7 日の 1 泊 2 日の日程には、片岡会長夫妻、若林夫妻、石原夫妻、西島先輩を始め 14 名（下條さんは現地合流、川崎支部長の森山さんも現地合流）藤沢を 9 時 30 分集合して町田経由八王子で 10 時 42 分発「あずさ 55 号」に乗り、車内では和気藹藹で盛り上がり、あっという間に松本駅に 13 時に到着し、駅近くのホテルモンターニュ松本（総会・懇親会も同じ場所）チェックインして、遅い昼食を取りに行きました。松本はこの時期、夏山シーズンの始まりと 6 月 7 日（日）第 1 回安曇野マラソン大会の開催でホテルはどこも満室との事でした。

場所は昨年、小山さんと遠藤さんが行ったそば屋「ミヨ田」に行きましたが人気店の為、1 時間程待ち、地酒と旨いそばを頂きました。

女性群は別行動で、川俣さんの案内で松本美術館に行きました。

昼食後、縄手通りと中町通りを散策してホテルに戻り、16 時 30 分から、中央大学の佐々木信夫教授の講演（題名：人口減少時代の地方創生「もう一つの視点」）があり、その後総会・懇親会が始まり地元の方と当方で約 50 名参加され、盛大な懇親会でした。

2 次会は別のホテルにセッティングしてあり、当方から 10 名近く参加して大いに盛り上がりました。

翌日、朝食後松本市内を散策しながら、旧制松本高等学校跡地の校舎及びあがたの森を見て歩き、11 時に肥後橋幹事長が予約してあった松本城の北にあるそば処「もとき」に行き、美味しいそばと地酒を頂きました。

一旦ホテルに戻り、13 時 28 分の「あずさ 20 号」で松本発ち、夕方藤沢に戻ってきました。

10 周年の時はバス 1 台で松本に行きましたが、今回列車の旅も格別でした。

今回、小林支部長をはじめ皆様には大変お世話になり、特に肥後橋幹事長には 2 日間色々面倒を掛け、楽しい旅が出来ました。

中信支部は来年 11 月に創立 65 周年記念式典を予定されていますので是非参加したいと思っております。



松本駅頭での参加者達

（旅行サークル 城崎芳彦）

《写真サークル》

撮影会と作品品評会の活動

撮影会

(1) 鎌倉名明月院他の紫陽花の撮影 6月24日(水)

明月院の紫陽花は撮影には、絶好のタイミング。
それゆえに、カメラマンに溢れ構図を選ぶ余地なし。
容のいい紫陽花を探しカメラに収めるのがやっと。

江ノ電の長谷駅に移動、極楽寺の境内の紫陽花を見つけ、何とか紫陽花撮影会を終了。

(2) 羽田沖にチャーター船で航空機撮影 9月28日(月)

天王洲から船に乗り、羽田沖に向かう。

好天に恵まれ西の空は、夕焼けで真っ赤に染まる。航空機は絶え間なく空港に離着陸。さあ如何にこれを撮影するか。

船は走っている。さてF値は、ISOは、???

まずは航空機にカメラを向けシャッターを切り続ける。

ファインダーには機影は写っているかが果たして写真になっているのか。船が大きく旋回する。撮影は終了。

満足そうな顔をしたKさんの顔が見える。



着陸体勢に入る航空機



作品品評会の一コマ

作品品評会

10月6日(火) 於 産業会館

各自、作品を持ち寄りボードに展示。併し、皆少し元気がない。展示した写真に今回の撮影会の写真が少ない。個人撮影の写真ばかりの会員もいる。今回の撮影会のテーマが難しかったのかなとの反省がよぎる。併し展示された作品から展示作品を選定、タイトルも決定しホッとして品評会は無事終了。

個人撮影活動の紹介

Aさん

東京駅の新駅舎を、通常見ている利用者とは全く違った角度から撮影し新しい建築物として紹介しているのは、流石老練の腕前です。



新装なった東京駅

Bさん

旧街道を現在も仲間の方々とよく歩いておられるようで、その旅の途上観察された風景をカメラに収められ一層旅を楽しまれて、おられるご様子。芭蕉の俳句に変わり、カメラの絵日記なのでしょう。

Cさん

写真のことなら此の方に。鎌倉大仏の大きな指を作品にしてしまう人。今回は神田まつりの神輿を見事な写真にして展示されました。

Dさん

奥信濃の錦秋を撮りに。見事な紅葉を ROW で撮り艶やかな色にプリントすることに挑戦中。

(写真サークル 幹事代行 増田隅雄)

《緑と歴史散歩サークル》

平成 27 年度の緑と歴史散歩サークルは、相模国府祭（こうのまち）六社めぐりの第 3 弾として、6 月 19 日に第 53 回例会「太田道灌公の胴塚と三之宮比々多神社めぐり」、7 月 10 日に第 54 回例会「平塚四之宮前鳥神社から五之宮平塚八幡宮めぐり」を計画したが、53 回例会当日が肌寒い雨天となり、参加者も少なかったことから中止とし、54 回例会のみを実施した。

第 54 回例会「平塚四之宮前鳥神社から五之宮平塚八幡宮めぐり」

毎年 5 月 5 日、相模国一之宮寒川神社・二之宮川勾神社・三之宮比々多神社・四之宮前鳥神社・平塚八幡宮・総社六所神社が大磯町の祭場に集まり、国家安泰・五穀豊穰・諸産業の繁栄を祈念する相模国最大の祭典が国府祭であり、緑と歴史散歩サークルでは、平成 25 年度からこの 6 社の神社をめぐる散策を開始し、これまでに川勾神社めぐり（H25）、寒川神社めぐり（H26）を実施し、今回の 2 社で 4 か所目となった。



前鳥神社での集合写真

第 54 回例会の参加者は、会員が 8 名（うち女性 1 名）、ガイドに平野雅道先生をお迎えし総勢 9 名で、平成 27 年 7 月 10 日平塚駅に集合し、まずバスで前鳥神社に向かった。

前鳥神社は、第 15 代応神天皇の皇子菟道稚郎子命（うじのわきいらつこのみこと）が一族を連れ京都の宇治よりこの相模国へ移り住み、後に子孫がその遺徳を偲んで、これを氏族の御祖神と祀ったことが創祀として伝わっていて、奈良時代の文献に見えるこの地の古名「さきとり」を社名に関するため、創建年代はそれ以前に遡ると考えられている。なお、相模国の国府は近年の発掘調査によりこの四之宮の地にあったということが明らかになってき



途中六地藏を見学 ～きれいに祀られている

ている。また、前鳥神社は学問や就職、安全守護の大神様として受験生などから人気があるそう。散策は前鳥神社を後に県道を南下し、平塚八幡宮へ向かった。途中六地藏のあるお寺や明治時代の洋館である旧横浜ゴム平塚製造所記念館見学をしたりして平塚八幡宮に到着した。小雨がちらついた蒸し暑い中、長距離を歩いたため、年配が多い参加者には少し厳しい散策となったようだ。



旧横浜ゴム平塚製造所記念館で

平塚八幡宮は創祀がとても古く、仁徳天皇の68年（西暦380年）に相模国に大地震が起こり、壊滅状態となった様子を憂われた仁徳天皇がご自分の父である應神天皇をお祀りされたのが創祀とされている。市街地にある神社として多くの人が参拝に訪れている。

今回の散策は、散策のみでサークルの伝統である懇親会は実施しなかった。簡素な活動もこれからの在り方として一つの方向かと考えている。

（幹事 澤田英樹）



平塚八幡宮で記念撮影

《白門サロン会》

第51回サロン会は、平成27年7月12日（日）中華料理店「太同門」鶴沼橋本店に15名の会員が集まり、庶民的かつ異国情緒たっぷりのアジア屋台風店内で、中国北方家庭料理を堪能しました。

サロン会会員は現在約30名で、年2回の開催を目指しており、平成28年3月までに第52回例会を計画しております。



（白門サロン会 幹事 林 孝靖）

食事を堪能する参加者達



《レディスサークル》

レディスサークル 未来に向けて

平成27年7月4日（土）サンパール（藤沢さいか屋）八階「煌蘭」にて、藤沢白門会レディース会が開かれました。今回も、藤沢白門会の女性会員に加え、相模原白門会から木藤良子さんを迎え、開催することができました。

さて、当日は、片岡会長からこの会の趣旨と参加された方々へのお礼のことばで会が始まりました。それぞれの近況報告や趣味の話など女性ならではの話題で盛り上がることができました。

神田駿河台に校舎があった頃は、他大学の教授の講義を受けることができたというお話もうかがうこともできました。学生街といわれた都心部では、他大学との距離も近く、他校との交流も多く行われていたことと思います。

多摩キャンパスでは、一度校内に入ってしまうと、娯楽施設があるわけでもなく、勉学に励むより他になかったのかもしれないかもしれません。確かに、学生運動や学園紛争などの時代が過ぎ、学生気質も大きく変わってしまったこともありましたが、社会勉強につながる沢山の経験を積むには、少し寂しい環境であったかもしれないと思いました。

男女共同参画社会といわれ、女性の社会進出に目が向けられている昨今、大学時代にいろいろな人と交流し、多くの出会いをする中から、自分自身のあるべき姿を見つけていくことも大切なことであると思います。そうした意味からすると、自然環境は良かったものの社会勉強に役立つ環境としては、神田に校舎があった時代の方が恵まれていたのかもしれないかもしれません。

藤沢白門会をとおして、多くの先輩方や同世代、若い世代の方と語り合い、ふれ合う中で、今後も自分自身を磨き続けていけたら良いと思います。

ここ数回、他支部の方との交流を深めることができています。ぜひ、藤沢白門会のレディース会員の多くの皆様にこの会へご参加いただき、人の輪を広げていけると良いと考えています。お忙しい中、ご参加いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

（レディスサークル 幹事 端山徳子）

《新春・平和島周遊ツアー》

送迎バス有で歴史散策、ボーリング、競艇、温泉を満喫

平成 28 年 1 月 16 日（土）の快晴の一日、親睦行事委員会の緑と歴史散歩サークル、旅行サークルと若手委員会の合同で新春・平和島周遊ツアーが開催されました。昨年京急開発(株)の社長に就任された小山副会長のご好意により藤沢駅から大型バスの送迎付きで、大長老の西島一光先輩、片岡久興会長夫妻をはじめ 4 組の夫婦、年配者の中堅組、若手と総勢 18 名の参加がありました。

周遊先は、緑と歴史散歩が忠臣蔵でおなじみの四十七人の義士の墓所がある品川の泉岳寺の散策、若手が平和島でのボウリングと競艇（ボートレース）を楽しむ日程でした。そして散策を終えた泉岳寺組を交え平和島で湯量豊かな温泉を満喫した後、打上げの宴に臨むという何とも言えない湯ったりとした優雅な一日となりました。



平和島へ向かうバスの車中で

藤沢駅南口を 12 時に出発、一般道から首都高に入り、途中大黒 PA で休憩。車中では、片岡会長や小山副会長の京急開発から差し入れのビール等で盛り上がり、現地に着く前にはほろ酔い気分とかつての旅行サークルの行事を思い出す様な次第となりました。

平和島温泉でボウリング組を降ろし、バスは泉岳寺へ。泉岳寺は、赤穂義士四十七士の墓所があり、かの忠臣蔵で著名で毎年討ち入りの日に義士祭が行われています。元禄 14 年 3 月 14 日（1701 年 4 月 21 日）に江戸城松之大廊下で浅野内匠頭長矩が吉良上野介義央に対し刃傷に及び浅野長矩は即日切腹、赤穂浅野家は断絶となった。これに憤慨した家老大石良男（内蔵助）以下赤穂義士四十七士が、

元禄 15 年 12 月 14 日（1703 年 1 月 30 日）深夜に吉良邸に討ち入り、吉良義央を打ち取ってその首を主君が眠る泉岳寺の墓前に捧げたもので、事件後四十七士は切腹となり泉岳寺に葬られています。いずれも 20～40 代の働き盛りで大石の息子主税はいまだ 16 歳と哀れを誘います。入口で線香をもとめ主君や奥方の墓所とともに四十七士の墓前に手向け、義士記念館で事件のあらましを見て散策を終えました。

その後、バスで平和島温泉に戻り、貴賓席でボートレースを楽しみ（儲けはありませんでしたが）、温泉に浸かって疲れを癒し、そして 17 時から酒宴に入り、参加者一同深く懇談して新春の幕開けを楽しんだ一日でした。

バスで藤沢駅まで送っていただき解散したのは 21 時頃。皆さまも是非平和島で競艇等を体験しながら天然の温泉や食事を楽しんだら如何でしょうか。

（副会長 澤田英樹）



泉岳寺本堂前で

◇母校の近況◇

創立 130 周年を迎えて

中央大学中長期事業計画「Chuo Vision 2025」を策定

学校法人中央大学は、創立 130 周年を機に、今後 10 年間の 中央大学中長期事業計画「Chuo Vision 2025」を策定しました。①複数の新学部の創設、②文系学部の一部（法学部）の都心キャンパスへの移転、③グローバル化の推進、などを基本方針としています。

中央大学は、「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神を現代に活かし、ユニバーシティ・メッセージ "Knowledge into Action"（行動する知性）を掲げて、創立 140 周年（2025 年）に至る今後 10 年間にこのような改革を推進し、世界に存在感のある大学を目指します。

1. 学部増設による総合大学としての魅力向上

現代社会が直面する課題に応えるため、教育研究体制を再編し、新しい総合大学を目指します。

(1) ICT 系、メディア表現系、多言語多文化系など複数の学部の新設を目指します。これらは、比較的親和性の高い総合政策学部を発展改組し、学部単位の教員組織を学術院という大きな単位に改編することによって実現するものとします。

(2) 高齢化や福祉など地域社会が抱える課題を解決するための政策形成やマネジメント、生涯スポーツを通じた健康作り、スポーツ振興等に関する教育研究を行う新学部の創設を目指します。

これらの多彩な新学部については、多摩キャンパスで 2019 年頃の創設に向けて申請の準備を進め、総合大学としてのウィングをさらに広げる方針とします。

2. 二大キャンパス体制の形成

多摩キャンパスと複数の都心キャンパスを二大キャンパスに集約し充実・発展を目指します。

(1) 多摩キャンパスについては、施設・設備を一層充実させてグローバル・キャンパスとしての特色を強化します。国際寮を充実し、外国人留学生が食と住の不安を感じないで留学できる環境を整備します。また、新学部の開設に伴い、必要な教育施設を 2019 年までに建設します。

(2) 都心キャンパスについては、最大規模の後楽園キャンパスに集約するとともに、多摩の文系学部の一部を移転して文理双方の教育研究を展開します。移転の第一候補を法学部とし、法科大学院と一体的に配置し、「Law & Law」による教育効果の最大化と効率的な運営を達成します。

これらの都心キャンパス整備は 2022 年の完成を目指します。

3. グローバル化の推進

グローバル人材であった英吉利法律学校創立者たちによる建学の精神を引き継ぎ、世界に存在感のある Chuo University となるべく、「グローバル・プロフェッショナル」の概念を掲げ、すべての科目を英語等で教えるグローバル FLP (Faculty-Linkage Program) や国際共同学位、国際共同研究ネットワークの構築など、国際通用性の涵養と専門分野の学修を両立させるカリキュラムの構築を目指します。

留学生受け入れについては、英語で修了できるコースの設置、国際寮や奨学金制度の整備充実等を通じて、また、学生の海外派遣については、学期制度の見直しや帰国学生のキャリア支援、奨学金制度の充実等により、双方向の留学の支援を広く推進します。

《中央大学ホームページより転載》

平成 27 年司法試験

中央大学 170 名が合格で法科大学院別トップ

最終合格者数 3 年ぶりの首位奪還！

法務省は 9 月 8 日（火）、平成 27 年司法試験の最終合格者数が 1850 人であることを発表した。中央大学法科大学院から 170 人が合格し、法科大学院別合格者数で見事 1 位に輝いた。2 位は慶應義塾大学法科大学院、3 位は東京大学法科大学院。昨年トップの早稲田大学法科大学院は 4 位となった。

今年度の受験者総数は 8016 人（出願者 9072 人）で、一次選抜である短答式試験には 5308 人が合格。中央大学法科大学院からは 372 人が合格し、こちらも法科大学院別で全国最多だった。

なお、中央大学法科大学院における出願者は 517 人。受験者は 475 人で昨年と変わらず、最終合格率は昨年から 1.3 ポイント増（6 人増）の 35.8% となった。

2015 年（平成 27 年）

司法試験法科大学院別合格者数

順位 (合格者数)	法科大学院名	受験者	最終 合格者	合格率
1	中央大学	475	170	35.8%
2	慶應義塾大学	347	158	45.5%
3	東京大学	305	149	48.9%
4	早稲田大学	471	145	30.8%
5	京都大学	240	128	53.3%
6	一橋大学	142	79	55.6%
7	神戸大学	149	72	48.3%
8	明治大学	363	53	14.6%
9	大阪大学	165	48	29.1%
10	北海道大学	147	42	28.6%
	予備試験	301	186	61.8%

※法務省発表の資料をもとに作成。

（学員時報第 490 号より転載）



中央大学学会「藤沢白門会」会員名簿

注：今回の名簿掲載にあたりましては、会報15号掲載時の調査と今回平成27年10月の調査により、名簿掲載を望まれない会員については非掲載、また氏名のみ掲載希望の会員につきましては、氏名と卒業年度・卒業学部のみ掲載しておりますのでご了承ください。
また平成27年10月以降の新入会員につきましては、会報発行準備上の日程等の事情により、掲載することができませんでしたことをお詫び申し上げます。

平成27年10月1日現在

No.	氏名	卒・学	〒	住所	方 書	電話番号
1	秋岡 典和	23法	251-0036	藤沢市江の島1-4-11		22-6769
2	阿久津 功	H3理	251-0001	藤沢市西富2-2-4		090-9144-4070
3	明比 肇	28法	251-0004	藤沢市藤が岡2-13-6		25-5339
4	麻生 勇	44文	252-0807	藤沢市下土棚520		45-8548
5	荒井 正継	46文	251-0052	藤沢市藤沢1-8-14		25-2206
6	安藤 亀鶴	37商	251-0874	藤沢市花の木16-34		81-4605
7	飯島 寿賀子	47文	251-0861	藤沢市大庭8011		81-7878
8	飯島 東助	29法	259-1313	秦野市松原町5-24		0463-87-6272
9	池田 将史	H10法	251-0045	藤沢市辻堂東海岸4-9-7	330東海岸101号室	54-9679
10	石澤 一英	51	248-0036	鎌倉市手広2-18-15		0467-32-8507
11	石橋 一彦	55理				
12	石原 昭憲	41経	251-0051	藤沢市白旗4-11-55		82-2304
13	石橋 由人	H18経	248-0013	鎌倉市材木座2-1-25		090-4594-9207
14	石渡 好行	41理	248-0016	鎌倉市長谷2-5-26		0467-24-7200
15	市川 優	52法	252-0801	藤沢市長後1292-2		45-5255
16	一杉 経法	44法	251-0047	藤沢市辻堂2-19-25		0466-33-8338
17	一ノ瀬 由明	40商	251-0024	藤沢市鵜沼橋1-9-4		24-3123
18	市橋 優子	36	252-0816	藤沢市遠藤845-8		87-2048
19	井出 豊	60文	252-0815	藤沢市石川5-25-45		
20	伊藤 英樹	34法	247-0062	鎌倉市山ノ内1083-16		0467-25-2693
21	伊東 史峰	H14経	251-0053	藤沢市本町3-1-15	中央ビル33号室	
22	井上 泰博	59経	252-0816	藤沢市遠藤817-1-13-104		88-4230
23	井上 良信	48法	252-0821	藤沢市用田1067		48-1024
24	今井 昭吉	26法	104-0054	東京都中央区勝どき1-8-1	勝どきビュータワー3514	090-2144-5110
25	岩田 和雄	31商	251-0031	藤沢市鵜沼藤が谷4-1-3		25-2609
26	牛越 弘	36法	251-0056	藤沢市羽鳥2-6-23		36-1436

No.	氏名	卒・学	〒	住所	方書	電話番号
27	碓井 哲雄	40経	247-0014	横浜市栄区公田町1636		045-892-1186
28	内田 和男	30商	251-0871	藤沢市善行6-10-7		81-4040
29	内田 保義	43法	251-0861	藤沢市大庭5683-2	駒寄1-203	88-0555
30	内野 健治	H4法	227-0043	横浜市青葉区藤が丘1-46-7		045-971-1382
31	梅基 修	50法	252-0804	藤沢市湘南台2-36-6		45-8608
32	遠藤 主計	53理	251-0002	藤沢市大鋸1001-12		23-8822
33	生川 敏康	35商	248-0021	鎌倉市坂ノ下28-26		0467-24-7126
34	大内 昭雄	39商	251-0052	藤沢市藤沢972-1-1003		24-2130
35	大木 樹雄	39法	251-0861	藤沢市大庭5255-4-308		87-9846
36	大塩 節子	45文	251-0033	藤沢市片瀬山4-23-19		27-0392
37	大塩 貴巳	44法	251-0033	藤沢市片瀬山4-23-19		27-0392
38	大島 恵	H12法	252-0804	藤沢市湘南台6-10-19		63-1216
39	大谷 隼夫	43法	251-0038	藤沢市鵜沼松が岡4-5-18		24-5333
40	大友 博之	37工	251-0016	藤沢市弥勒寺4-24-6		25-7573
41	大西 文	H25文	251-0041	藤沢市辻堂神台1-6-2-402		77-8060
42	大沼 敬正	63経	254-0043	平塚市紅谷町3番10	北沢町-湘南平塚2101号	0463-22-0756
43	大橋 賢也	H4法	244-0804	横浜市戸塚区前田町270-5-601		080-5086-0845
44	大森 純一	H4商	252-0311	相模原市南区東林間7-13-50-202		080-9399-9606
45	大森 靖朗	35法	251-0037	藤沢市鵜沼海岸6-3-44		36-4161
46	尾賀 正善	29商	251-0028	藤沢市本鵜沼3-14-12		35-6880
47	岡田 直哉	63文	251-0038	藤沢市鵜沼松が岡4-10-27		28-1813
48	岡本 三郎	43理	251-0024	藤沢市鵜沼橋2-4-12		55-4202
49	小川 晃	33商	251-0002	藤沢市大鋸3-13-22		26-8652
50	小川 祝	33経	248-0033	鎌倉市腰越2-4-11		0467-32-6295
51	沖田 伸	41理	251-0031	藤沢市鵜沼藤が谷2-3-20		29-6971
52	奥山 勝人	54理	251-0028	藤沢市本鵜沼1-5-48		25-0608
53	長田 桂	32商	252-0824	藤沢市打戻2357		48-2621
54	長田 誠	H14法	233-0008	横浜市港南区最戸1-22-15	メゾン・ド・ヌーヴォー303	090-5416-3697
55	長田 源弘	27法	251-0033	藤沢市片瀬山3-21-16		26-3320
56	小澤 俊雄	51商	251-0861	藤沢市大庭5250-10		87-3088

No.	氏名	卒・学	〒	住所	方書	電話番号
57	小田 正二	31法	251-0028	藤沢市本鶴沼3-6-17		36-4574
58	落合 賢二	51経	252-0823	藤沢市葛蒲沢858-2		48-4803
59	角野 洋一	51商				
60	片岡 久興	41経	251-0032	藤沢市片瀬4-4-15		26-8402
61	加藤 俊治	36商	251-0031	藤沢市鶴沼藤が谷4-3-5		23-1463
62	加藤 新太郎	H16文	251-0814	藤沢市天神町2-15-5		090-8565-3076
63	門田 茂	49法	252-0804	藤沢市湘南台1-12-7-903		43-3633
64	金井 和徳	46商	251-0875	藤沢市本藤沢5-7-1	0-列-パ以藤沢1009	83-3298
65	金子 繁夫	33経	248-0027	鎌倉市苗田1-9-16		0467-31-2505
66	金田 裕俊	33法	253-0012	茅ヶ崎市小和田3-8-35		0467-51-6938
67	河合 卓爾	25法	251-0043	藤沢市辻堂元町5-8-6		36-7193
68	川上 博久	58商	243-0211	厚木市三田743-1	本厚木ダイヤモンドマンション102	080-5008-3248
69	川崎 隆之	62理	255-0002	中郡大磯町東町2-3-4		0463-61-9203
70	川島 清憲	46法	251-0054	藤沢市藤沢617		27-1428
71	河原 繁	42	251-0026	藤沢市鶴沼東2-1-1005		23-1607
72	川俣 誠	55法	251-0056	藤沢市羽鳥5-9-8		34-1310
73	神崎 時夫	H7商	251-0056	藤沢市羽鳥2-6-22		36-9702
74	神澤 弘一	45理	247-0062	鎌倉市山ノ内608		0467-45-9900
75	菊地 誠	H10法	253-0071	茅ヶ崎市萩園1618-1		0467-67-9794
76	岸本 寛之	H16法	221-0052	横浜市神奈川区栄町17-4-610		090-8511-4696
77	北島 俊之	62経	251-0035	藤沢市片瀬海岸3-2-18	オリオンパークハイツA	26-2192
78	北村 淳子	51文	251-0032	藤沢市片瀬1-2-6		23-7416
79	木下 啓	34法	251-0043	藤沢市辻堂元町2-16-2		33-1744
80	木水 民雄	43経	244-0812	横浜市戸塚区柏尾町1404-2		045-822-1286
81	木村 祥子	H22法	251-0044	藤沢市辻堂太平台1-6-1		090-2672-7796
82	木村 典明	63法	251-0028	藤沢市本鶴沼4-17-22		37-1910
83	木村 裕	28経	251-0047	藤沢市辻堂2-14-20		36-6807
84	京島 義男	42法	251-0032	藤沢市片瀬3-2-12		27-9821
85	日下 琢巳	34法	251-0004	藤沢市藤が岡2-17-11		22-7406
86	草野 直樹	H7文	251-0014	藤沢市宮前370-24		25-4389

No.	氏名	卒・学	〒	住所	方書	電話番号
87	久米 薫	H24経	251-0871	藤沢市善行2-25-12	ジュネスII101号室	080-2054-8484
88	黒川 恒男	44法	252-0802	藤沢市高倉636-2		44-0656
89	倉田 実	58理	251-0011	藤沢市渡内1-7-25		26-1862
90	小池 郁生	62商	430-0944	浜松市中区田町231-12-701		090-1467-5854
91	小崎 誠士	41経	251-0015	藤沢市川名181-18-B 408		22-3072
92	小島 清	30法	251-0044	藤沢市辻堂太平台1-15-14		36-6761
93	古寺 康則	44経	245-0064	戸塚区影取町239-1-309		045-852-9222
94	後藤 寿一	46文	240-0036	保土ヶ谷区新桜ヶ丘1-23-15		045-351-6680
95	五島 英清	41法	251-0032	藤沢市片瀬3-8-2		22-4616
96	後藤 高秋	H17経	247-0014	横浜市栄区公田町754-4-205	外灘1帖本郷台205	080-1146-9708
97	後藤 安直	H4経	251-0045	藤沢市辻堂東海岸3-4-17		65-0084
98	小林 和成	H4商	251-0053	藤沢市本町4-1-3		77-1713
99	小林 裕子	44文	252-0804	藤沢市湘南台1-41-22		45-5547
100	駒井 登	35法	251-0051	藤沢市白旗3-11-16		81-5163
101	駒崎 靖子	H11商	251-0038	藤沢市鵜沼松が岡3-26-17		090-1038-7367
102	小山 勝男	51経	251-0032	藤沢市片瀬3-3-28		22-2220
103	斎藤 久	38文	251-0024	藤沢市鵜沼橋1-9-5		27-6451
104	斎藤 康可	H16商	241-0025	横浜市旭区四季美台2-21		045-361-2388
105	坂野 明子	61文	251-0871	藤沢市善行1-6-17		83-0812
106	坂本 光雄	40法	251-0052	藤沢市藤沢2-1-10-302		080-6535-7736
107	坂本 譲	28法	251-0047	藤沢市辻堂3-2-19		36-0050
108	桜井 俊明	H14理	252-0816	藤沢市遠藤2522		87-1963
109	桜井 勝	51理	251-0043	藤沢市辻堂元町1-4-3		36-6959
110	佐々木 光平	H22商	251-0038	藤沢市鵜沼松が岡4-15-7-106		090-8730-5647
111	佐生 晴夫	36商	251-0052	藤沢市藤沢3-6-1 703		25-7525
112	佐渡 三貴也	41文	251-0047	藤沢市辻堂2-16-3		36-4931
113	佐藤 家源	H10法	252-0812	藤沢市西俣野118-23		84-2081
114	佐藤 丈治	H12経	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋172-11		045-361-2097
115	佐藤 洋司	32法	251-0028	藤沢市本鵜沼1-1-25		22-1543
116	里見 和信	H5商	251-0861	藤沢市大庭5563-6		87-9904

No.	氏名	卒・学	〒	住所	方書	電話番号
117	座間 毅	40商	252-0804	藤沢市湘南台1-39-8		44-4914
118	澤田 英樹	49法	251-0056	藤沢市羽鳥3-1-8-S-203		35-5106
119	重田 博章	H6理	252-0816	藤沢市遠藤749-1		88-3555
120	島田 好宏	36理	252-0801	藤沢市長後859-4		44-5862
121	下條 勝也	43経				
122	城崎 芳彦	44経	251-0044	藤沢市辻堂太平台2-3-19-208		34-9756
123	白石 桃子	H27総	242-0002	大和市つきみ野8-4-55		090-9209-2838
124	眞 和夫	41経	252-0004	座間市東原4-20-6		046-256-8990
125	菅谷 和彦	H11経	251-0875	藤沢市本藤沢7-1-17		65-6775
126	杉浦 嘉昌	39法	251-0052	藤沢市藤沢4-6-11		26-8620
127	杉本 和雅	49理	251-0052	藤沢市藤沢4-15-22		25-4695
128	杉森 淳	33経	251-0038	藤沢市鵜沼松が岡5-7-20		27-0680
129	杉山 和彦	34法	251-0038	藤沢市鵜沼松が岡1-21-21		22-7070
130	杉山 洋	58法	251-0037	藤沢市鵜沼海岸6-15-1		35-0400
131	杉山 泰則	52文	254-0004	平塚市小鍋島1337		0463-54-1333
132	鈴木 壮一	60理	251-0032	藤沢市片瀬3-2-27		22-2357
133	鈴木 翼	39法	251-0003	藤沢市柄沢200-17		23-0012
134	鈴木 康洋	34法	251-0037	藤沢市鵜沼海岸5-8-23 707		34-6331
135	鈴木 義男	44法	252-0802	藤沢市高倉637-12		44-4752
136	鈴木 吉光	36商	251-0037	藤沢市鵜沼海岸6-17-19		33-7465
137	砂川 知明	H4法	251-0047	藤沢市辻堂3-9-1	別荘別荘番館101	090-8357-6571
138	諏訪間 幸平	H12経	252-0803	藤沢市今田734-4		65-3785
139	諏訪間 幸男	39法	252-0803	藤沢市今田734		43-1015
140	清田 英仁	48	251-0024	藤沢市本鵜沼1-5-21-1403		23-8319
141	関水 俊明	49経	251-0024	藤沢市鵜沼橋1-7-3		25-0505
142	関水 秀樹	50法	242-0024	大和市福田8-9-3		046-267-1724
143	高井 昇	H25商	137-0066	世田谷区成城4-17-20		090-2405-3636
144	高島 良太郎	29経	251-0035	藤沢市片瀬海岸2-6-4		26-0045
145	高橋 茂	60理	245-0015	横浜市泉区中田西3-27-41		045-804-2113
146	高橋 徹	39法	251-0037	藤沢市鵜沼海岸5-7-5		36-1372

No.	氏名	卒・学	〒	住所	方書	電話番号
147	高橋 紀男	38商	251-0002	藤沢市大鋸1029-10		25-6798
148	高橋 路雄	H15文	251-0041	藤沢市辻堂神台1-6-1-1105		090-5551-6811
149	高橋 祐也	H23経	251-0871	藤沢市善行1-3-13-202		080-5536-6321
150	瀧野 秀雄	27法	248-0002	鎌倉市二階堂75		0467-22-2889
151	田代 拓	H19法	244-0801	横浜市戸塚区品濃町536-4	Bタワー408	080-6656-0484
152	橘 秀徳	H7法	242-0029	大和市上草柳2-5-11		046-205-4281
153	橘 透雄	61経	252-0813	藤沢市亀井野3261-1	シャルム湘南A-202	81-6337
154	田中 栄造	35法	252-0805	藤沢市円行826-10		83-5128
155	田中 紀子	62文	252-0861	藤沢市遠藤2017-21		53-8883
156	田中 久義	32商	251-0028	藤沢市本鶴沼2-4-23		23-1221
157	田邊 豊	32法	251-0037	藤沢市鶴沼海岸6-7-18		35-6940
158	谷 優美	H17商	251-0022	藤沢市鶴沼1748-1		090-4419-1600
159	地多 彰	43商				
160	千葉 景子	46法	240-0014	横浜市保土ヶ谷区霞台46-4		045-331-0917
161	千葉 琢巳	39理	252-0816	藤沢市遠藤926-12		87-7468
162	土屋 恭之	H4商				
163	筒井 博孝	47法	251-0028	藤沢市本鶴沼4-8-21		35-3628
164	鶴田 明邦	33経	252-0311	相模原市南区東林間8-10-5		042-744-0895
165	出口 裕明	58法	251-0021	藤沢市鶴沼神明5-2-17		24-4676
166	出口 満美	60法	251-0021	藤沢市鶴沼神明5-2-17		24-4676
167	時枝 誠	39文	251-0037	藤沢市鶴沼海岸4-19-4		36-4474
168	富田 和子	42文	252-0816	藤沢市遠藤3590-9		48-7308
169	豊岡 一英	36商				
170	豊田 松夫	32法	251-0042	藤沢市辻堂新町3-9-29		33-0896
171	永井 譲	57法	252-0813	藤沢市亀井野3207-35		83-1811
172	中市 俊也	57商	251-0045	藤沢市辻堂東海岸1-7-20		35-0224
173	中川 隆	54法	251-0033	藤沢市片瀬山2-12-12		25-7423
174	中川 忠彌	33商				
175	中島 知憲	H25法	252-0814	藤沢市天神町2-8-1		090-8042-8686
176	中谷 哲夫	38商	247-0074	鎌倉市城廻283-7		0467-46-3286

No.	氏名	卒・学	〒	住所	方書	電話番号
177	中津川 彰	33法	251-0016	藤沢市弥勒寺3-29-15		23-6276
178	長田 好秀	H21法	251-0871	藤沢市善行6-4-24		090-3516-2175
179	永友 博之	37法	251-0046	藤沢市辻堂西海岸2-3-9-502		33-5047
180	中丸 浩	58法	252-0813	藤沢市亀井野1-6-8		84-2530
181	成滝 勝郎	42法	251-0057	藤沢市城南5-4-33		36-9545
182	西尾 雄一郎	H6理	251-0055	藤沢市南藤沢3-12-1206		27-0361
183	西川 康成	60経	251-0023	藤沢市鵠沼花沢町13-10-307		28-8410
184	西島 一光	26経	251-0052	藤沢市藤沢1-8-17		23-3360
185	西山 英里	H24理	251-0057	藤沢市城南4-1-31		36-1879
186	西山 忠壬	29法	251-0871	藤沢市善行2-10-13		81-4193
187	野口 義之	34法	251-0011	藤沢市渡内4-8-1		23-7392
188	芳賀 剛正	S39経	251-0875	藤沢市本藤沢1-11-12		84-2417
189	榛葉 敏行	24経	251-0037	藤沢市鵠沼海岸2-5-2		36-7505
190	長谷川 勇	46法	252-0813	藤沢市亀井野4-12-46		82-1283
191	長谷川 武夫	26法	251-0052	藤沢市藤沢226		23-1679
192	長谷川 政彦	36法	251-0033	藤沢市片瀬山1-10-5		26-1550
193	畑 克海	63法	111-0025	台東区東浅草1-17-4		03-3871-9181
194	畠中 真一	50文	251-0033	藤沢市片瀬山2-15-19		23-2150
195	幡谷 智之	H8法	251-0033	藤沢市片瀬山1-2-2		090-1777-5163
196	鉢蠟 博	43商	252-0815	藤沢市石川4-2-28		87-5185
197	服部 将也	H8経	251-0051	藤沢市白旗1-13-19		81-7262
198	服部 治	35法	251-0045	藤沢市辻堂東海岸1-11-17		33-5244
199	服部 計利	60法	251-0031	藤沢市鵠沼藤が谷2-1-1-407		28-2577
200	花輪 晴彦	52商				
201	浜野 正明	45商	251-0032	藤沢市片瀬2-15-14		22-5193
202	早川 浩文	60商	251-0045	藤沢市辻堂東海岸2-12-38		35-6137
203	林 隆	54理	251-0876	藤沢市善行坂1-1-41	カクノト藤沢善行501	81-0550
204	林 孝靖	46法	251-0031	藤沢市鵠沼藤が谷4-1-23		28-1391
205	林 宣孝	H10商	253-0013	茅ヶ崎市赤松町7-57	カクノト湘南辻堂617	
206	端山 徳子	59文	251-0056	藤沢市羽鳥3-19-41		33-7181

No.	氏名	卒・学	〒	住所	方書	電話番号
207	端山 幸雄	59文	251-0056	藤沢市羽鳥3-19-41		33-7181
208	原 輝雄	H10法	252-0815	藤沢市石川5-14-20		87-0686
209	原田 芳一	H4法	252-0804	藤沢市湘南台3-1-4-510		46-1382
210	番場 定孝	38法	251-0038	藤沢市鵠沼松が岡4-20-4		25-4111
211	廣澤 政夫	43理	251-0002	藤沢市大鋸1-11-15		25-4352
212	広田 哲彦	60理	224-0023	横浜市都筑区東山田3-23-9-508		045-593-0799
213	廣富 章	39経				
214	弘松 賢和	H5商	252-0135	相模原市緑区大島11-296		090-4667-7180
215	深澤 宗一	45文	251-0027	藤沢市鵠沼桜が岡2-5-3		25-6926
216	福島 勇	49法	252-0801	藤沢市長後791-2		43-1287
217	福原 進	46経	252-0816	藤沢市遠藤690-3	羽根沢1-303	86-0401
218	藤木 文晶	H8商	252-0801	藤沢市長後727-8		080-5016-1543
219	藤田 元次郎	35法	251-0042	藤沢市辻堂新町2-2-25		34-6764
220	藤田 勝	52法	222-0036	横浜市港北区小机町1260		045-471-6565
221	伏野 清朝	32法				
222	古川 明人	48法	252-0801	藤沢市長後404-10		46-6049
223	古島 健		251-0031	藤沢市鵠沼藤が谷4-14-31		22-6516
224	細田 實	32法	248-0027	鎌倉市菑田2-30-5		0467-33-0831
225	堀 昌幸	35経	251-0861	藤沢市大庭5565-2		87-0091
226	本間 徳也	58法	251-0871	藤沢市善行5-2-9		83-4578
227	増田 隅雄	34法	242-0007	大和市中央林間4-28-8	カサヴェルデ701	046-244-5267
228	松浦 真人	57理	251-0045	藤沢市辻堂東海岸1-8-4		34-4473
229	松本 茂弘	43商	251-0861	藤沢市大庭5683-7	駒寄45-106	87-1954
230	三浦 貞雄	35法	244-0841	横浜市栄区長沼町326	第1長沼M7205	090-2564-4493
231	水口 宏昭	42理	251-0021	藤沢市鵠沼神明1-5-11-602		28-0308
232	三觜 喜郎	35法	251-0053	藤沢市本町2-12-7		22-6138
233	皆川 一敏	46法	251-0043	藤沢市辻堂元町2-16-20		36-7743
234	養田 邦興	42商	251-0861	藤沢市大庭5128-50		21-6005
235	宮内 直人	62理	251-0052	藤沢市藤沢2-1-10-604		24-1704
236	宮本 忠雄	35経	251-0057	藤沢市城南4-7-16		34-4580

No.	氏名	卒・学	〒	住所	方書	電話番号
237	六車 直美	H7	251-0861	藤沢市大庭5234-2		86-3132
238	村山 俊博	30経	251-0032	藤沢市片瀬2-14-3		25-4550
239	室原 達也	39理				
240	望田 良男	39法	251-0027	藤沢市鵜沼桜が岡3-1-1-110		50-9001
241	望月 史郎	H11法	252-0303	相模原市南区相模大野3-1-2-1006		042-765-4366
242	森 大樹	H13法	220-0051	横浜市西区中央2-18-6		090-5790-2059
243	森川 哲也	52法	251-0027	藤沢市鵜沼桜が岡4-9-7		22-5602
244	八城 義友	53商	251-0015	藤沢市川名904-1		23-4616
245	安田 厚	38法	252-0802	藤沢市高倉650		44-4607
246	柳澤 敏男	51理	154-0022	東京都世田谷区梅丘2-20-22	W-林-53 318	03-5450-2889
247	矢野 茂夫	28法	251-0031	藤沢市鵜沼藤が谷1-11-28		50-2128
248	山口 省三	36法	252-0815	藤沢市石川689-1		87-9046
249	山越 健一	56法	251-0056	藤沢市羽鳥3-1-8 S-605号		35-6384
250	山崎 勇	40法	251-0861	藤沢市大庭2178		36-3375
251	山崎 正幸	55法	252-0815	藤沢市石川6-26-32	W-入湘南台第3-103	
252	山田 秀一	45理				
253	山本 和夫	45商	251-0033	藤沢市片瀬山3-1-1		26-5345
254	山本 正二	47理				
255	山本 泰弘	34経	251-0027	藤沢市鵜沼桜が岡4-9-27		22-9516
256	吉田 弘明	54文	251-0028	藤沢市本鵜沼3-6-20		33-5231
257	吉田 祐彦	H19経	251-0021	藤沢市鵜沼神明4-4-20		26-0622
258	吉原 和義	48経	244-0815	横浜市戸塚区下倉田町599-2		045-392-6067
259	米澤 威	H6理	251-0037	藤沢市鵜沼海岸1-6-16-403		33-8677
260	若林 貞行	40商	247-0061	鎌倉市台1-8-21		0467-44-3476
261	若林 洋平	H5商	251-0037	藤沢市鵜沼海岸2-16-5-112		37-1815
262	和田 勝也	43理	252-0815	藤沢市石川3-22-7		87-6833

□ 新入会員（入会日順） ～よろしくお願ひいたします □

平成 27 年

5 月 白石 桃子 様 平成 27 年 総合政策学部卒
 6 月 高橋 茂 様 昭和 60 年 理工学部卒
 12 月 相原 妙美 様 平成 17 年 法学部卒
 12 月 河野 高久 様 平成 24 年 法学部卒

平成 28 年

1 月 浅井 優志 様 平成 23 年 商学部卒
 1 月 高田 乃葵子 様 平成 26 年 経済学部卒
 2 月 福代 菊弥 様 平成 6 年 文学部卒
 3 月 坂口 秀之 様 平成 7 年 文学部卒

物故会員 謹んで哀悼の意を表します

平成 8 年

4 月 藤田 信人 様

平成 9 年

4 月 原田 文平 様

4 月 弥武 信美 様

平成 11 年

ご逝去日不明 仙石 秀夫 様

平成 12 年

ご逝去日不明 関野 忠義 様

4 月 寺村 孝一 様

6 月 萩原 三郎 様

8 月 野口 順一 様

平成 13 年

4 月 島田 征 様

6 月 武川 洋三 様

12 月 中島 正郎 様

平成 14 年

ご逝去日不明 坂井 建 様

8 月 橋本 五男 様

10 月 長峯 悦子 様

平成 15 年

8 月 橋本 篤治 様

平成 16 年

ご逝去日不明 三宅 健治郎 様

ご逝去日不明 北畠 有弘 様

1 月 池 和雄 様

4 月 井上 澄 様

平成 17 年

1 月 猪股 喜蔵 様
 5 月 小原 卓 様
 5 月 鈴木 貞夫 様
 6 月 平野 文彦 様
 6 月 荻原 益三 様
 8 月 大森 重男 様
 8 月 入江 正之 様
 11 月 小川 勲 様
 12 月 八巻 喜幸 様

平成 19 年

2 月 山口 哲男 様
 3 月 中津 靖夫 様
 4 月 平野 智嘉義 様
 9 月 石井 繁 様
 10 月 多田 幸雄 様

平成 20 年

1 月 星野 輝夫 様
 4 月 三浦 敏宏 様
 7 月 藤田 清三 様

平成 21 年

ご逝去日不明 寺下 富雄 様
 6 月 松村 正治 様
 10 月 横山 孝 様

平成 22 年

2 月 土井 正為 様
 6 月 高見沢 浩 様
 12 月 田中 政春 様

平成 23 年

6 月 7 日 前田 亨 様
 7 月 2 日 杉下 正 様
 9 月 17 日 長尾 英市 様

平成 24 年

ご逝去日不明 小宮山 満弘 様
 3 月 2 日 久保田祐一郎 様
 3 月 25 日 植田 柁代 様
 4 月 15 日 渋谷 喜三郎 様
 7 月 14 日 澤田 英雄 様
 9 月 8 日 片岡 邦彦 様
 12 月 笹子 秀雄 様

平成 25 年

ご逝去日不明 葉山 俊之 様
 1 月 16 日 酒井 量三 様
 1 月 20 日 池田 謙次 様
 4 月 2 日 澤藤 洋一 様
 7 月 13 日 柳谷 力 様
 11 月 6 日 加藤 武 様
 12 月 3 日 田中 義和 様

平成 26 年

2 月 21 日 佐々木 初男 様
 8 月 3 日 吉武 孝尚 様
 9 月 5 日 加藤 英雄 様
 12 月 15 日 相田 卓夫 様

平成 27 年

7 月 16 日 保谷 秀樹 様
 12 月 7 日 野山 靖夫 様

(平成 8 年から平成 27 年に逝去された会員の方々)

追悼・保谷秀樹氏を偲ぶ



服部 治（相談役）

晩秋、昨年11月に保谷さんが逝かれた、との報に接したときの驚きは、いまでも鮮明である。まさかという思いのなかで、あの温顔がぐっと浮かび上がってきた。一時、怪我をされて歩くのもままならないことがあったようでしたが、しだいに快復されて顧問会などでお目にかかった節、快復の様子を語る表情は明るかったのに、惜しまれてならない。

確固たる信念のもとに、多彩な活動を懸命に取り組んで来られた。藤沢市議会議員、藤沢市バスケット協会、日本カナダ友好交流協会。また社会

福祉法人光友会など多くの団体機関の支援を担当された。そのなかで藤沢市議会議員としての活躍は、市民のためにどうあるべきかの市政改革の視点に立って推進して来られたことは広く知られている。

保谷さんの藤沢市議会議員としてのご活躍は、Ⅰ期、平成7年5月から同11年4月、Ⅱ期、平成15年5月から同19年4月にわたる。Ⅱ期では、総務常任委員会委員長、議会報編集委員会委員長として総括している。この間、藤沢市の文化分野振興への対応にも積極的であった。将来に継ぐべき問題への打開・解決に対して重点的に取り組まれたのであった。

『会報』誌上にも、(随想)欄に登場していただいた。趣味の話、団体活動などにも言及された内容は、議員生活のもう一つの側面を浮かび上がらせていた。『会報』第6号(平成13年10月30日発行)では、「21世紀に伝えたいこと」と題し、所感をまとめている。「21世紀の幕開けとなった2001年も早や折り返しを過ぎ、例年と何ら変わりなく四季の移ろいを感じさせながら、時を刻んでいます」の冒頭に始まる文章のあと、ご自身の母上と保谷家にホームステイしたアメリカの留学生、スコット・ジョンソンさんのことを述懐している。そして結びに「現在、世界のなかの若者が諸外国に出て学び、交流を続ける時代になっています、彼らが生あるすべてを愛し、戦いもない時代を21世紀に作り上げてほしいと願っています」この言葉の意味は、いまきわめて大きいと受け止めるところである。

保谷秀樹さんのご活躍を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

(藤沢市議会議員時代の内容は、藤沢市議会議員・原輝雄氏より協力いただきました。)

藤沢白門会 20 年のあゆみ

(1995～2015)

〔藤沢白門会が平成7年12月に発足〕

“広がれ、白門の輪” 会長に橋本篤治氏が就任

設立への期待の声を結集して中央大学学員会「藤沢白門会」は、平成7年12月6日に藤沢産業センターにおいて設立総会を開催する運びとなった。全国で96番目の新生・地域支部として正式に発足した。設立総会には、95名が出席、来賓として中央大学常任理事・水上虎馬雄氏も臨席された。まず、発起人である西島一光氏が開会の挨拶、次いで同じく発起人の橋本篤治氏設立経過を報告。来賓の紹介と中央大学・内海英男理事長、高木友之助総長の祝電披露の後、議事進行。満場一致で原案通り可決・承認された。役員については、会長・橋本篤治氏、副会長に加藤武氏、(親睦行事担当)西島一光氏(顧問担当)、佐藤洋司氏、田辺豊氏(大学窓口担当)、牛越弘氏(会報担当)、田中義和(入会担当)、幡場正宏氏(総務担当)、時枝誠氏(箱根駅伝応援担当)、事務局長には片岡久興氏が選出された。橋本会長は、「会員の皆さんとともに、藤沢白門会をすばらしい会に育てていく所存ですので、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。」と挨拶、設立総会を力強く締めくくった。



藤沢白門会の設立総会で挨拶する橋本篤治会長

<感動の嵐!! 藤沢白門会の門出を祝福>

箱根大学駅伝、32年ぶり総合優勝なる

門出を祝福して大きなお年玉―藤沢白門会の発足直後の平成8年1月2・3日に行われた第72回東京箱根間往復大学駅伝競走は、母校中央大学の32年ぶり、14回目の総合優勝となった。純白の胸に赤いCマークのユニフォームが躍動、ともに味わう感激の美酒、(ああ中央)これに尽きるものはない。藤沢白門会では、箱根駅伝応援委員会が中心となり両日、多数の旗幟と小旗で沿道から大声援を送った。往路第3位で期待を高め、翌日の復路6区で逆転し第1位に。わが8区では、白門会会員らの大声援を受けてトップを走る川波選手の韋駄天ぶりは、ひたすらゴールへ、優勝を目指す意気を横溢させた快走ぶりであった。10区、見える、見える、大成選手が手を挙げて堂々優勝のゴールイン。歓声、歓喜の波の中。

- * 「藤沢白門会」発足。初代会長に橋本篤治氏が就任。(平成7年12月)
- * 第72回箱根駅伝、32年ぶり感激の14回目総合優勝。(平成8年1月)
- * 中央大学学員会〔支部旗〕を駿河台記念会館で授与される。(平成8年5月)

- 米国、欧州、アジアの3極を軸にした動きが進む中で、日本の立ち遅れが目立つ。
- ASEAN(東アジア諸国連合)にミャンマー、カンボジア、ラオスを加盟させた体制発足の動きが台頭。

「定期総会」講演・佐土一正氏の豊富な話題を楽しむ

春爛漫、会員来賓ら出席して盛大に

春爛漫の好季、さわやかな湘南の風を浴びながら、定期総会は4月19日、多くの会員の参加を得て盛大に開催。来賓として中央大学の水上虎馬雄常任理事、地元から山本捷雄藤沢市長、櫻井郁三衆議院議員をお迎えした。定期総会は、第1部総会、第2部後援会、第3部懇談会の順で進行。第2部の講演会では、母校出身の佐土一正氏（日本テレビアナウンサーOB）が豊富な話題をもとに、開局時のプロレス中継や箱根駅伝の中央大学6連覇時代の逸話などを披露。出席者はそれぞれに興味尽きない講演内容を楽しんだ。



定期総会における佐土一正氏の講演

[藤沢（湘南）地区内の大学同窓会が大集合]

8大学による親睦交流会が発足する



藤沢（湘南）地区大学同窓会親睦交流会の情景

現したものであり、全国的に見ても、例のないものである。こんごの広がりが期待されている。

第1回の藤沢（湘南）地区大学同窓会親睦交流会が9月6日に藤沢グランドホテルで開催された。藤沢を中心に組織され活動している同窓会のなかで、8つの大学同窓会が一堂に会した。慶應義塾大学藤沢三田会、明治学院大学同窓会湘南中央支部、神奈川大学校友会藤沢支部、立教大学湘南立教会、早稲田大学藤沢稲門会、日本大学校友会神奈川支部湘南桜門会、青山学院大学校友会湘南支部、中央大学学委員会藤沢白門会がメンバーとなる。

同親睦交流会は、中央大学藤沢白門会（親睦実行委員会）などが呼びかけてはじめて実

- * サークル同好会の活動が活況。（ゴルフ、旅行、囲碁、音楽鑑賞、テニス、釣り、写真、ドライブ、園芸、麻雀、書道、ヨット、白門会サロン）
- * 第1回「藤沢（湘南）地区大学同窓会親睦交流会」の発足・開催。（9月）

- 地球温暖化防止京都会議で、約160カ国が地球環境保全問題に取り組む。（12月）
- 金融改革「日本版ビックバン」の本格化を控え、証券業界では、外資系の攻勢が目立つ。
- 好調な健全発展を続けてきたアジア諸国が1997年夏以降、相次いで、通貨下落。

【活発なサークル同好会、開催回数 40 回に】

参加メンバーの増加でますます活況

会員相互の親睦と交流を目指したサークル同好会の活動は、年々盛んになってきている。13のサークル同好会への参加と積極的な活動は、藤沢白門会活動の中軸を形成している。ここで、サークル同好会名と今年の参加延べ人数を紹介する。

・ゴルフ（述べ参加人数 31 人）、・旅行（述べ参加人数 31 人）、・囲碁（12 回の開催）、・音楽鑑賞（述べ参加人数 33 人）、・テニス（述べ参加人数 25 人）、・釣り（登録人数 10 人）、・園芸（述べ参加人数 23 人）、・写真（述べ参加人数 15 人）、・ドライブ（登録人数 3 人）、・麻雀（述べ参加人数 21 人）、書道（登録人数 3 人）、ヨット（登録人数 8 人）、白門サロン（登録人数 25 人）。10 年度は、開催回数 40 回、参加人数は述べ 193 人となっている。参加人数の増加は、サークル同好会の活況を示している。

〔第 3 回会員親睦バス旅行〕

第 9 回中央大学ホームカミングデーに参加

秋晴れの平成 10 年 10 月 4 日、第 3 回の親睦バス旅行を実施。第 9 回の中央大学ホームカミングデーの懇親会にも参加した。同日の朝、午前 8 時 30 分に藤沢駅南口の小田急デパート前に会員ら 29 名が集合し、貸切り観光バスで目的地である町田の薬師池公園と中央大学多摩校舎に向かって出発。薬師池公園は花の見所で、春は梅、桜、藤、花菖蒲。夏は大賀蓮、秋は椿と紅葉のすばらしいところ。母校での懇親パーティーでは、記念撮影など楽しい時を過ごした。午後 3 時、記念品と箱根駅伝の応援に使える帽子をお土産にして、再度、貸切観光バスでにて帰路藤沢へ。



ホームカミングデーに参加した藤沢白門会の面々

- * レディース委員会の活動スタートなる。(4 月)
- * 会員親睦バス旅行で、中央大学ホームカミングデーに参加。(10 月)
- * 囲碁サークル同好会、毎月の例会開催で活発な交流と親睦。

- 金融監督庁の発足により、内外の金融市場から信認の確立をめざす。(6 月)
- 日本版ビッグバン（金融制度の抜本改革）がスタートする。

「新春のつどい」にぎやかに開催

会員、家族、来賓、友好団体代表が多数参加

新しき年、1999年（平成11年）を祝うとともに、会員相互の親睦と相互理解をいっそう深めるために1月30日午後6時から恒例の会場となった藤沢グランドホテルで130名の会員と配偶者、並びに来賓、友好団体の役員の方々の出席のもと、盛大に開催された。親睦行事委員会の石原昭憲理事の司会で進められ、橋本篤治会長の挨拶、次いで来賓の中央大学水上虎馬雄常任理事より最近の大学近況の近況について、昨年12月に韓国ソウル市で特別卒業証明贈呈式を挙げたこと、中央大学音楽研究会管弦楽部が米国ニューヨークのカーネギーホールで〔第九コンサート〕に出演したことなど、が説明された。同日は、来賓として山本捷雄藤沢市長、櫻井郁三衆議院議員、千葉景子（藤沢白門会顧問）・葉山峻・石渡清元・斉藤勁の各参議院議員、番場定孝神奈川県議会議員（藤沢白門会顧問）、さらに県下白門会・支部の役員、湘南藤沢地区の各大学OB・OG会の役員の方々が多数出席された。

〔定例総会〕講演 萩原益三氏（藤沢白門会顧問）

「出会いのすばらしさ」に感動を呼ぶ

定例総会は、平成11年5月8日午後6時から藤沢産業センターで100名の出席を得て開催された。総会では、第1部・議題審議、第2部・講演会、第3部・懇親会と進んだ。第2部の講演会では、萩原益三氏が若き日の『出会いのすばらしさ』を語り、感動のひとときをつくった。同紙は中央大学法学部卒業後、米国のスタンフォード大学大学院に留学。その間、防府市で出会った米国人のバーク・ハードナ博士から大学進学のための奨学金をいただいたこと、またヘルシンキ・オリンピックで栄光の金メダリスト（レスリング）となった石井庄八さん（中央大学出身）との出会い、電通時代の思い出話など披露された。電通常務取締役を経て、(株)ビデオリサーチ取締役社長であり、エッセイストとしても活躍されている。講演は大好評であった。



感動を呼んだ萩原益三氏の講演

- * 社会福祉活動委員会がスタートする。(4月)
- * 若手会「地引網のつどい」で盛り上がる。(7月)
- * 音楽鑑賞サークル同好会、多彩な活動展開。(5、9、12月)

- 国内、海外ともに大型合併、連携が相次ぐ。
- バブル経済崩壊後の経済危機からようやく脱出する。
- 3つの課題（雇用・設備・責務）の本格的な解消に乗り出す。

「緑と歴史散歩」サークルに参加者ふえる

足元の歴史から楽しく追いかけていく

平成 12 年 3 月より「園芸サークル」から「緑と歴史散歩」の会に改称、正式に登録された。(緑の鑑賞と小さな歴史を知ろう)、これが緑と歴史サークルのモットーとなった。平成 11 年からの活動を見ると、10 月〔藤沢宿をたずねてⅠ〕、12 月〔藤沢宿をたずねてⅡ〕続いて 12 年 3 月には〔江の島の歴史散歩〕を実施。当初 4 名の「園芸サークル」からスタートして、〔江ノ島〕では、29 名と参加者が増えている。「日本の現状そして将来を見つめるためには、まず歴史を勉強せよなどと大袈裟なものではありませんが、足元の歴史から、これを楽しみ追いかけていく、長く続けていこうと思っています。」(緑と歴史散歩サークル幹事・大森重男)の意図は、広がりを見せて、楽しい機会をつくっている。

【第 76 回箱根駅伝】往路・復路を力走する

戦前の予想を覆して総合 3 位の健闘

駅伝ファンにとっては、正月の楽しみより箱根駅伝観戦のほうがもっと楽しみだという方がたくさんおられる。今年の箱根駅伝の戦前の予想では、本命・駒沢、対抗・順天堂、神奈川、山梨学院、そして中央が挙げられていた。どんなドラマが繰り広げられるか、わくわくするところである。1 区は、中央の板山選手は堅実な走りで 4 位。2 区の池田選手(1 年)は繋ぐも、9 位



8 区を力走する中央大学の選手と沿道の声援

となり、ようやく 3 区、4 区で 7 位を確保する。5 区は、注目される中央の藤原選手(1 年)。グイグイ飛ばして、4 位まで押し上げ見事に区間賞を獲得。翌日の復路は 6 区永井選手(区間賞)、7 区野村選手(1 年)が健闘して 2 位をキープ。8 区花田選手もよく走り、トップに迫る。9 区で 3 位(中川選手)となり、10 区の宇野選手は 3 位でゴールとなった。「今回は、戦前の予想を見事に覆した健闘で、総合 3 位に堂々と入賞した力走は大いに讃えてあげたい」(箱根駅伝応援担当副会長・時枝誠)と賛辞を惜しまなかった。

- * 「創立 5 周年」記念行事プログラムによる行事の始動。
(日帰り親睦バス旅行、海外旅行、記念式典、活動展、レセプション、会報記念号発刊など)
- * 第 1 回神奈川県合同白門会発足。(11 月)

- 沖縄サミット(主要 8 カ国首脳会議)で IT 革命が最重要課題となる。(7 月)
- 主要企業、3 期ぶりの増収増益(2000 年 9 月中間連結決算)で業績回復へ
- IT 戦略会議において、IT 国家基本戦略を策定。(11 月)

〔創立 5 周年記念〕（あいさつ・橋本篤治会長）

湘南の風土の中で生き甲斐に繋がる活動を

活き活きとして、楽しく多彩な活動を進め、375名の会員の皆様と親睦・交流の輪を広げ、母校の発展と地元文化への貢献をめざし中央大学学生会藤沢支部「藤沢白門会」は、大きく前進してまいりました。藤沢白門会は、このきびしい経済環境の中で、これまで多彩な活動をすすめ、数々の立派な実績をつくってまいりました。活動回数は実に年間 130 回となりました。この湘南の風土の中で、白門の、のびのびとした気持ちでよき生き甲斐に繋がる活動を今後も進めてまいります。



創立 5 周年記念祝賀レセプションに出席した会員・家族

〔創立 5 周年記念〕

盛大な記念式典・行事で成果を表示

創立 5 周年行事の年として、日帰り親睦バス旅行（12 年 5 月）、海外旅行（12 年 10 月）、泊旅行（12 年 11 月）、記念式典等（2 月 18 日、藤沢グランドホテル、4 部構成）が実施された。



車椅子贈呈の目録を渡す橋本会長と山本藤沢市長

記念式典（第 1 部）では、橋本篤治会長の挨拶にはじまり、多くの来賓の方々のご出席とご祝辞をいただいた。その際、車椅子 3 台を藤沢市社会福祉協議会に贈呈。一般公開学術講演会（第 2 部）では、渥美東洋・中央大学教授による『現代社会の不安とそれへの対応』。サークル同好会、委員会活動展（第 3 部）を紹介。（第 4 部）祝賀レセプションでは、ウエルカムドリンクではじまり、半蔵囃子のアトラクションで盛り上げた。最後に加藤武記念行事実行委員長による宣言と謝辞でイベントの幕を閉じた。

- * 「創立 5 周年」記念式典・一般公開学術講演会・祝賀レセプションを挙げる。（2 月）
- * 社会福祉活動委員会の募金活動（会員延べ 982 人）により、藤沢市に車椅子 3 台贈呈。
- * ホームページ「藤沢白門会 HP」開設（10 月）

- 経済のグローバル化に伴い製造業の空洞化が進行する。
- 国内産業の競争力回復を目指し施策検討の産業競争力会議がスタート。（11 月）
- 「改革なくして成長なし」「経済財政白書」を公表する。（12 月）

〔第 8 回定例総会〕で円滑にバトンタッチ

名誉会長には橋本篤治氏、新会長に加藤武氏が就任

湘南の風がそよぐ中、第 8 回の定例総会は、藤沢産業センターで幡場正宏副会長の司会により始められた。橋本議長の進行で議事に入り、議案はそれぞれ可決・承認された。同総会において、橋本篤治会長を名誉会長に、加藤武副会長を新会長に、就任が満場一致で円滑に決定された。また中央大学 125 周年の募金についても、対応方針が了承された。懇親会は、石原昭憲理事の司会でスタート。来賓の中央大学常任理事の浜田惟道氏から「創立 125 周年の募金へのご協力をお願いしたい。藤沢支部の活発な活動は、大いに評価している。特に地域への貢献、他大学との交流はほかにないものである。」とのお挨拶をいただいた。また学会副会長の佐藤光信氏からは、箱根駅伝で中央の黄金時代に 3 区、8 区で区間賞を獲ったエピソードが披露され、改めて感激のひとつときとなった。

〔積極的な社会福祉活動の成果に注目〕

共生フィールドを創るために

藤沢白門会が地域の社会福祉にささやかでも貢献するために、障害者や高齢者貸し出しの車椅子を藤沢市に贈呈しようと会員同士が役員会、総会、新年会またサークル同好会の集いなどで募金活動を始めた。その結果、平成 13 年の創立 5 周年記念行事で車椅子 3 台、そして今年の 1 月「新春の集い」で車椅子 3 台を贈呈することができた。

活動内容を見ると、〔福祉施設関係のもの〕としては、傾聴ボランティア、囲碁、将棋の相手をするボランティア、陶芸のボランティア、催事への参加が挙げられる。また、〔障害者スポーツ（ローリングバレーほか）のもの〕としては、毎月の定例練習会、各種大会へのサポーターとして参加している。これからの活動が注目される。



社会福祉活動・ローリングバレーボール大会で交流する

- * 定期総会で名誉会長に橋本篤治氏、新会長に加藤武氏が就任。(4 月) * ゴルフサークル同好会、第 10 回コンペを開催。(6 月)
- * 緑と歴史散歩サークル同好会、回を重ねて盛況。(6 月)

- 史上初の首脳会談、日朝交渉により拉致の 5 人帰国。(9 月)
- 総合デフレ対策〔改革加速のための総合対応策〕(政府) を決定、新たな産業再生機構の創設を盛り込む。(10 月)

追悼：輝ける活動の日々よ

橋本篤治名誉会長逝く

平成 15 年 8 月 5 日早朝、橋本篤治名誉会長は、不帰の人となられた。藤沢白門会の設立、そして初代会長として多大の貢献をされた。謹んで哀悼の意をささげる。斎場祭壇は、遺影とともに真ん中にバレーボールと V (Victory) 字型をかたどった菊の花で埋め尽くされており、在りし日の活躍が偲ばれた。かつて中央大学バレーボールの主将、監督、総監督として黄金時代を築き挙げた、この間、全日本選手権 5 連覇、全日本大学選手権 (男子) 最多優勝 12 回という偉業を達成。また、地元では、藤沢バレー協会会長、藤沢スポーツ財団理事など要職を通じて貢献された。(藤沢白門会『会報・第 8 号』では、「追悼：橋本篤治名誉会長」として特集した。)

〔音楽鑑賞サークル同好会の活動〕

多彩な音楽プログラム、ビッグバンドの迫力に興奮

◇年が明けて 2003 年の音楽鑑賞会は、2 月 23 日のヤクルトホールの「中央大学音楽研究会スウィング・クリスタル・オーケストラ第 45 回演奏会」から始まった。普段、なかなか耳にすることができないジャズナンバーを楽しむことができ、ビッグ・バンドの迫力に圧倒された。興奮さめやらぬ会場を後に、参加者有志が銀座の一隅で軽食を取りながら、懇親を深め懇親を期して散会した。

◇梅雨入り間近の 5 月 31 日、折りしも 5 月には珍しい台風の到来で大荒れの天候。第 2 回目の中央大学音楽研究会の OB 男声合唱団「白門グリークラブ」〔ジョリー・フェローズ・ジャズ・オーケストラ〕のジョイント・コンサートを開催。

◇長引く梅雨の 7 月 19 日には、新宿でライブを始めてから今年で第 10 回の節目を記念して、〔南啓一とモレナ・エコーズ新宿ノアノア・ライブ第 10 回記念コンサート〕を開催した。お世話になったモレナ・エコーズの末永い演奏を期待しつつ、ライブ会場を後に参加者ともども来年を楽しみに家路に着いた。(音楽鑑賞サークル幹事・座間毅：『会報・第 8 号』より)



迫力ある演奏に満足した面々の表情

- * 藤沢白門会初代会長・名誉会長 橋本篤治氏逝去される (8 月)
- * 藤沢市議会選挙で藤沢白門会顧問の保谷秀樹氏、原輝雄氏が見事当選。(4 月)
- * 中央大学創立 125 周年記念事業募金への協力体制。

- 「経済財政報告」(03 年度) は、高齢化と人口減少の急速な進展とそれに伴う国民負担の増加への抜本的な改革を求める。
- イラク復興支援国会議で、日本は無償資金協力の拠出を表明。(8 月)

〔創立 10 周年へ向けて始動〕 加藤武会長の表明

実行委員会の発足と事業計画の実行態勢づくり

藤沢白門会は、来年 12 月で創立 10 周年を迎えるため、実行委員会を発足した。藤沢市と姉妹都市である松本市を中心に活動している中信支部との姉妹支部連携を目玉事業とし、5 月に神奈川県下支部・白門会の合同ゴルフコンペ、6 月に親睦バス旅行、8 月に地引綱大会、11 月 26 日には公開講演会・コンサート・記念式典・活動展・祝賀レセプション、平成 18 年 2 月に海外旅行と記念誌の発行など決定し、準備を進めている。

9 年間を総括すると、①仲良しクラブ、②活発な活動、③母校に寄与、④地元文化・福祉に寄与、⑤他大学同窓会との親睦交流、の 5 点に特色がある。

(1) 現在の会員数は、371 名であるが、あらゆる行事を通じて、会員相互の親睦を図るとともに、楽しい仲良しの会となっている。(2) 7 つの運営委員会と 9 つのサークル同好会があり、それぞれ活発な活動を展開している。昨年度は延べ 176 回の活動を行い、近年は百数十回で推移している。(3) 母校の創立 125 周年募金に対し、5 カ年計画を立てて協力し、観桜会、ホームカミングデーなどの諸行事に積極的に参加している。(4) 5 周年時に発足した社会福祉活動委員会が中心となり、あらゆる機会に募金を行い、4 年前から社会福祉協議会に高齢者・身障者への貸し出し用車椅子を 10 台贈呈している。また、社会福祉施設を訪問し、囲碁などを通じて入所者との交流を図るボランティア活動を定期的実施している。(5) 藤沢・湘南地域の大学同窓会に呼びかけて、平成 9 年から親睦交流を開催している。当初は 8 大学であったが、現在では 14 大学に拡大し、湘南ユニバースティッククラブ (SUC) として、年に 1 回の交流会を行っている。また、神奈川県下には、藤沢白門会のほか、横浜、川崎、茅ヶ崎、小田原、逗葉の 6 つの地域支部・白門会があり、年 1 回の連絡協議会と県下合同白門会が開催されており、積極的に参加し、交流を深めている。



ゴルフを楽しむサークル同好会の和やかな雰囲気

創立 10 周年を迎えるにあたり、過去に築き上げてきた 5 大特色を再認識して、それぞれの項目をより一層充実させ、さらに羽ばたいていきたいと考えている。

- * 定期総会において、10 周年プロジェクト活動方針確定。(4 月)
- * 参議院選挙で千葉景子氏 (藤沢白門会顧問) が堂々 4 回目の当選。(7 月)
- * 中央大学学員会中信支部 (長野県松本市) との姉妹支部連携なる。(11 月)

- 自由貿易協定 (FTA) の交渉により、「東アジア共同体」への形成態勢がすすむ。
- 企業の持続的発展を図る観点から「企業の社会的責任」(CSR) が新たな経営課題として台頭する。

〈創立 10 周年記念・国内日帰りバス旅行〉

好天気 of 三浦半島・岬めぐり

藤沢白門会創立記念行事として、国内日帰りバス旅行を 6 月 4 日（土）三浦半島・岬めぐりを挙行政した。数日前の天気予報から傘マークが付き始め、梅雨のはしりかと心配されたが、なんの、なんの好天気に恵まれ、持参した傘が日傘になるような絶好の行楽日和のなか、総勢 34 名、トイレ付デラックスバスにて藤沢を出発した。コースは、百年前の明治 38 年 5 月、ロシアバルチック艦隊を撃沈した「三笠」記念艦、房総半島がすぐ近くに見える観音崎、百万本のポピーが咲き乱れていた「くりはま花の園」。マグロで有名な三崎港ララミューでの奥様へのお土産購入。城ヶ島県立公園での酔い覚ましのハイキングなど楽しい一日を過ごすことができた。



戦艦三笠公園
うしろに東郷平八郎元帥の立像

「特に車中懇親会、また油壺海岸などでのシーフード・バーベキューでは、お店の酒類はすべて飲みきっての大宴会でした。」（旅行サークル幹事・若林貞行）と楽しい旅行の様子を語る表情は和やか。夕方、6 時、無事藤沢に到着し、来年 2 月の海外旅行「台湾 4 日間の旅」での再会を期して散会となった。

〈創立 10 周年記念・若手会主催の地引網大会〉

浜辺の大祝賀パーティーとなる

藤沢白門会の若手会主催による恒例の地引網大会は、創立 10 周年記念行事として 9 月 3 日に例年よりパワーアップし鵜沼海岸の堀川網で開催された。今年は、会員・家族はじめ県下白門会、慶応義塾大学藤沢三田会、早稲田大学藤沢校友会、また社会福祉法人光友会・神奈川ワークショップの方々参加を頂き、103 名という大盛況となった。ただ心残りだったのは、当日はるか南にあった台風の影響で波が高く、網を引くことができなかつたこと。

そこで、急遽変更して青天の下〔浜辺の大祝賀パーティー〕となった。参加の方々からの各種お酒、葡萄などが寄せられて豊富なメニューの数々。おいに食べ、飲み、語り、またスイカ割りに興じるなど盛り上がった。お土産に「釜揚げしらす」を持ち帰りいただくなど、楽しい 1 日を過ごすことができた。「来年こそは、台風が邪魔されず皆様に網を引いていただき、大漁といきたいもの」（若手委員会委員長・小山勝男）とスタッフの意気は高い。



浜辺で食べ、飲み、語る賑わい

- * 「新春のつどい」会員、家族、各層の参加で賑やかに開催。（1 月）
- * 「創立 10 周年」記念学術講演会・祝賀レセプション・記念コンサート（一般公開）・記念式典・活動展・祝賀レセプション・藤沢白門会讃歌発表—グランドホテル湘南。（11 月）

- 日本企業の海外投資への積極的対応、業績上昇の動きが目立つ。
- 衆議院解散・総選挙で小泉旋風のもと、自民党が大幅に議席（296 議席）を増やす。（9 月）

[錦秋の信州へ]

中信松本支部と感動の旅

藤沢白門会創立 10 周年を記念して、藤沢市と姉妹都市である長野県松本市を中心に、半世紀以上の活動歴のある学会《松本支部》との姉妹支部連携がなされた。平成 17 年 11 月、われわれの創立記念レセプションに参加いただいた中信支部の藤沢会長はじめ主要役員の方々との「松本での交流会を、という夢の企画が実現した。

18 年 10 月 13 日午前 7 時、藤沢駅南口・小田急デパートを出発。神奈中バスの参加者は、7 組のカップルを含めて 41 名。シートはほぼ満席状態。1 日目は、中央道、大王わさび園へ。戻っていよいよ松本城。午後 4 時には、日本書紀にも登場する筑摩の湯「美ヶ原温泉」の豪華ホテル「翔峰」へ。6 時半から中信支部の方々を加えて総勢 73 人の大宴会となった。白門会の伝統力、団結力の強さ、粋の良さ、楽しさを示した時間であった。

明けて 14 日。松本電鉄の社長である中信支部副支部長・滝沢徹氏が、自らマイクを握ってガイド役を担当いただいた。アルプスの散策を楽しんだ後は、中信支部・藤沢会長の経営する「五千尺ホテル」でご自慢のフランクのランチ。藤沢に戻ってきた時は、午後 8 時半、感動と感激の 1 泊りバス旅行は、終了した。



中信支部との盛り上がった交流場面

大満足の第 9 回地引き網大会

平成 18 年 10 月 7 日、三浦半島、富士山、伊豆半島、さらには伊豆大島間で望める、まれにみる秋晴れの下、藤沢白門会若手委員会主催の慣例行事「地引き網大会」が総勢 59 名の参加を得て、盛大に開催された。かます、しらす、えぼだい、あじ、いさき等、期待に十分こたえる収穫でした。会員相互の懇親も大いに深まりました。

- * 藤沢白門会の姉妹支部である中信松本支部との連携と交流（11 月）〈成功と感激の 1 泊りのバス旅行〉
- * 地域社会の貢献。車いす 14 台贈呈により藤沢市社会福祉協議会より感謝状を受ける。

- 基本地価、16 年ぶりに上昇、国土交通省の発表によると、東京、大阪、名古屋の 3 大都市圏で上昇した。
- 猛威をふるうノロウイルス。ノロウイルスが原因とみられる感染性胃腸炎が最大の流行になっていることが判明。

〈第 18 回母校ホームカミングデー〉センチメンタルジャーニー

〈駿河台〉から（多摩キャンパス）へ

平成 19 年 10 月 28 日、からりと晴れあがった藤沢の空、東西にそびえる富士山は、われわれ会員の青春の日を思い出させてくれる絶好の条件が整った。午前 7 時、藤沢小田急デパート前から京急バスに乗車、同 15 分発車、横浜勢とドッキングして、8 時過ぎに「ここはお江戸か、神田の街か、神田の街なら大学は中央、の駿河台に向かった。変貌した駿河台から理工学部の後楽園校舎へ。

バスは、【司法の白門】の首位奪還を果たした法科大学院の市ヶ谷キャンパスの前を通り、多摩キャンパスへ。昼前に到着。陸上競技部を表敬訪問。ヒルトップで懇親会。後は行事を楽しみながら、それぞれの中央大学を堪能した。特に感激したのは、大学史企画展「駿河台の記憶」。さすがに会場は還暦過ぎの各員会員でいっぱいであった。



母校ホームカミングデーに参加した面々

〈第 11 回 SUC で大学間の盛んな交流〉

明大の名演出によった SUC 親睦交流会

第 11 回を迎えた SUC(湘南ユニバスティクラブ)。記録的な猛暑がやっと治まった 9 月 22 日、会場は定番となったグランドホテル湘南。当番校は明治大学校友会藤沢地域支部、総勢 163 名が出席した。テーブルには、大学別、年次別とは異なりお隣さん感覚の席、意外な出会いに歓声上がる。明大といえば、マンドリン演奏。「甲斐靖文とシェルプロローレンス」の登場。おいしい料理、楽しいおしゃべり、しゃれた音楽と 3 拍子そろって会は、最高潮に達した。

- * 「緑と歴史散歩サークル同好会」は 10 周年の多彩な活動を展開した。31 回にわたる講演と歴史散歩の実績。
- * 〈素晴らしきかな藤沢白門会〉(会長・加藤武氏) が活動の 10 年間を省みる。

- 日本の月探査衛星「かぐや」が打ち上げに成功(9月)
- 新しい国民の祝日が増える。「昭和の日」(4月)
- 企業の海外進出において、アジア諸国の仕事が伸びる

新体制の「新春のつどい」盛大に

雨風強かった朝の天候から一転し、「新春のつどい」が開催される数時間前には、冬晴れのいい天候になった。

杉浦嘉昌副会長のリードによる藤沢白門会讃歌の斉唱でスタート。片岡久興会長による挨拶「3つの柱として会員間の親睦・母校への貢献・地元文化発展への貢献を大切にしていきたい」と力強く表明。続いて石原昭憲副会長より15名の新入会の報告、来賓の紹介があった。母校の辻本京朔常任理事、学員会佐藤光信副会長をはじめ、SUCからは慶応大学三田会、早稲田大学藤沢稲門会、また県下の白門会から横浜、川崎、茅ヶ崎、平塚、小田原から出席いただいた。

乾杯の労をとったのは、昭和16年経済学部首席卒業、92歳の長尾英市大先輩、当時の卒業証書を持参されご披露。しっかりとした口調で述べられると、会場からは驚きと敬意の声、拍手が沸きあがった。母校の歴史と藤沢白門会の深みを感じ、乾杯は祝賀の雰囲気でも盛り上がった。



河口湖旅行の楽しい表情（旅行サークル）

白門サロン会 楽しい語らいの場で盛り上がる

白門サロン会は（食し・飲み・語る）を課題のメインにして、1997年（平成9年）7月29日の第1回会合以来、すでに34回の催しが開かれた。2008年には、7月23日（水）に千葉景子会員に協力をいただき、参議院議長公邸訪問の機会を得た。その後法務省談話室に移動、皇居前の景色を眼下に望みながら、冷たい飲み物で疲れを癒した。

- * 藤沢白門会の第3代会長に片岡久興氏が就任。（4月）
- * 贈呈（藤沢白門会）の車いす（藤沢市スポーツ振興財団）で中学生が卓球を体験。

- 1ドルが100円を突破。東京外国為替市場で1995年11月以来の12年4か月ぶりの100円突破。（3月）
- ノーベル物理学賞、化学賞として日本の4人の学者（物理学賞—南部陽一郎氏、小林誠氏、益川俊英氏、化学賞—下村脩氏）が受賞した。日本が誇る快挙。（10月）

〈ゴルフサークル同好会〉

雄大な富士山のふもとでプレー

第 22 回ゴルフコンペは平成 21 年 7 月 30 日（木）、まじかに富士山を仰ぎ見ながらラウンドできる「富士山ゴルフクラブ」で開催された。このコースは、白門グリークラブOBである宮本康幸先輩が専務取締役として活躍されており、友人である藤沢白門会の座間先輩より紹介いただいたもの。会場して 46 年を迎えるだけに、落ち着いた雰囲気があり、各ホールは自然の地形を生かしゆったりとしたレイアウトされていた。さすが日本ゴルフ界の草分け的な存在、中村寅吉プロの設計したことをうなずかせる魅力溢れるコースであった。

わが藤沢白門会から 12 名がチャレンジしたが、11 名が 100 オーバー。いかに難しいかお分かりいただけると思う。プレーを楽しんだ夜の表彰式は、《北海道》で開催。同店長の川越さん（委員会）がコンペに初めて参加されたことで、夜の部ではたいへんお世話になった。

第 2 回若手懇親会ボウリングパーティー

若手委員会の会員を対象にした「第 2 回若手懇親会ボウリングパーティー」を平成 21 年 11 月 14 日の江の島ボウルにて開催。今回 6 名が新たに参加して、懇親の輪がさらに広がった。ゲーム終了後、江の島ボウル 1 階の C I Z A B A R でパーティーと表彰式を行った。大沼若手委員長の音頭で乾杯、歓談が弾んだ会となった。



新しいメンバーが加わったボウリングパーティー

- * レディース・サークル（前年発足）がいよいよ活動を展開。
- * 待望の「S U C」（湘南ユニバースディ・クラブ）の内規が定まる。

- 戦後最悪のマイナス成長、日本銀行が 2009 年度の実績成長率はマイナス 2%と予測。マイナス 2%は戦後最悪の数字となった。（1月）
- 総選挙で民主党が圧勝。第 45 回衆議院選挙が行なわれ、〈政権交代〉を掲げた民主党が 308 議席を獲得し圧勝した。（8月）

〈第 14 回 S U C 親睦交流会〉

盛況のなか天女の舞に魅了

秋晴れの好天に恵まれた平成 22 年 9 月 18 日（土）、第 14 回 S U C 親睦交流会がグランドホテルで盛会裡に開催された。今年は、東海大学同窓会神奈川ブロック湘南支部が幹事校で、湘南・藤沢地区の 17 大学から合わせて 150 名もの参加があり、わが中央大学藤沢白門会からは、加藤名誉会長、片岡会長、石原副会長等 15 名が参加し S U C の中核同窓会としての威容を遠慮なく発揮することができた。

アトラクションでは、藤沢で有名な「オリラニ フラ スタジオ」のみなさん、ハワイアンダンスでは、20 名を超す美しいダンサーの踊り。会場は天女の舞いに酔いしれた。



S U C の華麗なハワイアンダンスの妙技

〈緑と歴史散歩サークル同好会・第 40 回例会〉

秋の里山を楽しむ

第 40 回を記念した例会は、11 月 3 日の文化の日に、茅ヶ崎の香川から堤にかけての街中の歴史と秋の里山を楽しむ散策を実施しました。秋のさわやかな風が吹き抜ける 1 日、平野先生のガイドにより、相模線の香川駅を起点に、諏訪神社、地元の名刹「玄珊寺」、江戸期の名手が苦勞して開削した勘重郎堀～大岡越前守の菩提寺でもある浄見寺をめぐるコースを歩きました。まだ紅葉には早いものの江戸期の風情がそのまま残る佇まいは都会の中の一服の清涼剤。文化の日にふさわしく会員のみなさんの文化度も格段に向上した 1 日でした。

- * 「白門サロン」活動が加わり、母校創立 125 周年記念の（中央大学 vs 早稲田大学）交流試合を神宮球場で観戦、声援止むところ知らずの熱戦を楽しんだ（8 月）。
- * 好天に恵まれた「地引網大会」は、会員、S U C、子供らでにぎわい、懇談、交流で盛り上がった（9 月）。

- 円高 80 円台の攻防をめぐって産業界の必死の対応、海外日系企業の経営展開へのマイナス影響が深刻になる。（9 月）。
- 本年のノーベル化学賞に、北海道大学の鈴木章名誉教授（80 歳）とアメリカ・バドュー大学の根岸英一特別教授（75 歳）が選出された。この快挙に日本列島が沸いた。（10 月）

第15回 SUC 交流・親睦会

第1部・記念講演会 第2部・「がんばろう～東北」

藤沢市を中心とする湘南地域の15大学で結成するSUC(湘南ユニバーシティクラブ)の第15回交流・親睦会が平成23年9月24日、中央大学学生会藤沢支部が幹事校となり、15大学—148名の参加で華やかに開催された。

まず、東日本大震災の被害者の方々への黙とう、そして第1部・記念講演「時局を読む」と題して、元法務大臣・千葉景子氏(藤沢支部顧問)が講演。第1部終了後、「がんばろう～東北」をテーマに親睦会へと移り、幹事校を代表して学生会藤沢支部・片岡会長より東北復興への熱い思いを込めた挨拶で、第2部がスタート。親睦を深める談笑の場となった。



音楽鑑賞サークル同好会

白門グリークラブ創団50周年記念演奏会

—ヴェテランの円熟した熱き名唱、中央大学マンドリン倶楽部100回記念演奏会・歴史と伝統を継承、名曲そして名演奏



2001(平成13)年に入ってから始めた中央大学音楽研究会スウィング・クリスタル・オーケストラ定期演奏会も第53回となりました。例年のとおり、今年も音楽鑑賞会がスウィング・クリスタル・オーケストラ第53回定期演奏会からスタートしました。第1ステージとラストステージにレギュラ・バンド(スウィング・クリスタル・オーケストラ)が登場。平成23年度最初の音楽鑑賞会は、男声合唱団(OB)白門グリー

クラブ「創団50周年記念第17回演奏会」(東京・北とぴあ)を鑑賞した。

- * 母校創立125周年記念募金に際して目標額を上回り580万円となる。
- * 「絆」を深めて、さらなる前進の意気高く、平成24年新春の集い(1月)
- * 第15回SUC交流・懇親会で「がんばろう～東北」の輪広がる。

- 東北地方太平洋沖でM9.0の大地震が発生(東日本大地震)し、大津波・福島第1原子力発電所(東京電力)の放射性物質が拡散により、甚大な被害を蒙る。(3月)
- 大阪市長・大阪府知事の同日選挙において、いずれも大阪維新の会の候補者が当選(11月)

第 21 回ホーム・カミングデー

「中大の絆」宣言で東日本震災被災地の復興を



第 21 回を迎えたホーム・カミングデーが、平成 24 年 10 月 28 日（日）中央大学多摩キャンパスで 3 年ぶりに開催された。イベント「親子対談」では、ロンドン五輪フェンシング男子団体・銀メダリスト・千田健太氏と父上の千田健一氏（中大卒）により、「被災地に勇気、亡き友に贈るメダル」のもとに、トークが行なわれた。

「中大の絆」として、企画に参加した 35 支部の代表者が支部の幟や旗を持って、メイン・ステージに上がった後、全支部を代表して、い

わき支部長が「絆宣言」を行った。全員が絆を深め、東日本大震災被災地の早期復興を祈念した。

写真サークル同好会

撮影会と作品品評会の活動

撮影会は、10月13日（土）、11月9日（金）の2回開催。

10月13日には、3サークル合同の「西湘古民家めぐり」にサークルメンバーの4名が参加。大雄山、最乗寺、瀬戸屋敷見学など旅行を楽しみ、学びながら、各所で撮影する。

11月9日には、「紅葉と富士」をテーマに5名が参加。クラブツーリズム撮影バスツアーにて、富士五湖をめぐる。第1ポイントは、河口湖の大石公園、紅葉が真っ盛りで富士山もよく見えた。第2ポイントは、精進湖でコメント富士。第三ポイントは、山中湖のダイヤモンド富士を狙うが、夕方から雲が出て、富士山がご機嫌ななめ、残念。次回に期待。

作品の品評会は、11月21日（水）産業センター会議室にて開催。メンバーが一堂に会し、日ごろ、頑張って撮った写真の評価と「新春のつどい」に出展する作品を選定した。



- * ホーム・カミングデーで、「中大の絆宣言」に参加（10月）
- * レディース会が新入会員を加えて開催。（駿河台時代、多摩時代に話題が広がる）（11月）

- レスリングの吉田沙保理選手が世界選手権で優勝。史上最多となる世界大会 13 連覇を達成（9月）
- 19 人目の日本人ノーベル賞受賞者として、京都大学山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞し、日本中が沸いた。（10月）

追悼多彩なご活動とご貢献

加藤武名誉会長逝去さる



加藤武名誉会長は去る平成25年11月6日逝去された(享年75歳)。葬儀は平成25年11月10日にカルチャー BONDS 藤沢において、多くの会葬者のもとに、しめやかに執り行われた。

多彩なご活動は、職域、地域を越えて人々に深い感銘を与えて来られた。なかでも、藤沢白門会への多大な貢献は特筆される所である。かつての活動分野における社会教育功労者文部

大臣表彰受賞、ボーイスカウト韓国連盟国際親善有功章受章などにも社会的貢献への大きさが表明されている。

緑と歴史散歩サークル同好会

講座・散策・食事を満喫する

第47回例会(講演会・八重の桜とその背景)は、平成25年2月19日に開催。文芸評論家の尾島政雄氏による新春講演会からスタートした。講演会では、NHKの大河ドラマ「八重の桜」にちなみ、八重の出身地である会津藩の歴史や〈ならぬものはならぬ〉という会津士魂の藩風が、まず紹介された。該博な知識と愛情あふれる尾島先生の講演。参加者一同大きな感動に浸ったひとときであった。

第48回例会は、平成25年7月5日、二宮の川匂神社を訪ねる。延喜式で相模第2位(第1位は寒川神社)の格式を誇る川匂神社の境内を散策した。



- * 第16回地引き網大会、快晴のもとに100名を超える参加者で賑わう(8月)
- * 加藤武名誉会長逝去される(11月)。『会報・第18号』において、在りし日のご活躍を偲び哀悼の意を表す。

- 長嶋茂雄氏と松井秀喜氏に対し、国民栄誉賞の同時授与を正式決定。(4月)
- 参議院議員通常選挙が行なわれ、自由民主党が圧勝し、自公連立与党が優位となり、衆参両院のねじれ状態が解消された。(7月)

第20回定期総会

好評を得た岡本弘史先生の医療講演

第20回定期総会は、平成26年4月26日（土）午後3時より藤沢市民会館にて開催された。中央大学学員会副会長・関正氏ら来賓はじめ80名近い会員が参加。第1部・医療講演、第2部・定期総会、第3部・懇親会が進行した。

医療講演では、湘南藤沢徳州会病院脊椎センター・脊柱側湾症センター部長・岡本弘史先生から「腰痛について、腰部脊柱狭窄症とすべり症の脊椎手続き」のもとに、腰痛の原因と治療方法について講演いただいた。

定期総会では、創立20周年記念行事計画などが報告され、議案承認。懇親会では、藤沢白門会讃歌の斉唱のあと新入会員の紹介などがあり、盛り上がりを見せた。



〈白門サロン会〉

開催50回と回を重ねて好評

第49回のサロン会は、平成26年6月22日（日）に「デニース・タルタル藤沢店」に19名が集まり、石窯焼きマルゲリータピザなど特製料理を楽しんだ。第50回サロン会は、平成26年11月23日（日）に中華料理店「清香園本店」で開催、17名の会員が参加した。



白門サロン会は、平成9年7月29日に「銀座アスター藤沢店」で第1回を催して以来、実に50回を迎えることになった。

- * 藤沢市社会福祉協議会より、藤沢白門会は車椅子寄贈に対して表彰される。
- * 第7回若手懇親会ボウリング大会&パーティで懇親さらに深まる。(11月)

- 消費税が5%から8%に。17年ぶりの増税、公共料金等も値上がりする(4月)
- 「富岡製糸場と絹産業遺産群」がユネスコの世界遺産に登録。(6月)

〈新春の集い〉

さらなる発展をめざし決意新たに



平成27年「新春のつどい」は、平成27年1月30日（土）に午後4時より藤沢市民会館において、来賓、会員など含め100名を上回る参加で賑やかに開催された。はじめに藤沢白門会讃歌を斉唱。片岡久興会長は、挨拶のなかで「藤沢白門会創立20周年を成功させたい」と力強く言及された。来賓の中央大学・林勘市常任理事、学員会の大木田守副会長から祝辞をいただいた。恒例となった藤沢市への車椅子贈呈では、車椅子2台が目録とともに鈴木恒夫藤沢市長に手渡された。

賑やかな懇親会、アトラクションへと移り、ジャズシンガー西村協さんによるコンサート、お楽しみ福引会で大いに盛り上がった。名残尽きないなか、校歌、応援歌の熱唱の後、澤田英樹親睦行事担当副会長からお礼と閉会の辞があり、めでたくお開きとなった。

〈旅行サークル〉

好天に恵まれた信州・松本の旅

信州・松本の旅は、初夏を思わせる好天のなか6月6日（土）、7日（日）の両日にわたり開催。姉妹支部として交流をもつ長野県中信支部総会への出席、市内観光・散策を織り込んで、それぞれ快適な機会となった。小田急、JR（往復）による車中の旅も一興。車窓からの情景に眼をやりながら、メンバーの交流場面が見られた。

総会では、中信支部の小林治雄支部長の挨拶、学術講演として中央大学経済学部教授の佐々木信夫先生による「人口減少時代の地方創生」。懇親会では、中信支部の躍進を示して盛り上がりを見せた。学員会副会長の高嶋民雄氏から挨拶があり、藤沢白門会片岡会長からは中信支部と藤沢白門会の姉妹支部交流のエピソードが紹介され、両支部の強いきずなが披露された。

松本市内は、城下町の雰囲気を変えた街づくりの時代バランスが印象的であった。中信支部の方々のお世話に感謝して帰路に着く旅となった。

- * 中央大学学員会の第1回「支部会報コンテスト」において、藤沢白門会『会報』が優秀賞に選ばれ、賞状と副賞を授与された。（5月）
- * 藤沢白門会創立20周年記念式典・学術講演会・懇親会を藤沢市民会館にて盛大に開催（11月14日）

- 北陸新幹線が開業。東京・金沢間が最短2時間28分で結ばれ、北陸の新時代が幕を開けた。（3月）
- 2015年のノーベル医学・生理学賞として大村智氏（北里大学特別荣誉教授）、ノーベル物理学賞として梶田隆章氏（東京大学宇宙線研究所教授）に受賞されることが決定。（10月）

藤沢白門会『会報』総目次（創刊号～20号）

●創刊号

祝辞	
中央大学理事長	内海 英男
中央大学学員会会長	大西 保
会長挨拶	
広がれ白門の輪 中央大学学員会「藤沢白門会」	橋本 篤治
会長メッセージ	
藤沢白門会の活動	
・初の会員親睦会開催	
・箱根駅伝総合優勝	
・設立総会（96番目の地域支部で発足）	
藤沢白門会の規約、組織、役員など	

●第二号

会長あいさつ	橋本 篤治
会員随想	
学生競技者としての思い出	井上 治
サラブレッド血統分析	梅基 修
盛者必衰の理と人間としての心構	小川 晃
妻への「〇・三秒」の贈り物	杉浦 嘉昌
素顔の女優たち	田邊 豊
書票と鷹	服部 治
藤沢浮世絵ざんまい	番場 定孝
中央落語研究会のあれやこれや	深澤 宗一
藤沢白門会の活動	
藤沢白門会の規約、組織、役員など	
藤沢白門会会員名簿	

●第三号

会長あいさつ	橋本 篤治
会員随想	
棟方志功の魅力と出会い	今井 昭吉
日本語教師二十年！！	北村 淳子
ビール雑感	杉森 淳
続・素顔の女優たち	田邊 豊
泣くな！日本代表選手	荻原 益三
菊にまつわる話	百瀬 茂
藤沢白門会の活動	
充実しつつある親睦行事とサークル・同好会活動	
第三回会員親睦会（新春のつどい）	
定例総会を盛大に開催	
レディス委員会活動スタート	
藤沢（湘南）地区内の大学同窓会が大集合	
第二回会員親睦バス旅行（中央大学ホームカミングデーに参加）	

箱根駅伝・力走するも及ばず（総合四位）
 中央大学近況リポートー中央大学広報部
 藤沢白門会の規約、組織、役員
 藤沢白門会会員名簿

●第四号

会長あいさつ	橋本 篤治
<中央大学リポート>	
最近の大学事情	瀧野 秀雄
会員随想	
豊かな趣味は豊かな人生に通ずる	長谷川武夫
いざ帰りなん	寺下 富雄
流通業雑感	細田 實
書	大神田葉子
昨今の経営課題雑感	神沢 弘一
たかが甲子園 されど甲子園	谷 彭元
初めての海外旅行	林 孝靖
特別寄稿	
ボーイスカウト活動と国際交流	加藤 武
いま帰りました。吉太郎	名當 英臣
<総会講演抄録>	
北欧の街、ヘルシンキの雨	荻原 益三
皇后陛下の思い出「疎開の地・くげぬま」	番場 定孝
藤沢白門会の活動	
充実しつつある親睦行事と活発なサークル・同好会活動	
ゴルフ／旅行／囲碁／音楽鑑賞／テニス／写真／園芸／麻雀／白門サロン	
フラワーアレンジメント講習会で楽しく	
第七五回箱根駅伝回想	
第二回藤沢（湘南）地区大学同窓会親睦交流会盛大に開催される	
第三回会員親睦バス旅行を実施	
会員親睦会「新春のつどい」に一三〇名参加	
定例総会大いに盛り上がる	
藤沢白門会の規約、組織、役員	
藤沢白門会会員名簿	

●第五号

会長あいさつ	橋本 篤治
<最近の大学事情>	
21世紀に向けての総合的な改革	濱田 惟道
会員随想	
ヘルシンキ・オリンピック大会の思い出	井上 治
私と保安と平和憲法と	幡場 正宏
田中角栄と田中土建工業	若林 貞行
モンゴル乗馬紀行	瀧野 秀雄

特別紙面

加藤武副会長 文部大臣表彰される
 ジョイント・コンサートが交流、親睦のステージに
 座間 毅
 共に生きる（社会福祉活動委員会の発足） 杉浦 嘉昌
 「創立五周年記念の行事の展開へ参加を」
 創立五周年記念品決まる！
 藤沢白門会の活動
 ますます活発化する親睦行事サークル同好会活動
 緑と歴史散歩／囲碁／ゴルフ／音楽鑑賞／旅行・
 サークル／写真／テニス／ドライブ／白門サロン
 秋晴れの親睦バス旅行
 第七六回箱根駅伝観戦記
 第三回藤沢（湘南）地区大学同窓会
 親睦交流会盛大に開催される
 二〇〇〇年「新春のつどい」
 フラワーアレンジメント（レディス会）
 「地引網のつどい」で盛り上がる（若手会）
 平成十二年定期総会
 藤沢白門会の規約、組織、役員
 藤沢白門会活動状況報告
 藤沢白門会会員名簿

●第六号

会長あいさつ 活動回数年間 130 回 橋本 篤治
 <創立五周年記念祝辞>
 母校の創立百二十五周年
 記念行事の推進にご支援を 阿部 三郎
 藤沢支部創立五周年を祝す 大西 保
 創立五周年記念行事
 創立五周年記念式典等盛大に開催
 海外旅行（シンガポールの旅）
 会員活動・作品展への熱き思い
 福祉活動する目線
 国内旅行（伊豆高原温泉親睦旅行）
 会員随想
 箱根駅伝と私 眞田 芳憲
 二十一世紀に伝えたいこと 保谷 秀樹
 ラオス食べある記 高島良太郎
 私のジョギングについて 城崎 芳彦
 藤沢白門会の活動
 サークル活動に延 374 名が参加
 テニス／白門サロン／音楽鑑賞／写真／麻雀／
 囲碁／緑と歴史／ゴルフ／ドライブ
 第四回藤沢（湘南）地区内大学同窓会
 神奈川県白門会連絡協議会が発足
 箱根駅伝（第 77 回）往路優勝なる
 「地引網のつどい」で活気
 ホームページ藤沢白門会の開設
 平成十三年度定期総会
 藤沢白門会の規約、組織、役員
 藤沢白門会会員名簿

●第七号

会長（支部長）就任にあたって 加藤 武
 会員随想
 学員会改革への提案 中津 靖夫
 『ホタル』と戦後の終わらぬ方々 小川 晃
 中央大学に学びボクシング部選手育成に
 かけた五十年 柳谷 力
 市議会新人議員いま奮戦中 三輪裕美子
 藤沢白門会の活動
 定着した親睦行事・楽しいサークル・同好会活動
 親睦行事並びにサークル（同好会）行事等計画表
 藤沢白門会親睦行事関係報告書
 サークル・同好会活動状況一覧表
 藤沢白門会のあしあと
 旅行サークル同好会／囲碁サークル同好会／音楽鑑
 賞サークル同好会／ゴルフサークル同好会／写真
 サークル同好会／緑と歴史散歩サークル同好会／ド
 ライブサークル同好会／麻雀サークル同好会／白門
 サロン同好会／テニスサークル同好会
 定期総会盛大に開催される
 第五回藤沢（湘南）地区大学同窓会
 第六回会員親睦バス旅行を実施
 会員親睦会「新春のつどい」
 第二回神奈川県合同白門会
 馬籠宿・妻籠宿 木曾路の一泊旅行記
 箱根駅伝観戦（第 78 回）
 共生のフィールドを創るために
 ～社会福祉活動報告～
 障害者の壁を越えて 原 輝雄
 藤沢白門会の皆さんに感謝 藤原 勝雄
 三度目の祭りばやしが帰って来る 横山 孝
 パソコン教室の開催報告と今後の予定 井上 泰博
 藤沢白門会の規約
 藤沢白門会会員名簿

●第八号

橋本篤治名誉会長を偲び、その御意志である
 「仲良しクラブ的藤沢白門会」を！ 加藤 武
 追悼！ 橋本篤治名誉会長
 弔辞 山本 捷雄
 弔辞 あなたの教え子たちを代表して 又吉 一成
 弔辞 篤さんを偲ぶ 沼上 晃
 橋本名誉会長との思い出 西島 一光
 藤沢白門会に賭けた篤さん 佐藤 洋司
 追悼 橋本篤治氏を市長に！！
 市議若手が動いた思い出 番場 定孝
 橋本篤治名誉会長のご逝去を悼む 小田 正二
 篤さんとの思い出 田辺 豊
 感謝 池田 謙次
 橋本名誉会長を偲んで 片岡 久興

橋本名誉会長のモットーに一歩でも近づく

橋本先輩を偲ぶ
橋本監督を偲んで
橋本さんとバドワイザーのこと
橋本さんを偲んで
橋本名誉会長を偲ぶ
橋本篤治氏を悼む
橋本名誉会長の思い出
橋本さんとの思い出
橋本名誉会長を偲んで
追悼
謹んで御冥福をお祈り申し上げます
橋本前会長のご冥福を祈って
大きな人柄に敬服
追悼と御礼を込めて
追悼「涙の天皇杯！橋本監督・初優勝」

会員随想

“戦艦大和沖縄突入作戦”
片道燃料問題の真実
新聞編集制作の現場から
オシャレな湘南の海と選挙とのご縁
藤沢市議会議員活動に大きな期待！
藤沢市議会議員活動にあたって
議員活動のスタートラインから

藤沢白門会の活動

藤沢白門会のあしあと
緑と歴史散歩サークル同好会／旅行サークル同好会
／音楽鑑賞サークル同好会／写真サークル同好会／
囲碁サークル同好会／麻雀サークル同好会／ゴルフ
サークル同好会／テニスサークル同好会／白門サロ
ン同好会
定例総会でますますの発展を期す
中央大学創立百二十五周年記念事業募金へ
協力をお願い
新春のつどい盛大に開催
第3回神奈川県合同白門会
2003年箱根駅伝・総合5位

●第九号

グラビア 新春の集い／緑と歴史散歩サークル／
旅行サークル／ゴルフサークル／
音楽鑑賞サークル／定期総会／箱根駅伝応援
会長挨拶
創立十周年を迎えるにあたって
＜二十一世紀の幕開けに中央大学が目指すもの＞

会員随想

旅と私
近況雑感
孫と家族菜園
ニューヨークシティマラソン完走記

若林 貞行
時枝 誠
八巻 喜幸
斉藤 久
幡場 正宏
高見沢 浩
細田 實
深澤 宗一
関水 俊明
原 輝雄
武智 良三
石井 繁
澤田 英樹
筒井 博孝
服部 治

西嶋 一光
下條 勝也
山崎 直美
保谷 秀樹
原 輝雄

加藤 武
小島 清
豊田 松夫
三觜 喜郎
杉浦 嘉昌

藤沢白門会の活動

緑と歴史散歩サークル同好会／旅行サークル同好会／
音楽鑑賞サークル同好会／テニスサークル同好会／白
門サロン同好会／麻雀サークル同好会／ゴルフサーク
ル同好会／囲碁サークル同好会／写真サークル同好会

藤沢白門会の行事・10周年記念行事計画
創立10周年記念事業実行委員会組織図
最高潮の盛り上がり“新春のつどい”
定期総会・10周年プロジェクト始動
第7回湘南ユニバースティクラブ（SUC）懇親会
第80回箱根駅伝を顧みて
＜水の大者中大 十一連覇＞

藤沢白門会の規約・組織

＜参院選・千葉景子氏が四回目の当選＞
新会員の紹介

●第十号

〔藤沢白門会創立10周年記念号〕

グラビア（創立10周年記念を祝う）藤沢白門会創立
10周年を祝賀する来賓・会員・家族の表情／記念式
典で「更なる飛躍を」と挨拶する加藤武会長／母校の
大淵寛教授の記念講演／記念行事として藤沢市社会福
祉協議会へ車椅子三台を贈呈／豪快な中央大学スイ
ング・クリスタル・オーケストラ演奏／台湾旅行（10
周年記念）台北・故宮博物院の前で／江の島神社赤鳥
居にて（中信支部提携記念）

会長挨拶 加藤 武
祝辞 中央大学理事長 鈴木 敏文
祝辞 中央大学学生会会長 中山 正暉
祝辞 藤沢市長 山本 捷雄

《創立10周年記念行事》

創立10周年記念式典など盛大に開催される
長野県「中信支部」と姉妹支部提携
10年のあゆみ活動展
地引網大会おおいに盛り上がる
創立10周年記念行事に車イス3台を贈呈
ゴルフ記念大会“十周年記念コンペ”微風・快晴の中
海外記念旅行・台湾

《会員随想》

片瀬海岸・江の島は乃木希典と児玉源太郎ゆかりの地
高島良太郎
人生六十と趣味 長谷川武夫
カメラと共に 池田 健次
演劇を楽しむ 木水 民雄
故大森重男さんを偲ぶ 小島 清
戦後六十年を顧みて 長尾 英市
大森重男さんのこと 大森 晴郎
藤沢白門会と私 加藤 武
初めての園芸 原 輝雄
私のふる里「湘南・ふじさわ」 三觜 喜郎
私孝雑感 浅野 泰一
素晴らしきかな「我が藤沢白門会」 中津川 彰
偶感 幡場 正宏

思い出の地・満州を訪ねて
 そういえば私も会員歴六周年
 幻の鶴沼蘭は生きていた
 私の十五年先のモデル・
 土田敏雄さんとの出会い
 レストラン「セルブ湘南」私が学んだ新しい世界

我がゴルフ師友
 ふるさとの「芭蕉さん」

《藤沢白門会の活動・サークル同好会》
 第八十二回箱根駅伝・総合八位
 [八巻さんの逝去を悼む]
 当支部提唱のSUC今年も盛大に

中央大学創立百二十五周年記念事業募金のお願い
 [サークル同好会]
 音楽鑑賞・中央大学音楽研究会の
 コンサートをメイン企画に

□十年その歩み
 麻雀・サークル十年を振り返って
 テニス・若手の新幹事誕生
 写真・サークル活動を通じた人との出会い

緑と歴史散歩・新春の「文学・歴史講座」も充実

□故大森重男氏を偲ぶ会の記録
 囲碁・囲碁って楽しいよ
 白門サロン・知的会話で交流を深める
 [藤沢白門会組織・名簿]
 《藤沢白門会十年のあゆみ》(藤沢白門会讃歌)
 『会報』総目次(創刊号—第十号)
 グラビア

●第十一号

グラビア 第13回定期総会/母校ホームカミングデー
 中信/松本支部との交流/第10回SUC親睦交流会/
 若手会主催の地曳き網大会/緑と歴史サークルの集い
 会長挨拶 翔き続ける藤沢白門会 加藤 武
 会員随想

砂漠の大画廊・タッシリナジェール 高島良太郎
 定年退職後の人生を楽しく豊に 加藤 武
 つくづく思う今日この頃 一杉 経法
 還暦を迎え、ホノルル・マラソンに参加して

遊びながら過ごす 城崎 芳彦
 市民後見人 横山 孝
 酒井 量三

藤沢白門会の行事活動
 <錦秋の信州松本支部交流と感動の旅>
 藤沢市長・山本捷雄氏メッセージ
 松本市長・菅谷昭氏メッセージ
 感動の思い出 松本・上高地バス旅行に参加して

上高地染紅葉秋 三觜 喜郎
 服部 治

同素の求心力と団結を感じさせた交流会 深澤 宗一
 中信松本支部より 深澤和歌子
 ひとつことメッセージ 石原昭憲 小崎誠士 若林貞行
 定期総会盛会に開催 片岡 久興
 新春の集い(讃えよう母校) 石原 昭憲
 第83回箱根大学駅伝 時枝 誠
 地域社会に貢献・車椅子14台を贈呈 杉浦 嘉昌
 大満足の第9回地引き網大会 小山 勝男
 SUC節目第10回大会最高潮の盛り上がり

<中央大学創立125周年記念行事募金のお願い>
 杉森 淳

サークル同好会の活動
 緑と歴史サークル同好会 大木 樹雄
 麻雀サークル同好会 伏野 清朝
 音楽鑑賞サークル同好会 座間 毅
 囲碁サークル同好会 小島 清
 ゴルフサークル同好会 川俣 誠
 白門サークル同好会 林 孝靖
 写真サークル 駒井 登
 テニスサークル 清田 英仁

○加藤武会長、藤沢市長に
 「青少年対策の基本方針」を提言
 ○服部治副会長「日本労働ペンクラブ賞」受賞を祝う会
 下條 勝也

◇「学員時報」情報
 (御手洗キャノン会長、日本経団連会長に)
 (司法試験、24年ぶりに首位奪還)
 藤沢白門会の会員状況 藤沢白門会讃歌

●第十二号

グラビア 第30回例会/古刹をめぐるアジサイを楽しむ/第18回の母校のホームカミングディに出席したメンバー/第13回定期総会で挨拶する加藤武会長/親睦・交流を深めた第11回SUC/伊豆旅行/盛況の新春のつどい/箱根駅伝・第3区を快走する上野選手
 会長挨拶 素晴らしきかな藤沢白門会 加藤 武
 会員随想

わが心の駿河台と「惜別の歌」 大森 靖朗
 自転車は人と環境にやさしい乗り物 加藤 武
 「美しく老いること」ということ 齋藤 久
 境川探訪 諏訪間幸男

藤沢白門会の行事
 (第18回中央大学ホーム・カミングデー)
 ホーム・カミングデーに参加 若林 貞行
 センチメンタルジャーニー 下條 勝也
 思い出の駿河台から後楽園・多摩キャンパスへ

第13回定期総会 吉原 和義
 明大の名演奏に酔ったSUC親睦交流会 片岡 久興
 熱き心が寒さを吹き飛ばした「新春の集い」 石原 昭憲
 石原 昭憲

力走も及ばず総合7位(第84回箱根駅伝観戦記) 時枝 誠
 台風の影響で海浜大宴会の開催 小山 勝男
 藤沢白門会のサークル同好会
 緑と歴史散歩(サークル誕生10周年の多彩な活動) 大木 樹雄
 旅行(楽しきかな伊豆半島バス日帰り旅行) 城崎 芳彦
 囲碁(今からでも囲碁は覚えられます) 杉森 淳
 写真(最近の活動状況写真雑感) 駒井 登
 麻雀(破壊から建設へ) 伏野 清朝
 白門サロン(会食しながら相互に交流) 林 孝靖
 音楽鑑賞(久しぶりに藤沢でカントリー
 ミュージック) 座間 毅
 ゴルフ(小田原白門会との交流コンペ) 川俣 誠
 《光友会30周年記念式典で感謝状を受ける》
 会長 加藤 武
 《私の15年先のモデル・土田教敏雄さんのこと》
 杉浦 嘉昌
 《白門会と私》 横山 孝
 藤沢白門会組織図 藤沢白門会讃歌

●第十三号

グラビア 第12回SUC交流親睦会/地引綱大会/ボウ
 リング大会/中央大学ホームカミングデー/新春の集い
 /箱根駅伝/第8区の力走/旅行サークル同好会
 会長挨拶 第3代会長(支部長)就任に際して 片岡 久興
 会員随想
 ドイツ旅行 西山 忠壬
 会津若松白籠城戦・男装の戦士・山本八重子 高島良太郎
 ダイヤモンド富士 池田 謙次
 よき友は大きな財産、白門会に感謝 加藤 武
 瀬郷 なんと読みますか 小野 康夫
 久しぶりの対面 横山 孝
 先輩こんにちは〈われら藤沢白門会ここに在り〉
 長尾英市さん ― 高き志を貫く熱き心
 榛葉敏行さん ― 胸中にはCマークを
 新入会員紹介・挨拶(藤沢市副市長)
 白門会との出会い・藤沢白門会の入会にあたって 山田 秀一
 大好きな藤沢の街を「より良い街にして
 行きましょう」 花上 誠一
 藤沢白門会の行事
 定期総会盛大に開催される 若林 貞雄
 晴天に恵まれた第11回地引綱大会 小山 勝男
 ストライク 盛り上がったボウリング・パーティー 小山 勝男
 駒大らしい演出が光ったSUC親睦交流会 石原 昭憲
 中学生が車いす卓球を体験 杉浦 嘉昌
 各ランナーが3秒早く走っていたら 時枝 誠
 ・第85回箱根駅伝観戦記

新体制での「新春の集い」盛大 永井 譲
 藤沢白門会の活動・サークル同好会
 旅行(寸又峡とSL列車の旅) 城崎 芳彦
 囲碁(囲碁に挑んで脳を刺激し青春を
 取り戻しませんか) 中谷 哲夫
 麻雀(同好会の活動) 伏野 清朝
 緑と歴史散歩(春・秋は「東海道宿場」
 巡りを楽しむ) 大木 樹雄
 写真(最近の活動) 駒井 登
 音楽鑑賞(第50回記念定期演奏会の鑑賞) 座間 毅
 白門会サロン(楽しい語らいの場で盛り上がる) 林 孝靖
 ゴルフ(節目第20回コンペ開催) 川俣 誠
 ◇レディース(レディース会員募集) 富田 和子
 母校の近況
 中央大学法科大学院・平成20年新司法試験
 合格者祝賀会
 全日本大学サッカー選手権大会
 ・16年ぶりにインカレ優勝
 藤沢白門会組織図 藤沢白門会讃歌

●第十四号

グラビア・新春の集い
 会長挨拶・創立15周年を迎えるにあたって 片岡 久興
 会員随想
 芝居を楽しむ 木水 民雄
 日露戦争跡を巡って 東鷄山・二百三高地 杉森 淳
 ・水師營 杉浦 嘉昌
 青島太平洋マラソン・2009を走り終えて
 〈藤沢白門会寄贈車イスの利用状況について〉
 先輩こんにちは〈われら藤沢白門会ここに在り〉
 佐々木初男さん(箱根駅伝応援の熱き歳月)
 中津川彰さん(正義実現への不動の姿勢)
 会員紹介
 白門会の仲間とともに(法務大臣・参議院議員) 千葉 景子
 私と藤沢白門会・ご縁に導かれて(衆議院議員) 橘 秀徳
 藤沢白門会の行事
 定期総会盛大に開催される 若林 貞行
 残念、雨天中止となった第12回地引綱大会 小山 勝男
 ストライク、第2回若手懇親ボウリング
 ・パーティー 小山 勝男
 待望の「SUC内規定」定まる 石原 昭憲
 第86回箱根駅伝観戦記 時枝 誠
 和やかなムード「新春の集い」盛大に 永井 譲
 藤沢白門会の活動・サークル同好会
 旅行(河口湖日帰り旅行)紀行文 城崎 芳彦
 囲碁(囲碁は知識の宝庫) 中谷 哲夫
 緑と歴史散歩(春・秋は街道・宿場巡りの散歩) 大木 樹雄

写真（撮影活動の報告） 駒井 登
 音楽鑑賞（柴ブリステン弦楽アンサンブル
 コンサート） 座間 毅
 白門サロン同好会 林 孝靖
 ゴルフ（雄大な富士山の麗でプレー） 川俣 誠
 レディースの活動報告 富田 和子

母校の近況
 中央大学の取り組み・将来ビジョンについて
 藤沢白門会組織図 藤沢白門会讃歌

●第十五号《藤沢白門会創立 15 周年記念号》———

グラビア（藤沢白門会創立 15 周年記念アルバム）
 「新春のつどい」（創立 15 周年記念）に出席した来賓、
 会員の華やかな表情（平成 23 年 1 月 29 日）／第 1
 回藤沢（湘南）地区の 8 大学同窓会が集合／発起人と
 して挨拶する橋本篤治会長（平成 9 年 9 月 6 日）／
 定期大会で力強く活動方針を表明する加藤武会長（平
 成 16 年 4 月 25 日）／〈錦秋の信州へ〉姉妹支部・
 長野県中信松本支部との交流（平成 18 年 10 月 14 日）
 ／母校ホーム・カミングディに出席した面々／横浜支
 部の方々とともに〈平成 19 年 10 月 28 日〉／箱根大
 学駅伝一大声援のなか第 3 区〈辻堂浜見山〉を快走す
 る上野選手の勇姿（平成 20 年 1 月 2 日）／創立 10
 周年記念「中央大学スイング・クリスタル・オーケス
 トラ・コンサートの演奏場面」（平成 17 年 11 月 26 日）
 ／創立 15 周年を聞記念する地引き網大会・鶴沼海岸
 （平成 22 年 9 月 4 日）

輝ける叙勲受章（平成 22 年）
 番場定孝氏・旭日中綬章（昭和 38 年法学部卒）
 幡場正宏氏・瑞寶中綬章（昭和 39 年法学部卒）

挨拶
 藤沢白門会 15 周年を迎えて
 中央大学学生会藤沢支部・藤沢白門会会長 片岡 久興
 記念祝辞
 創立 15 周年お祝い申し上げます
 中央大学理事長 中央大学学生会会長 久野 修慈
 中央大学学生会「藤沢白門会」創立 15 周年記念号
 発行に際して 中央大学総長・学長 永井 和之
 創立 15 周年によせて 藤沢市長 海老根靖典
 〈神奈川県下白門会・姉妹支部松本支部からの祝意〉

《創立 15 周年記念行事》
 地引き網家族大会 小山 勝男
 創立 15 周年記念式典兼新春の集い 大木 樹雄

《会員随想》
 大自然があって軍隊がないコスタリカ 高島良太郎
 カメラ新時代 池田 謙次
 藤沢白門会ここに在り 大森 靖朗
 ふるさとの山に雲の在り 服部 治
 創立 15 周年を祝うとともにさらなる飛躍を！
 奥深きかな！本格焼酎 加藤 武
 今は昔、鶴生園と江の島絵 石原 昭憲
 怪我をして知った体力の限界 番場 定孝
 保谷 秀樹

思ひつくままに 木水 民雄
 ドイツでのクリスマス百景 皆川 一敏
 7 年に一度の奇跡「御柱祭」を訪ねて 原 輝雄
 《藤沢白門会の活動・サークル同好会》
 藤沢白門会第 16 回定期総会 端山 幸雄
 第 87 回箱根駅伝 時枝 誠
 第 14 回 SUC 親睦交流会 ～天女の舞に魅了～
 澤田 英樹
 八城 義友

社会福祉活動
 [サークル同好会]
 ゴルフ 川俣 誠
 旅行 一杉 経法
 音楽鑑賞 座間 毅
 写真・撮影会他諸活動の報告 駒井 登
 緑と歴史散歩・旧から新へ
 ・伝統あるサークルを継承 澤田 英樹
 白門サロン「中央大学 VS 早稲田大学」野球観戦と
 懇親会 吉原 和義
 レディースサークル 富田 和子

[藤沢白門会組織図・名簿]
 《藤沢白門会 15 年の歩み》（藤沢白門会讃歌）
 『会報』総目次（創刊号～第 15 号）

●第十六号（2011 年度）———

グラビア「新春の集い」藤沢市社会福祉協議会へ車い
 すの贈呈／SUC における中央大学グリークラブ OG 合
 唱／第 11 回神奈川合同白門会での硬式野球部の紹介
 ／緑と歴史散歩サークル・遊行寺散策、全日本学生ヨッ
 ト選手権大会の応援

会長挨拶「絆」をより強く、より深く 片岡 久興
 中央大学創立 125 周年記念プロジェクト募金報告
 若林 貞行

会員随想
 思いつくままに 皆川 一敏
 世界遺産 平泉と岩手沿岸の被災地を見て 澤田 英樹
 感謝 協力 実践 永井 譲

藤沢白門会活動
 藤沢白門会第 17 回定期総会 端山 幸雄
 新春の集い・絆を深め、さらに前進を 澤田 英樹
 第 88 回箱根駅伝 城崎 芳彦
 第 15 回 SUC 交流親睦会 杉山 洋
 第 11 回神奈川合同白門会開催 端山 幸雄
 第 14 回地引き網大会（台風により中止） 小山 勝男
 全日本学生ヨット選手権大会 中央大学ヨット部応援
 小山 勝男

社会福祉活動
 若手懇親会ボウリングパーティの開催 八城 義友
 サークル同好会 小山 勝男

ゴルフ 川俣 誠
 囲碁・囲碁を通じて人の輪を広げたい 杉森 淳
 音楽鑑賞 座間 毅
 写真サークルの計画及び活動状況 吉武 孝尚

緑と歴史散歩 旧から新へ—伝統あるサークルを継承

澤田 英樹

白門サロン会

林 孝靖

母校の近況—新総長・学長に福原紀彦氏が選任される

藤沢白門会組織図・新入会員・物故会員

藤沢白門会讃歌

中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

●第十七号 (2012 年度)

グラビア 第 44 回例会 (生麦事件の碑前で) 大漁を期待してみんなで綱引き/ホームカミングに「中央の絆」企画に参加した藤沢白門会/旅行サークルの「梅まつり/水戸・偕楽園」白門サロン会 (ふぐ会席を味わう)/音楽鑑賞会コンサートの後、ロビーで/「平成 25 年新春のつどい」での出席メンバー/SUC 交流会に出席したメンバー/交流会で講演する谷口浩美氏

会長挨拶 更なる飛躍のために

片岡 久興

会員随想

イギリス旅行

西山 忠壬

シャーロックホームズの楽しみ方

高島良太郎

クルーズ体験記

林 孝靖

航空宇宙博物館 (スミソニアン博物館)

畑 克海

藤沢白門会に参加して

伊東 史峰

藤沢白門会の活動

藤沢白門会第 18 回定期総会開催

小山 勝男

新春のつどい

川崎 隆之

第 89 回箱根駅伝

城崎 芳彦

第 16 回 SUC 交流・親睦会

澤田 英樹

第 12 回神奈川県合同白門会開催

吉原 和義

第 15 回地引き綱大会を開催

小山 勝男

第 21 回ホームカミングディ

吉原 和義

第 5 回若手懇親ボウリングパーティ開催

小山 勝男

社会福祉活動

八城 義友

サークル同好会活動

ゴルフサークル

川俣 誠

音楽鑑賞サークル

座間 毅

旅行サークル

城崎 芳彦

囲碁サークル

中谷 哲夫

写真サークル

吉武 孝尚

緑と歴史散歩サークル

澤田 英樹

白門会サロンサークル

林 孝靖

レディスサークル

小山 勝男

母校の近況

平成 24 年度文科省グローバル人材育成推進事業に採

択 司法試験合格者祝賀会報告

コラム・辻堂東海岸に建つ「浜辺の歌」碑

藤沢白門会組織・新入会員・物故会員

新入会員プロフィール

藤沢白門会讃歌

中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

●第十八号 (2013 年度)

グラビア 《加藤武名誉会長の輝けるご活躍のありし

日を偲ぶ》/高尾山で楽しんだ笑顔の面々 (1997・

10・19) / 定期大会において活動方針を表明する加

藤武会長 (2007・4・17) / 第 18 回ホーム・カミ

ングディに参加した会員メンバーとともに (1995・

10・28) / 「平成 25 年新春のつどい」に参加された

加藤武名誉会長

◇ 2013 年度藤沢白門会の活動 盛り上がった第 17 回

SUC 懇親会/囲碁サークル会員の面々/ゴルフサー

クルスタート前の表情/平成 26 年新春のつどいに参加

した来賓、会員/緑と歴史散歩サークル 第 49 回例

会・横浜の老舗料亭「田中屋」で

会長挨拶

加藤武名誉会長を偲び来年の 20 周年をスマートに

片岡 久興

加藤武名誉会長の貢献活動

〈謹んで哀悼の意を表します〉

川崎白門会会長

金子 和夫

平塚白門会理事長

府川 勝

小田原白門会副会長

中村 恭博

川崎白門会幹事長

森山 功

横浜支部常任顧問

菊田 和行

横浜市役所元幹事

大久保正美

「藤沢白門会」相談役

杉森 淳

相談役

三觜 喜郎

相談役

服部 治

副会長総務担当

若林 貞行

副会長 SUC 担当

石原 昭憲

顧問

保谷 秀樹

副会長会報担当

川島 清憲

副会長兼事務局長

小山 勝男

藤沢市議会議員

永井 譲

藤沢市議会議員

原 輝雄

会員随想

今を楽しめ—現世讃美と来世否定—

拙訳「ルバイヤート」に触れて

斎藤 久

藤沢市を文化薫る街に

保谷 秀樹

“地域活動”雑感

諏訪間幸男

湘南 FRC に学んだ

ホップ・ステップ・ジャンプの人生

杉浦 嘉昌

藤沢白門会の活動

第 19 回定期総会開催

小山 勝男

新春のつどい

川崎 隆之

第 17 回 SUC (湘南ユニバーシティクラブ)

親睦交流会

端山 幸雄

第 90 回箱根駅伝

城崎 芳彦

第 6 回若手懇親ボウリングパーティ開催

小山 勝男

第 16 回地引き綱大会

井出 豊

社会福祉活動

八城 義友

サークル同好会

ゴルフサークル

川俣 誠

音楽鑑賞サークル

座間 毅

囲碁サークル
 写真サークル
 緑と歴史散歩サークル
 白門サロン会
 母校近況
 中央大学が推進するグローバル・パーソン育成
 叙勲 西島一光氏が旭日単光章受章
 藤沢白門会組織図・新入会員・物故会員
 藤沢白門会讃歌
 中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

長谷川 勇
 増田 隅雄
 澤田 英樹
 林 孝靖

●第十九号 (2014 年度) —————

グラビア 平成 27 年「新春のつどい」に出席の記念撮影／車いす寄贈式で握手を交わす鈴木市長と片岡会長／第 20 回定期総会で挨拶する片岡久興会長／ホーム・カミングディ・舞台の中央に輝くわが藤沢白門会の旗／県下合同ゴルフコンペに参加した面々／緑と歴史散歩サークル第 52 回例会は川崎白門会ハイキング同好会との合同開催
 会長挨拶 創立 20 周年を迎えるに際して 片岡 久興
 会員随想
 アスリートの心意気 三觜 喜郎
 文化振興に取り組む藤沢市 中谷 哲夫
 東田直樹さんにお会いしました 田中 紀子
 藤沢白門会に参加して 中島 知慧
 藤沢白門会の活動
 藤沢白門会第 20 回定期総会開催 井出 豊
 新春のつどい 川崎 隆之
 第 91 回箱根駅伝 城崎 芳彦
 第 18 回 SUC 親睦交流会 端山 幸雄
 第 14 回神奈川合同白門会開催 吉原 和義
 横浜山手跡地の見学と懇親会 吉原 和義
 第 23 回ホーム・カミングディ 端山 幸雄
 第 7 回若手懇親ボウリングパーティ開催 杉山 洋
 社会福祉活動 八城 義友
 サークル同好会活動
 ゴルフサークル 川俣 誠
 囲碁サークル 長谷川 勇
 音楽鑑賞サークル 座間 毅
 旅行サークル 城崎 芳彦
 写真サークル 増田 隅雄
 緑と歴史散歩サークル 澤田 英樹
 白門サロン会 林 孝靖
 レディスサークル 端山 徳子
 母校の近況—中央大学が展開する社会連携と社会貢献
 水泳部・インカレ総合優勝
 藤沢白門会組織図・新入会員・物故会員
 藤沢白門会讃歌
 中央大学校歌 応援歌 惜別の歌

●第二十号《藤沢白門会創立 20 周年記念号》—————

グラビア
 会長挨拶 藤沢白門会創立 20 周年を迎えて 片岡 久興
 祝 辞 藤沢支部創立 20 周年を迎えて 久野 修慈
 中央大学学会 会長
 中央大学学会藤沢白門会創立 20 周年記念に際して 酒井正三郎
 中央大学 総長・学長
 中央大学学会藤沢白門会創立 20 周年 祝辞 鈴木 恒夫
 藤沢市長
 神奈川県下白門会、姉妹支部長野県中信支部からの祝意 野村 修也
 特別寄稿 中央大学法科大学院教授
 会員感想「藤沢白門会創立 20 周年に思う」
 藤沢白門会の活動
 藤沢白門会第 21 回定期総会開催 川崎 隆之
 平成 27 年度中央大学学術講演会 澤田 英樹
 平成 27 年創立 20 周年記念式典 川崎 隆之
 第 92 回箱根駅伝について 城崎 芳彦
 第 19 回 SUC 親睦交流会 澤田 英樹
 第 15 回神奈川県合同白門会開催 吉原 和義
 第 24 回ホームカミングデー 吉原 和義
 第 8 回若手懇親会ボウリング大会&パーティ開催 杉山 洋
 八城 義友
 社会福祉活動
 サークル同好会
 ゴルフサークル 川俣 誠
 囲碁サークル 長谷川 勇
 音楽鑑賞サークル 座間 毅
 旅行サークル 城崎 芳彦
 写真サークル 増田 隅雄
 緑と歴史散歩サークル 澤田 英樹
 白門サロン会 林 孝靖
 レディスサークル 端山 徳子
 新春・平和島周遊ツアー 澤田 英樹
 母校の近況
 藤沢白門会会員名簿・新入会員・物故者・組織図
 藤沢白門会 20 年のあゆみ
 藤沢白門会讃歌
 中央大学校歌 応援歌 惜別の歌・原詩

(敬称略)



藤沢白門会讃歌

(いま湘南に)

作詞：服部 治

作曲：藤沢 健児

行進曲風に

(1) い ま

♩ - 80

しょう ー なん に ひか り あ ふ ー れ て ま え
 まち に あ い ひび か せ ひ ー ろ く ま え
 ま つ か ぜ も さ わ や か に ー ふ く ま え

へ つ ど い あ う こ ー こ ろ ゆ た か に
 へ め を ひ ら き こ ー こ ろ し ず か に
 へ と も と 手 を こ ー こ ろ た か め て

じん せい の き せ つ を う つ し い き を あ ら た に か た よ せ て た た
 ふ る さ と の や ま か わ お も う と き は な が れ て と し つ き を た た
 し お さ い を と お く に き け ば わ か き 日 ち か く お も い 来 る た た

え よ う 中 一 央 た た え よ う 中 一 央 中 央 わ れ
 え よ う 中 一 央 た た え よ う 中 一 央 中 央 わ れ
 え よ う 中 一 央 た た え よ う 中 一 央 中 央 わ れ

(1)・(2)
 ら ふ じ さ わ は く も ん かい こ 一 こ 一 に あ り (2) こ の
 ら ふ じ さ わ は く も ん かい こ 一 こ 一 に み る (3) あ の
 ら ふ じ さ わ は く も ん かい こ 一 こ 一 に 立

(3) *Fine*
 っ

rit

藤沢白門会讃歌（新曲）

中央大学学生会藤沢支部

作詞：服部 治

作曲：藤沢 健児

1 いま湘南に ひかり溢れて
前へ 集い会う
心豊かに 人生の季節を映し
意気を新たに 肩寄せて
讃えよう 中央 讃えよう 中央 中央
われら 藤沢白門会 ここに在り

2 この街に愛 響かせて広く
前へ 目を開き
心静かに ふるさとの山川思う
時は流れて 歳月を
讃えよう 中央 讃えよう 中央 中央
われら 藤沢白門会 ここに見る

4 あの松風も さわやかに吹く
前へ 友と手を
心昂めて 潮騒を遠くに聴けば
若き日近く 想い来る
讃えよう 中央 讃えよう 中央 中央
われら 藤沢白門会 ここに立つ

中央大学校歌

石川道雄 作詞
坂本良隆 作曲

一、草のみどりに風薫る
丘に目映き白門を
慕い集える若人が
真理の道にはげみつゝ
栄ある歴史を承け伝う
ああ中央 我等が中央
中央の名よ光あれ

二、よしや嵐は荒ぶとも
揺がぬ意気ぞいや昂く
春の驕奢の花ならで
みのりの秋やめざすらむ
学びの園こそ豊かなれ
ああ中央 我等が中央
中央の名よ誉あれ

三、いざ起て友よ時は今
新しき世のあさほらけ
胸に血潮の高鳴りや
湧く歌声も晴れやかに
自由の天地ぞ展けゆく
ああ中央 我等が中央
中央の名よ栄あれ

藤沢市の花



フジ

藤沢市の木



クロマツ

中央大学応援歌

中央大学学友会選定
古間祐而 作曲

一、憧れ高く空ひろく
理想の光あやなせる
ああ中央の若き日に
伝統誇る白門の
闘い挑むはた仰げ
力、力、中央、中央

二、情熱と力の若人が
精鋭こそりふるいたつ
ああ中央の若き日に
雄叫ぶ血汐 紅は
闘魂たぎる火と燃える
力、力、中央、中央

三、我等が誇り覇者の歌
さんたり栄光我が生命
ああ中央の若き日に
今ぞ座らん覇者の座に
いざ勝どきを揚げんかな
力、力、中央、中央

惜別の歌

作詞 島崎健村
作曲 藤江英輔

一、遠き別れに耐えかけて
この高樓にのぼるかな
悲しむなわれわが友よ
旅の衣を整えよ

二、別れとといえは昔より
この人の世の常なるを
流るる水を眺むれば
夢はずかしき涙かな

三、君さやけき目の色も
君くれないの唇も
君がみどりの黒髪も
またいつか見んこの別れ

藤沢市の鳥



カワセミ

「惜別の歌」作曲家・藤江英輔さんと藤村の「高楼」

「惜別の歌」は、中央大学の学生、学员など関係者にとって愛唱歌である。ときに涙を催すほど親しまれている。その作曲者である藤江英輔（ふじえ・えいすけ）先輩が昨年 10 月 14 日に鬼籍に入られた。朝日新聞（平成 27 年 10 月 27 日付）は、こう伝えている。

「中央大学予科生だった 1944 年、召集令状を受け取った学生のために島崎藤村の詩にメロディーを付けて〈惜別の歌〉を作曲した。いまでも中央大学の卒業式で歌われ、小林旭さんのヒット曲としても知られる。」

記事を目にされた杉森淳会員（昭和 33 年卒）が藤江英輔先輩への追悼の意を込めて、原詩である島崎藤村の『若菜集』のなかの「高楼」を会報委員会に届けられた。原詩には、姉妹の別れを惜しむ情景が詠われている。

□島崎藤村『若菜集』より「高楼」

（妹）

遠き別れに 堪へかねて
この高殿に 昇るかな
悲しむなかれ 我が友よ
旅の衣を ととのへよ

（姉）

別れと云へば 昔より
此の人の世を 常なるを
流るる水を 眺むれば
夢はずかしき 涙かな

（妹）

慕へる人の もとにゆく
君のうへこそ 楽しけれ
冬山こえて 君ゆかば
なにを光の 我が身ぞや

（姉）

嗚呼花鳥の 色につけ
根につけわれを 思へかし
今日別れては いつかまた
相見るまでの 命かも

（妹）

君がさやけき 瞳の色も
君紅の 唇も
君が緑の 黒髪も
又いつか見ん この別れ

（姉）

汝れが優しき なぐさめも
汝れが楽しき 歌声も
汝れが心の 琴の音も
又いつ聞かん この別れ

（妹）

君の行くべき 山川は
落つる涙に 見えわかず
袖の時雨の 冬の日
君に贈らん 花もがな

（姉）

袖に覚へる 美はしき
汝が顔ばせを 上げよかし
汝が紅の 顔ばせに
流るる涙 我はぬぐはん

編集後記

藤沢白門会も創立 20 周年を迎え、ここに記念号を発刊できたことは、会報委員会といたしましても、大変喜ばしいことと感慨に耽る今日この頃であります。

今般の 20 周年にあたり、公開記念学術講演会には各メディアにおいて著名かつご多忙な野村修也先生からご講演ならびに本記念号特別寄稿として貴重なご投稿を賜りましたこと、また、昨年 11 月に発行いたしました「創立 20 周年記念小冊子」に対し、中央大学本部をはじめ、学会の関係各位より多くの賛辞を賜りましたことに、この場をお借りしてあらためて謝意を表したいと思っております。

藤沢白門会の創立周年が中央大学の創立周年との関係において、丁度 110 年の時を経てなされ、5 年毎の周年記念を同じ年度で迎えられるという興味深い事実を会報編集にあたって気付かされました。

本記念号では、会員各位より創立 20 周年にあたり、感想をいただきましたが、これにより、会員相互の「絆」がより強固なものとなり、中央大学そして藤沢白門会をはじめ、白門会各支部の益々の発展を祈念してやみません。

最後に、既に総会時等においてご案内のとおり、創立 20 周年を機に、本号以降の会報は従来の B5 版縦書きを A4 版横書きへと装丁を変更いたしました。変更後初めての装丁ですので、多々不備な点もあると思っておりますが、今後の編集の参考とさせていただくべく、ご意見・ご感想をいただければ幸甚に存じます。

本誌発行にあたり装丁変更等、神奈川ワークショップの坂口氏をはじめ、多大なご協力をいただきました幾多の方々に対し、末尾ながら、この場を借りて、心より御礼申し上げます。

(ポッキー)

発行・中央大学学会「藤沢白門会」
〒251-0032 藤沢市片瀬 4-4-15
会長 片岡久興
(電話・FAX 0466-26-8402)

編集・「藤沢白門会」会報委員会
発行日・平成28年3月20日

印刷・社会福祉法人 光友会
神奈川ワークショップ
〒252-0826 藤沢市瀬郷 1008-1
(電話 0466-48-1503 FAX 0466-48-1504)